

グリセリン

九十分 (90.0)

ヲ取り先ツ澱粉ヲ善ク水ニ攪和シ之ニ「グリセリン」ヲ和シタル後重湯煎上ニ於テ全質均等殆ト透映ニシテ冷後軟膏狀ヲ呈スルニ至ル迄攪拌シ製スヘシ

Unguentum Hebrae.

ヘブラ軟膏

ヘブラ軟膏ハ

單鉛硬膏

一分 (1.0)

オレイン油

一分 (1.0)

ヲ取り重湯煎上ニ熔和シテ冷却スルニ至ル迄攪拌シ製スヘシ  
本品ハ殆ト白色ナリ

Unguentum Hydrargyri album.

白降汞軟膏

白降汞軟膏ハ

白降汞

一分 (1.0)

ワセリン

九分 (9.0)

ヲ取り研和シ製スヘシ  
本品ハ白色ナリ

用ニ臨テ製スヘシ

○ Unguentum Hydrargyri cinereum.

水銀軟膏

水銀軟膏ハ

三十分 (30.0)

豚脂

十八分 (18.0)

牛脂

四十二分 (42.0)

ヲ取り微温ヲ與ヘテ豚脂ト牛脂トヲ熔和シ冷後先ツ其熔和物二分ヲ取り少許ツ、水銀ヲ加ヘテ研磨シ復タ肉眼ヲ以テ水銀球ヲ見サルニ至リ熔和物ノ殘餘ヲ加ヘ最モ親密ニ研和シ製スヘシ  
本品ハ帶藍灰色ノ軟膏ニシテ肉眼ヲ以テ水銀球ヲ見ル可カラズ  
本品ニグラム(2)ヲ取り「エーテル」ヲ以テ脂肪ヲ除去スルニ約一グラム(1)ノ水銀ヲ殘留スヘシ

Unguentum Hydrargyri flavum.

黃降汞軟膏

黃降汞軟膏ハ

黃降汞

一分 (1.0)

ワセリン

九分 (9.0)

ヲ取り研和シ製スヘシ  
本品ハ淡黄色ナリ

用ニ臨テ製スヘシ

Unguentum Hydrargyri rubrum.

赤降汞軟膏

赤降汞軟膏ハ

赤降汞

一分 (1.0)

ワセリン

九分 (9.0)

ヲ取り研和シ製スヘシ  
本品ハ赤色ナリ

用ニ臨テ製スヘシ



**Unguentum Kalii iodati.**  
ヨードカリウム軟膏

ヨードカリウム軟膏ハ  
ヨードカリウム 二十分 (20.0)  
次亜硫酸ナトリウム 〇・二五分 (0.25)  
ヲ取り研和シツノ之ニ 十五分 (15.0)  
蒸餾水 百六十五分 (165.0)  
ヲ加ヘテ溶解シ  
豚脂  
ヲ混和シ製スヘシ  
本品ハ白色ナリ

**Unguentum Paraffini.**  
パラフィン軟膏

パラフィン軟膏ハ  
固形パラフィン 一分 (1.0)  
流動パラフィン 四分 (4.0)  
ヲ取り研和シ製スヘシ

**Unguentum Piceis liquidae.**  
木タール軟膏

木タール軟膏ハ  
本品ハ白色ニシテ四十乃至五十度ノ温ニ於テ熔融スヘシ

**黄蠟**

木タール

ヲ取り微温ヲ與ヘテ熔和シ冷却スルニ至ル迄攪拌シ製スヘシ  
本品ハ暗褐色ナリ

**莨菪軟膏**

莨菪軟膏ハ

莨菪越幾斯 一分 (1.0)  
ヲ取り少量ノ蒸餾水ニ研和シテ稀薄越幾斯ノ稠度トナシ之ヲ 九分 (9.0)  
豚脂

ニ研和シ製スヘシ  
用ニ臨テ製スヘシ

**〇 Unguentum simplex.**

**單軟膏**

單軟膏ハ

黄臘 一分 (1.0)  
胡麻油 二分 (2.0)  
ヲ取り重湯煎上ニ熔和シ冷却スルニ至ル迄攪拌シ製スヘシ

**Unguentum stibiatum.**

**吐酒石軟膏**

吐酒石軟膏ハ  
吐酒石細末 二分 (2.0)



ワセリン  
ヲ取り研和シ製スヘシ  
本品ハ白色ナリ  
用ニ臨テ製スヘシ

八分(8.0)

**硫黃軟膏**  
*Unguentum sulfuratum.*

硫黃軟膏ハ  
昇華硫黃細末  
豚脂  
ヲ取り研和シ製スヘシ  
本品ハ黄色ナリ

一分(1.0)  
二分(2.0)

**強發泡膏**  
*Unguentum vesicans fortius.*

強發泡膏ハ  
カンタリス中末  
オレーフ油  
ヲ取り混和シ重湯煎上ニ於テ十二時間温浸シ之ニ  
黄蠟  
テレピンチーナ  
ヲ熔和シ冷却スルニ至ル迄攪拌シ製スヘシ

四十分(40.0)  
九十分(90.0)  
七十分(70.0)  
三十分(30.0)

**弱發泡膏**  
*Unguentum vesicans mitius.*

カンタリス中末  
オレーフ油  
ヲ取り混和シ重湯煎上ニ於テ十二時間温浸シ之ニ  
豫メ熔融セル黄蠟  
ヲ混和シ冷却スルニ至ル迄攪拌シ製スヘシ

五分(5.0)  
七十分(70.0)  
百二十五分(125.0)

**亞鉛華軟膏**  
*Unguentum Zinci.*

亞鉛華軟膏ハ  
酸化亞鉛  
豚脂  
ヲ取り研和シ製スヘシ  
本品ハ白色ナリ

一分(1.0)  
九分(9.0)

**ワセリン**  
*Vaselineum.*

ワセリンハ白色或ハ淡類黄色全質均等半透明軟膏稠ノ物質ニシテルーパーヲ以テ檢視スルニ顆粒  
狀又ハ結晶性ナラス臭味ナク温ムレハ微ニ石油ノ臭氣ヲ放チ三十五乃至四十二度ニ於テ熔融シ水  
ニ全ク酒精ニ殆ト溶解セス  
本品ニ温湯ヲ加ヘ振盪シテ得タル液ハ試験紙ヲ變色ス可カラズ  
本品十グラム(10g)ヲ蒸餾水五分及硫酸十五分ヨリ成レル混液二二五立方センチメートル(2.5 cm)  
ニ和シ重湯煎中ニ於テ攪拌シツ、温ムルニ十五分時間以内ニ於テ褐色ヲ呈ス可カラズ  
本品四グラム(4g)ヲ「ナトロン」鹼液二十立方センチメートル(20 cm)ニ和シ振盪シツ、半時間温浸  
シタル後同容量ノ水ヲ和シ充分ニ放冷シ濾過シテ得タル液ハ稀硫酸ヲ以テ過飽スルニ沈澱又ハ油



狀ノ析出物ヲ生ス可カラス

Veratrinum.

ウエラトリン

ウエラトリンハ白色繚球ノ粉末或ハ白色無晶形ノ塊片ニシテ其粉塵ヲ吸入スレハ劇シキ噴嚏ヲ起シ四分ノ酒精二分ノクロ、フォルム又エーテルニ溶解ス又稀酸類ニ溶解シ易ク沸湯ニ溶融セスシテ僅ニ溶解ス其溶液ハ味奇烈ニシテ弱アルカリ性ノ反應ヲ徴ス  
本品ニ鹽酸ヲ加ヘテ煮沸スレハ血赤色ノ液ヲ生ス又本品一分ニ約百分ノ硫酸ヲ和シテ攪拌スレハ帶綠黄色ノ螢石彩ヲ現ハシ尋テ血赤色ヲ呈ス  
本品ノ酒精溶液ハ「クロー」白金溶液ニ由テ沈澱ヲ生ス可カラス。  
本品〇・ニグラム(0.2g)ヲ熱灼スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留セスシテ燃化スヘシ  
最モ注意シテ貯フヘシ

Vina.

酒劑

酒劑ノ製法及貯法ハ丁幾劑ノ條ニ掲グル所ニ準據スヘシ

Vinum.

葡萄酒

葡萄酒ハ葡萄ノ汁液ヲ醱酵セシメテ製シタル飲料ナリ

本品ハ其品質純良ナラサル可カラス本品ノ製造模造又ハ變敗セルモノハ供用ス可カラス  
本品ノ製造中又ハ製造後ニ溶解性アルミニウム化合物、バリウム化合物、マグネシウム化合物、砒化合物、フルオール化合物、ストロンチウム化合物、グリセリン、砒酸、フェーセル油ヲ含有スル不純酒精、不純澱粉糖、着色料、人工甘味質、防腐劑又ハ前記ノ各物質ヲ含有スルモノヲ混和シタルモノハ供

用ス可カラス

本品ハ百立方センチメートル(100cm)中〇・ニグラム(0.2g)以上ノ硫酸カリウムニ相當スル硫酸ヲ含有ス可カラス

セリ、マデイラ、マルサラ、マラガ、ポルトワインノ如キ甘味葡萄酒百立方センチメートル(100cm)中ニ含有スル「マルコホル」ハ十一乃至十六グラム(11-16g)ニシテ越幾斯ハ八グラム(8g)ニ超ニ可カラス

Vinum Chiniae.

キナ酒

キナ酒ハ

白阿膠

蒸餾水

ヲ取り温ヲ與ヘテ溶解シ

セリ酒

ヲ混和シ

キナ皮粗末

ヲ和シ八日間冷浸シ壓搾シ其搾液ニ

白糖

橙皮丁幾

ヲ溶和シ十四日間冷處ニ放置シ濾過シ製スヘシ  
本品ハ赤褐色ノ液ニシテ佳快ノ苦味ヲ有ス

Vinum Colchici.

コルヒクム酒

コルヒクム酒ハ



コルロクム子粗末

一分(10)

セリ酒

十分(100)

ヲ取り八日間時々振盪シツ、冷浸シ壓搾シ濾過シ製スヘシ

本品ハ澄明黄褐色ノ液ニシテ苦味ヲ有シ之ニ過クロール鐵溶液ヲ加フレハ帶綠褐色ヲ呈シ暗綠色

ヲ呈ス可カラス

注意シテ貯フヘシ

Vinum Condurango.

コンヂニランゴ酒

コンヂニランゴ酒

細割截コンヂニランゴ皮

セリ酒

一分(10)  
十分(100)

ヲ取り八日間反覆振盪シツ、冷浸シ壓搾シ濾過シ製スヘシ

本品ハ褐色ノ液ニシテ温ムレハ著シク「コンヂニランゴ皮」ノ臭氣ヲ發ス

Vinum Ferri.

鐵酒

鐵酒

枸橼酸鐵アムモニウム

ヲ取り

白葡萄酒

九十八分(980)

ニ溶解シ濾過シ製スヘシ

本品ハ澄明黄褐色ノ液ナリ

Vinum Ipecacuanhae.

吐根酒

吐根酒

細割截吐根

セリ酒

一分(10)  
十分(100)

ヲ取り八日間時々振盪シツ、冷浸シ壓搾シ濾過シ製スヘシ

本品ハ澄明黄褐色ノ液ナリ

注意シテ貯フヘシ

Vinum Opii aromaticum.

芳香阿片酒

芳香阿片酒

中割截サフラン

桂皮粗末

丁香粗末

稀酒精

セリ酒

八十五分(850)

ヲ取り五日間冷浸シ搾壓シ

其濾液

ヲ取り之ニ

十分 (100)  
一分 (10)

ヲ加ヘ更ニ七日間冷浸シ壓搾シ濾過シ製スヘシ

本品ハ暗黄褐色澄明芳香性ノ液ナリ



本品十分中ニハ阿片一分ノ可溶成分ヲ含有ス  
本品百グラム(100g)ヲ重湯煎上ニ蒸發シテ殆ト乾燥スルニ至リ其殘留物ヲ阿片ノ條ニ掲クル方法  
ニ由テ試驗スルニ〇・四乃至〇・四四グラム(0.44g)ノ「モルヒネ」ヲ檢出セサル可カラズ此モルヒ  
ネノ試驗ハ阿片ノ條ニ掲クル所ニ同シ  
注意シテ貯フヘシ

Vinum Pepsini.

ペプシン酒

ヘプシン酒

含糖ヘプシン

グリセリン

蒸餾水

ヲ取リ研和シテ稀粥狀トナシ之ニ

鹽酸

白葡萄酒

ヲ混和シ屢ニ振盪シテ七日間放置シ濾過シ製スヘシ

本品ハ澄明類黄色或ハ類赤色ノ液ナリ

Vinum sibiaticum.

吐酒石酒

吐酒石

ヲ取リ

セリ酒

百分 (100.0)

五十分 (50.0)

五十分 (50.0)

五分 (5.0)

千八百分 (1800.0)

一分 (1.0)

二百五十分 (250.0)

ニ溶解シ三日間微温處ニ放置シ濾過シ製スヘシ

本品ハ澄明帶褐黄色ノ液ナリ

注意シテ貯フヘシ

Zincum chloratum.

ZnCl<sub>2</sub> = 136.3

シロール亞鉛

シロール亞鉛ハ白色結晶性ノ粉末或ハ白色小槌子ニシテ氣中ニ於テ潮解シ酒精並水ニ容易ニ溶解  
シ酸性ノ反應ヲ微ス熱スレハ熔融シ白霧ヲ放テ分解シ黄色ノ物質ヲ殘留ス此殘留物ハ冷後白色ニ  
變ス

本品ノ水溶液ハ硝酸銀溶液ニ由テ稀硝酸ニ溶解セサル白澱ヲ生ス又アムモニア水ニ由テ其過剰ニ  
溶解スヘキ白澱ヲ生ス

本品ノ水溶液(1%)ハ澄明ナルヘシ或ハ濁アルモ微弱ニ止マルヘシ又其水溶液一分ニ酒精三分ヲ  
加ヘテ生シタル絮狀ノ沈澱ハ鹽酸一滴ニ由テ再ヒ溶解スヘシ

本品ノ水溶液(1%)ハ鹽酸ヲ加ヘタル後硝酸バリウム溶液ニ由テ濁濁セス又硫化水素水ニ由テ染  
色ス可カラス又本品一グラム(1g)ハ水十立方センチメートル(10cc)及アムモニア水十立方セン

チメートル(10cc)ニ澄明ニ溶解シ之ニ硫化水素水ノ過剰ヲ加フルニ純白色ノ沈澱ヲ生スヘシ之  
ヲ濾過シテ得タル液ヲ蒸發シテ燥灼スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス

燥中ニ容レ密栓シ注意シテ貯フヘシ

Zincum oxydatum. Flores Zinci.

ZnO = 81.4

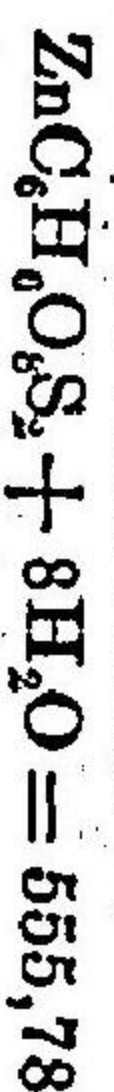
酸化亞鉛 亞鉛華

酸化亞鉛ハ白色或ハ微ニ類黄色ヲ有スル無晶形ノ粉末ニシテ臭味ナク水ニ溶解セス



本品ハ紅燻ヲ與フレハ黃色ヲ呈シ冷ユレハ原色ニ復ス  
 本品一グラム(1g)ニ亞クロール錫溶液三立方センチメートル(3cc)ヲ和スルニ一時間以内ニ暗色ヲ呈ス可カラス又本品二グラム(2g)ニ水二十立方センチメートル(20cc)ヲ和シ振盪シ濾過シテ得タル液ハ硝酸バリウム溶液或硝酸銀溶液ニ由テ濁濁ヲ起スニ過ク可カラス  
 本品ハ水ヲ以テ濡ホシタル後醋酸十立方センチメートル(10cc)ヲ和スルニ泡沸セスシテ全ク溶解スヘシ此醋酸溶液ハ稀硫酸ニ由テ濁濁ス可カラス又過剰ノ「アムモニア」水ヲ加フルニ澄明無色ノ液ヲ得ヘシ此液ヲ硫化水素ヲ以テ飽和スルニ白色或ハ殆ト白色ノ沈澱ヲ生スヘシ之ヲ濾過シテ得タル液ヲ蒸發シテ後燻灼スルニ固性物ヲ殘留ス可カラス

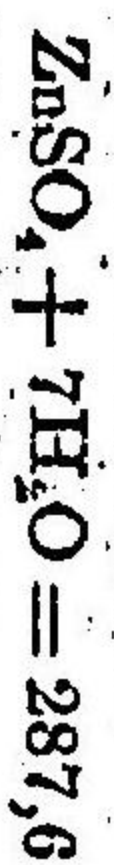
Zincum sulfocarbolicum.



スルフォ石炭酸亞鉛

スルフォ石炭酸亞鉛ハ無色透明ノ結晶ニシテ氣中ニ於テ風化シ易ク二五分ノ水竝五分ノ酒精ニ溶解シ弱酸性ノ反應ヲ徴ス  
 本品ノ水溶液ハ過クロール鐵溶液ニ由テ紫色ヲ呈シ硫化アムモニウムニ由テ白澱ヲ生ス  
 本品ノ水溶液(1:10)ハ稀硫酸又過剰ノ「アムモニア」水ヲ和シタル後稀酸アムモニウム溶液ニ由テ濁濁ヲ生セス又硝酸バリウム溶液ニ由テ蛋白濁ヲ起スニ過ク可カラス又其十立方センチメートル(10cc)ニ「アムモニア」水ヲ加フルモ無色澄明ニ止マリ此液ハ二三滴ノ硫化水素水ニ由テ褐色乃至類黑色ヲ呈ス可カラス又之ニ硫化水素ヲ過飽シ生シタル純白色ノ沈澱ヲ濾過シテ得タル液ハ蒸發ノ後秤定シ得ヘキ殘留物ヲ遺ス可カラス  
 本品一グラム(1g)ヲ燻灼スルニ約〇・一四六グラム(0,146g)ノ殘留物ヲ遺スヘシ  
 本品ヲ百二十五度ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト百分ニ付キ約二十六分ニ過ク可カラス燻中ニ容シ密栓シ注意シテ貯フヘシ

Zincum sulfuricum.

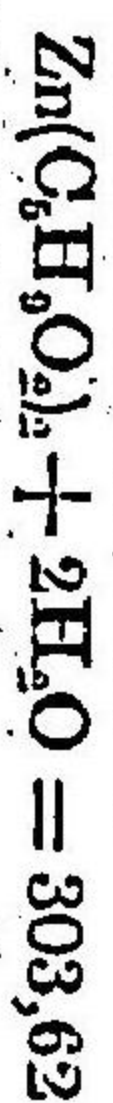


硫酸亞鉛

皓礬

硫酸亞鉛ハ無色ノ結晶ニシテ乾燥氣中ニ於テ徐々ニ風化シ〇・六分ノ水ニ溶解シ酸性ノ反應ヲ徴シ酒精ニ溶解セス  
 本品ノ水溶液(1:10)ハ硝酸バリウム溶液ニ由テ酸類ニ溶解セサル白澱ヲ生シ又ナトロン濾液ニ由テ初メ沈澱ヲ生シ其過剰ニ溶解シテ無色澄明ノ液トナル之ニ硫化水素水ヲ加フレハ白澱ヲ生ス  
 本品〇・五グラム(0,5g)ヲ水十立方センチメートル(10cc)及「アムモニア」水五立方センチメートル(5cc)ニ溶解シメシモノハ澄明ニ止マリ過剰ノ硫化水素水ニ由テ白澱ヲ生スヘシ  
 本品ニ「ナトロン」濾液ヲ加フルニ「アムモニア」ヲ發ス可カラス  
 本品ノ水溶液(1:10)一立方センチメートル(1cc)ニ硫酸二立方センチメートル(2cc)ヲ和シ冷後之ニ硫酸鐵溶液一立方センチメートル(1cc)ヲ加ヘテ二液層トナスニ其接界ニ於テ類褐色ノ輪帶ヲ生ス可カラス久シキヲ經ルモ亦然リ  
 本品ノ水溶液(1:20)ハ硝酸銀溶液ニ由テ濁濁ス可カラス  
 本品二グラム(2g)ニ酒精十立方センチメートル(10cc)ヲ加ヘ十分時間振盪シ濾過シテ得タル液ハ水十立方センチメートル(10cc)ヲ以テ稀釋シタル後藍色試験紙ヲ變色ス可カラス  
 注意シテ貯フヘシ

Zincum valerianicum.



纈草酸亞鉛

纈草酸亞鉛ハ眞珠様ノ光澤アル白色板狀結晶或ハ結晶性粉末ニシテ纈草酸ノ臭氣及微甘收斂性ノ味ヲ有シ約百分ノ水竝十五分ノ純アルコホルニ溶解シ酸性ノ反應ヲ徴ス



本品ノ水溶液ハ硫化アムモニウムニ由テ白濁ヲ生シ又本品ヲ水ヲ以テ濡ホシ之ニ鹽酸ヲ和スレハ續草酸ノ臭氣ヲ有スル油滴ヲ分離ス

本品〇・五グラム(0.5g)ヲ鹽酸〇・五立方センチメートル(0.005cc)及水四・五立方センチメートル(4.5cc)ヨリ成レル混液ニ溶解シ分離セル油狀物ヲ濾過シテ得タル澄明液ニ同容量ノ硫化水素水ヲ和スルニ變化ス可カラス

本品〇・五グラム(0.5g)ハ「アムモニア水」ニ全ク溶解スヘシ此溶液ニ硫化アムモニウムヲ和スレハ純白色ノ沈澱ヲ生スヘシ之ヲ濾過シテ得タル液ハ蒸發ノ後熱灼スルニ秤定シ得ヘキ殘留物ヲ遺ス可カラス

本品〇・五グラム(0.5g)ニ水二立方センチメートル(2cc)及過クロール 鐵溶液四滴ヲ和シ生シタル赤褐色ノ沈澱ヲ濾過シテ得タル液ハ赤色ヲ有ス可カラス

又本品ノ冷飽和溶液ハ濃厚ノ醋酸銅溶液ニ由テ濁湖ス可カラス

本品一分ニ水二十分ヲ和シ振盪シテ得タル液ニ硝酸二三滴ヲ和シタルモノハ硝酸銀溶液並硝酸バリウム溶液ニ由テ僅微ノ濁湖ヲ起スニ過ク可カラス

本品一グラム(1g)ヲ反覆硝酸ヲ以テ濡ホシ微温ヲ與ヘテ乾燥セシメタル後熱灼スルニ〇・二六乃至〇・三二グラム(0.26-0.32)ノ固性物ヲ殘留セサル可カラス

注意シテ貯ンヘシ

Reagentia.

試藥

試藥ハ特ニ精製品ヲ採用スヘシ

Acidum aceticum. 醋酸. 正條ノ醋酸ヲ用フヘシ

Acidum aceticum glaciale. 氷醋酸. 正條ノ氷醋酸ヲ用フヘシ

Acidum hydrochloricum. 鹽酸. 正條ノ鹽酸ヲ用フヘシ

Acidum hydrochloricum concentratum. 濃鹽酸. 澄明發烟性ノ液ニシテ比重約一・一九七ナリ

Acidum hydrochloricum dilutum. 稀鹽酸. 正條ノ稀鹽酸ヲ用フヘシ

Acidum hydrochloricum fumans. 發烟鹽酸. 無色發烟性ノ液ニシテ比重一・一九ナリ

Acidum nitricum. 硝酸. 正條ノ硝酸ヲ用フヘシ

Acidum nitricum erudum. 粗製硝酸. 正條ノ粗製硝酸ヲ用フヘシ

Acidum nitricum dilutum. 稀硝酸. 正條ノ稀硝酸ヲ用フヘシ

Acidum nitricum fumans. 發烟硝酸. 正條ノ發烟硝酸ヲ用フヘシ

Acidum oxalicum. 草酸. 水溶液ヨリ再結晶セシメ氣中ニ乾燥シ白金板上ニ熱スルニ殘留物ヲ遺サズメニ揮散スルモノナリ

Acidum sulfuricum. 硫酸. 正條ノ硫酸ヲ用フヘシ

Acidum sulfuricum dilutum. 稀硫酸. 正條ノ稀硫酸ヲ用フヘシ

Aether. エーテル. 正條ノ「エーテル」ヲ用フヘシ

Aether absolutus. 純「エーテル」. 比重〇・七二ナリ

Aether Petrolei. 石油「エーテル」. 四十乃至五十度ニ於テ沸騰スルモノナリ

Alcohol absolutus. 純アルコール. 正條ノ純アルコールヲ用フヘシ

Alcohol amyliens. 「アミール」アルコール. 無色澄明揮發性ノ液ニシテ比重〇・八一四沸騰點百二十九乃至百三十一度ナリ

Ammonium sulfuratum. 硫化アムモニウム. アムモニア水三分ニ硫化水素ヲ飽和シ更ニ「アムモニア」水二分ヲ混和スヘシ

Amylum. 澱粉. 正條ノ澱粉ヲ用フヘシ

Amylum e Solano tuberoso paratum. 馬鈴薯澱粉

Anilinum. 「アニリン」

Aqua Ammoniac. 「アムモニア」水. 正條ノ「アムモニア」水ヲ用フヘシ

Aqua Barytae. 「バリット」水. 結晶苛性「バリット」一分ヲ蒸餾水十九分ニ溶解スヘシ



Aqua bromata. ブローム水    ブロームノ飽和水溶液ナリ  
 Aqua Calcariae 石灰水    正條ノ石灰水ヲ用フヘシ  
 Aqua chlorata. シロール水    シロールノ飽和水溶液ナリ  
 Aqua hydrosulfurata saturata. 硫化水素水    硫化水素ノ飽和水溶液ナリ  
 Aqua iodata. ヨード水    ヨードノ飽和水溶液ナリ  
 Benzinum Petrolei. 石油ベンチン    正條ノ石油ベンチンヲ用フヘシ  
 Benzolum. ベンツール    比重〇・八八乃至〇・八九沸騰點八十乃至八十二度ナリ  
 Bismutum subnitricum. 次硝酸鉍鉛    正條ノ次硝酸鉍鉛ヲ用フヘシ  
 Bromum. ブローム    正條ノ「ブローム」ヲ用フヘシ  
 Calcaria hydrata. 水化石灰    煨製石灰二分ニ水一分ヲ和シ新ニ製出セル微細ノ粉末ナリ  
 Calcaria usta e Marmore parata. 燒大理石    大理石ヲ燒灼シテ製シタルモノナリ  
 Carbonem sulfuratum. 硫化炭素    比重一・二七二沸騰點四十六度ナリ  
 Charta exploratoria caerulea. 藍色試験紙    ラクムス溶液ニ濾紙ヲ浸シ乾燥シタルモノナリ  
 Charta exploratoria Intea. 黃色試験紙    藍黃丁幾一分ニ酒精三分及水四分ヲ加ヘテ稀釋シタル液ニ濾紙ヲ浸シ乾燥シタルモノナリ  
 Charta exploratoria rubra. 赤色試験紙    ラクムス溶液ニ稀硫酸ヲ滴加シ其一分ヲ取り約百分ノ水ヲ加ヘ稀釋シタルニ淡赤色ヲ呈スルニ至リタルモノニ濾紙ヲ浸シ乾燥シタルモノナリ  
 Charta Zincis iodatis cum Amylo. ヨード亞鉛澱粉紙    ヨード亞鉛澱粉溶液ニ濾紙ヲ浸シ乾燥シタルモノナリ  
 Chloroformium. クロロフォルム    正條ノ「クロロフォルム」ヲ用フヘシ  
 Chloroformium absolutum. 純クロロフォルム    比重一・五〇二ナリ  
 Collodium. コロヂウム    正條ノ「コロヂウム」ヲ用フヘシ  
 Cuprum raspatum. 銅屑  
 Ferrum pulveratum. 鐵粉    正條ノ鐵粉ヲ用フヘシ

Glycerinum. グリセリン    正條ノ「グリセリン」ヲ用フヘシ  
 Haematoxylum. ハエトキシリン    無色鐵狀ノ結晶ニシテ水ニ僅微ニ、熱湯、酒精又エーテルニ容易ニ溶解ス本品ノ水溶液ニ「ナトロン」滴液並炭酸ナトリウム溶液ヲ加ヘテ振盪スレハ藍紫色ヲ呈ス  
 Hydrogenium sulfuratum. 硫化水素    洗滌セル硫化水素瓦斯ナリ  
 Jodum. ヨード    正條ノ「ヨード」ヲ用フヘシ  
 Kali causticum. 苛性カリ    正條ノ苛性カリヲ用フヘシ  
 Kalium nitricum. 硝酸カリウム    正條ノ硝酸カリウムヲ用フヘシ  
 Lac Calcariae. 石灰乳    水化石灰ニ水ヲ混和シタルモノナリ  
 Liquor Kali caustici. カリ滴液    苛性カリ一分ヲ蒸餾水約五分ニ溶解シタルモノニシテ比重一・一三九ナリ  
 Liquor Kali caustici spirituosus. 酒精製カリ滴液    用ニ臨テ熔融セル水酸化カリウム一分ヲ酒精九分ニ溶解スヘシ  
 Liquor Natri caustici. ナトロン滴液    苛性ナトロン一分ヲ蒸餾水約五分ニ溶解シタルモノニシテ比重一・一七ナリ  
 Liquor Plumbi subacetici. 次醋酸鉛溶液    正條ノ次醋酸鉛液ヲ用フヘシ  
 Magnesia hydrata. 水化マグネシア    硫酸マグネシウム一分ヲ蒸餾水五分ニ溶解シ之ニ「ナトロン」滴液二分ヲ加ヘテ得タル沈澱ヲ善ク洗滌シ蒸餾水ヲ和シテ四分トナセルモノナリ其濾液ニ硝酸バリウム溶液ヲ加フルニ濁濁ヲ生ス可カラス  
 Manganum hyperoxydatum. 褐石    百分中過酸化マンガン六十分以上ヲ含有スルモノナリ  
 Natrio-Kalium tartaricum. 酒石酸カリウムナトリウム    正條ノ酒石酸カリウムナトリウムヲ用フヘシ  
 Natrium boricum. 硼砂    正條ノ硼砂ヲ用フヘシ  
 Natrium chloratum. シロールナトリウム    正條ノ「シロールナトリウム」ヲ用フヘシ



Natrium metallicum. ナトリウム 石油中ニ貯ヘ用ニ臨テ濾紙ヲ以テ拭乾シ表面ニ附着セル不  
 潔物ヲ撤除セルモノナリ  
 Natrium nitrosum. 亞硝酸ナトリウム 正條ノ「硫酸ナトリウム」ヲ用フヘシ  
 Natrium sulfuricum. 硫酸ナトリウム 正條ノ「硫酸ナトリウム」ヲ用フヘシ  
 Natrium causticum. 苛性ナトリオン 正條ノ苛性ナトリオン「ヲ用フヘシ  
 Peptinum purum. 純ペプシン  
 Reagens Nessleri. ネスレル試薬 ヨードカリウム五グラム(5g)ヲ熱蒸餾水五立方センチメートル  
 (5 cm)ニ溶解シ之ニ昇汞二五グラム(2.5g)ヲ熱蒸餾水十立方センチメートル(10 cm)ニ溶解シ  
 タル液ヲ和シ茲ニ得タル赤色ノ濁濁液ニ苛性カリ十六グラム(16g)及蒸餾水四十立方センチメ  
 ートル(40 cm)ヲ以テ製シタル溶液ヲ和シ蒸餾水ヲ加ヘテ百立方センチメートル(100 cm)トナシ  
 靜置沈定セシメタル後傾瀉シテ得タル澄明ノ液ナリ  
 Saccharum. 砂糖 正條ノ白糖ヲ用フヘシ  
 Saccharum Lactis. 乳糖 正條ノ乳糖ヲ用フヘシ  
 Solutio Acidi carbonici. 石炭酸溶液 用ニ臨テ石炭酸一分ヲ蒸餾水十九分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Acidi rosolici. ロソール酸溶液 用ニ臨テ新ニ溶解セル亞硫酸ナトリウム溶液(1:10)ニ稀硫  
 酸ヲ加ヘテ酸性ヲナシタルモノナリ  
 Solutio Acidi tannici. タニン酸溶液 用ニ臨テ「タンニン酸」一分ヲ蒸餾水十九分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Acidi tartarici. 酒石酸溶液 用ニ臨テ酒石酸一分ヲ蒸餾水四分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Albuminis. 蛋白溶液 用ニ臨テ卵白ヲ蒸餾水ニ溶解スヘシ  
 Solutio Ammonii carbonici. 炭酸アムモニウム溶液 炭酸アムモニウム一分ヲ蒸餾水三分及アム  
 モニア水一分ノ混液ニ溶解スヘシ  
 Solutio Ammonii chlorati. クロールアムモニウム溶液 クロールアムモニウム一分ヲ蒸餾水九  
 分ニ溶解スヘシ

Solutio Ammonii molybdaenici. モリブデン酸アムモニウム溶液 モリブデン酸アムモニウム  
 七・五グラム(7.5g)ニ「アムモニウム」水十立方センチメートル(10 cm)及蒸餾水四十立方センチメー  
 ートル(40 cm)ヲ和シ五十度ニ超エサル温ヲ以テ溶解シ冷後濾過セル液ヲ硝酸(比重二・二五)立  
 方センチメートル(50 cm)中ニ攪拌シツル混和シ製スヘシ  
 Solutio Ammonii oxalici. 蓆酸アムモニウム溶液 蓆酸アムモニウム一分ヲ蒸餾水二十四分ニ溶  
 解スヘシ  
 Solutio Amyli. 澱粉溶液 用ニ臨テ澱粉ニ蒸餾水ヲ和シ煮沸シ稀釋シテ濾過シタルモノナリ  
 Solutio Argenti nitrici. 硝酸銀溶液 硝酸銀一分ヲ蒸餾水十九分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Baryi chlorati. クロールバリウム溶液 クロールバリウム一分ヲ蒸餾水九分ニ溶解スヘ  
 Solutio Baryi nitrici. 硝酸バリウム溶液 硝酸バリウム一分ヲ蒸餾水十九分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Calcariae chloratae. クロール石灰溶液 用ニ臨テ「クロール石灰」一分ニ蒸餾水九分ヲ和  
 シ研碎シ濾過スヘシ  
 Solutio Calcii chlorati. クロールカルチウム溶液 クロールカルチウム一分ヲ蒸餾水九分ニ溶解  
 スヘシ  
 Solutio Calcii sulfurici. 硫酸カルチウム溶液 硫酸カルチウム「ノ飽和水溶液ナリ  
 Solutio Cupri acetici. 醋酸銅溶液 用ニ臨テ醋酸銅一分ヲ蒸餾水十分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Eosini iodati. ヨードエオジン溶液 ヨードエオジン一分ヲ酒精五百分ニ溶解スヘシ  
 無色硝子壺中ニ水百立方センチメートル(100 cm)ヲ取り之ニ「エオジン」ヲ注加シ壺中エーテル  
 層ノ高サ約一センチメートル(1 cm)ニ達スルニ至リ百分定規鹽酸一滴及本液五滴ヲ滴加シ強ク  
 振盪スルニ水液ハ染色セス尋テ此混液ニ百分定規カリ液二滴ヲ滴加シ強ク振盪スルノ後始メテ  
 淡紅色ヲ呈スヘシ  
 Solutio Fehlingi. フェーリング溶液 豫メ「ナトリオン」濾液四百グラム(400g)ヲ加ヘタル酒石酸カリ  
 ウムナトリウム百七十五グラム(75g)及蒸餾水三百立方センチメートル(300 cm)ノ溶液ニ硫酸



銅二十五グラム(35g)及蒸餾水二百立方センチメートル(200cc)ノ溶液ヲ用ニ臨テ混和スヘシ  
 Solutio Ferri sesquichlorati: 過シロール鐵液 過シロール鐵一分ヲ蒸餾水九分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Ferri sulfurici: 硫酸鐵溶液 用ニ臨テ硫酸鐵一分ヲ蒸餾水一分及稀硫酸一分ノ混液ニ溶解スヘシ  
 Solutio Ferri sulfurici oxydati: 過硫酸鐵溶液 正條ノ過硫酸鐵液ヲ用フヘシ  
 Solutio Ferri sulfurici oxydati ammoniati: 過硫酸鐵アムモニウム溶液 用ニ臨テ過硫酸鐵アムモニウム一分ヲ蒸餾水八分及稀硫酸一分ノ混液ニ溶解スヘシ  
 Solutio Gelinae: 膠溶液 用ニ臨テ白阿膠ヲ蒸餾水ニ溶解スヘシ  
 Solutio Hydrargyri bichlorati: 昇汞溶液 昇汞一分ヲ蒸餾水十九分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Hydrargyri bichlorati spiritus: 酒精製昇汞溶液 昇汞二十グラム(20g)ヲ酒精五百立方センチメートル(500cc)ニ溶解スヘシ  
 Solutio Jodi: ヨード溶液 十分定規液ヲ用フヘシ  
 Solutio Jodi spirituos: 酒精製ヨード溶液 ヨード二十五グラム(25g)ヲ酒精五百立方センチメートル(500cc)ニ溶解スヘシ  
 Solutio Kalii acetici: 醋酸カリウム溶液 醋酸カリウム一分ヲ蒸餾水二分ニ溶解シタルモノニシテ比重一・一七六乃至一・一八〇ナリ  
 Solutio Kalii bichromici: 重クロム酸カリウム溶液 重クロム酸カリウム一分ヲ蒸餾水十九分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Kalii bisulfurici: 重硫酸カリウム溶液 重硫酸カリウム一分ヲ蒸餾水九分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Kalii carbonici: 炭酸カリウム溶液 炭酸カリウム十一分ヲ蒸餾水約二十分ニ溶解シタルモノニシテ比重一・三三〇乃至一・三三四トナセルモノナリ  
 Solutio Kalii chromici: シローム酸カリウム溶液 シローム酸カリウム一分ヲ蒸餾水十九分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Kalii ferriyanati: 赤色血鹵鹽溶液 用ニ臨テ豫メ水ヲ以テ洗滌セル赤色血鹵鹽一分ヲ

蒸餾水十九分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Kalii ferrocyanati: 黄色血鹵鹽溶液 用ニ臨テ黄色血鹵鹽一分ヲ蒸餾水十九分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Kalii iodati: ヨードカリウム溶液 用ニ臨テヨードカリウム一分ヲ蒸餾水九分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Kalii permanganici: 過マンガン酸カリウム溶液 過マンガン酸カリウム一分ヲ蒸餾水十分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Kalii sulfoeyanati: 硫チアンカリウム溶液 硫チアンカリウム一分ヲ蒸餾水十九分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Kalii sulfurati: 硫化カリウム溶液 硫化カリウム一分ヲ蒸餾水四分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Laccae musicae: ナクムス溶液 ナクムスヲ粉末トナシ熱湯ヲ以テ數回浸出シ濾過シテ得タル液ニ醋酸ヲ加ヘ微ニ酸性ヲ呈スルニ至リ重湯煎上ニ蒸發シ稠厚越幾ストナシ之ニ酒精ヲ注キ研磨シ大ナル硝子壺中ニ移シ更ニ多量ノ酒精ヲ加ヘ數時間放置シタル後濾過シ濾紙上ノ沈澱ヲ數回酒精ヲ以テ洗滌シ微温ニ於テ乾燥シ其一分ヲ十分ノ水ニ溶解シ濾過シテ得タル液ニ蒸沸シ之ニ稀薄硫酸水百立方センチメートル(100cc)ニ稀硫酸一滴ヲ加ヘタルモノヲ滴加スルコト共一分ヲ取り約百分ノ水ヲ加ヘ稀釋スルニ紫藍色ヲ呈スルニ至ルヘシ  
 Soluti Magnesi sulfurici: 硫酸マグネシウム溶液 硫酸マグネシウム一分ヲ蒸餾水九分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Natrii acetici: 醋酸ナトリウム溶液 醋酸ナトリウム一分ヲ蒸餾水四分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Natrii bicarbonici: 重碳酸ナトリウム溶液 用ニ臨テ重碳酸ナトリウムノ粉末一分ヲ輕ク搖動シテ蒸餾水十九分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Natrii bisulfurici: 重亞硫酸ナトリウム溶液 百分中重亞硫酸ナトリウム約三十分ヲ含タルモノナリ



Solutio Natrii carbonici 炭酸ナトリウム溶液 炭酸ナトリウム一分ヲ蒸餾水四分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Natrii phosphorici 磷酸ナトリウム溶液 磷酸ナトリウム一分ヲ蒸餾水十九分ニ溶解ス  
 Solutio Natrii subsulfurosi 次亜硫酸ナトリウム溶液 十分定規液ヲ用フヘシ  
 Solutio Natrii sulfurosi 亜硫酸ナトリウム溶液 用ニ臨テ亜硫酸ナトリウム一分ヲ蒸餾水九分  
 ニ溶解スヘシ  
 Solutio Phenolphthaleini フェノールフタレイン溶液 フェノールフタレイン一分ヲ稀酒精九十  
 九分ニ溶解セル無色ノ液ナリ  
 Solutio Plumbi aceticus 醋酸鉛溶液 醋酸鉛一分ヲ蒸餾水九分ニ溶解スヘシ  
 Solutio Stanni chlorati 亜クロール錫溶液 錫屑ヲ温鹽酸ニ溶解シテ得タル飽和液ニシテ錫屑  
 一二箇ヲ投メ貯ンヘシ  
 Solutio Zinci iodati cum Amylo ヨード亜鉛澱粉溶液 澱粉四分クロール亜鉛二十分及蒸餾水百  
 分ヲ混和シ煮沸シテ殆ト澄明ノ溶液ヲ得ルニ至リ豫メ亜鉛屑一分及水十分ニヨード二分ヲ加  
 シ濾過シテ得タル無色ノ液ヲ混和シ蒸餾水ヲ以テ千分トナシ濾過シタルモノナリ  
 Spiritus 酒精 正條ノ酒精ヲ用フヘシ  
 Spiritus dilutus 稀酒精 正條ノ稀酒精ヲ用フヘシ  
 Stannum raspatum 錫屑  
 Tinchura Curcumae 薑黃丁機 薑黃粗末十分ニ酒精七十五分ヲ加ヘ反覆搖動シツ、適宜ノ温ニ  
 於テ二十四時間浸田シ濾過シタルモノナリ  
 Zincum raspatum 亜鉛屑  
 Zincum purum 純亜鉛 純潔ヲ混有セサルモノナリ

Solutiones volumetricae normales.

定規液

Solutio Kali volumetrica normalis.

定規カリ液

一リートル(100)中水酸化カリウム(KOH)五十六・一六グラム(56.16g)ヲ含有スル液ニシテ共十立方  
 センチメートル(100cm)ノ修液(C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>O<sub>4</sub>+2H<sub>2</sub>O)〇・六三〇三グラム(0.6303g)ノ水溶液ヲ中和スヘシ  
 本液一立方センチメートル(1cm)ニ

醋酸	C <sub>2</sub> H <sub>3</sub> O <sub>2</sub>	〇・〇六〇〇四(0.06004)
樟腦酸	C <sub>9</sub> H <sub>6</sub> O <sub>2</sub>	〇・一〇〇〇八(0.10008)
クロール水素	HCl	〇・〇三六四六(0.03646)
乳酸	C <sub>3</sub> H <sub>5</sub> O <sub>2</sub>	〇・〇九〇〇六(0.09006)
硝酸	HNO <sub>3</sub>	〇・〇六三〇五(0.06305)
硫酸	H <sub>2</sub> SO <sub>4</sub>	〇・〇四九〇四(0.04904)
重酒石酸カリウム	KC <sub>2</sub> H <sub>3</sub> O <sub>6</sub>	〇・一八八二〇(0.18820)

グラム(%)ニ適應ス

Solutio Kali spirituosa volumetrica seminormalis.

酒精製二分定規カリ液

一リートル(100)中水酸化カリウム(KOH)二十八・〇八グラム(28.08g)ヲ含有スル無色或ハ微ニ淡類  
 黄色ヲ有スル酒精溶液ナリ  
 用ニ臨テ測定スルニ共十立方センチメートル(100cm)ハ二分定規鹽酸十立方センチメートル  
 (100cm)ヲ中和スヘシ

Solutio Kali volumetrica decinormalis.

十分定規カリ液

一リートル(100)中水酸化カリウム(KOH)五・六一六グラム(5.616g)ヲ含有スル液ニシテ共十立方セ  
 ンチメートル(100cm)ハ十分定規鹽酸十立方センチメートル(100cm)ヲ中和スヘシ



Solutio Kali volumetrica centinormalis.

百分定規カリ液

一リットル(1L)中水酸化カリウム(KOH)〇・五六一六グラム(0.5616g)ヲ含有スル液ニシテ其十立方センチメートル(10cc)ハ百分定規鹽酸十立方センチメートル(10cc)ヲ中和スルニ

Acidum hydrochloricum volumetricum normale.

定規鹽酸

一リットル(1L)中シロール水素(HCl)二六・四六六グラム(26.466g)ヲ含有スル液ニシテ其十立方センチメートル(10cc)ハ百分定規カリ液十立方センチメートル(10cc)ヲ中和スルニ

本液一立方センチメートル(1cc)ハ

- アムモニア  $\text{NH}_3$  〇・〇一七〇七 (0.01707)
- 水酸化カリウム  $\text{KOH}$  〇・〇五六一六 (0.05616)
- 炭酸カリウム  $\text{K}_2\text{CO}_3$  〇・〇六九一五 (0.06915)
- 酒石酸カリウム  $\text{K}_2\text{C}_2\text{O}_6$  〇・一三三二七 (0.13317)
- 炭酸リチウム  $\text{Li}_2\text{CO}_3$  〇・〇二二七〇 (0.02270)
- 酒石酸カリウムナトリウム  $\text{KNaC}_4\text{H}_4\text{O}_6 + 4\text{H}_2\text{O}$  〇・一四一四一 (0.14141)
- 炭酸ナトリウム  $\text{Na}_2\text{CO}_3 + 10\text{H}_2\text{O}$  〇・一四三二一 (0.14321)
- 炭酸ナトリウム  $\text{Na}_2\text{CO}_3$  〇・〇五三〇五 (0.05305)
- 水酸化ナトリウム  $\text{NaOH}$  〇・〇四〇〇六 (0.04006)

グラム(g)ニ適應ス

Acidum hydrochloricum volumetricum seminormale.

一分定規鹽酸

一リットル(1L)中シロール水素(HCl)一八・二三二グラム(18.232g)ヲ含有スル液ニシテ其十立方センチメートル(10cc)ハ酒精製二分定規カリ液十立方センチメートル(10cc)ヲ中和スルニ

Acidum hydrochloricum volumetricum decinormale.

十分定規鹽酸

一リットル(1L)中シロール水素(HCl)三・六四六グラム(3.646g)ヲ含有スル液ニシテ其十立方センチ

メートル(10cc)ハ十分定規カリ液十立方センチメートル(10cc)ヲ中和スルニ  
Acidum hydrochloricum volumetricum centinormale.

百分定規鹽酸

一リットル(1L)中シロール水素(HCl)〇・三六四六グラム(0.3646g)ヲ含有スル液ニシテ其十立方センチメートル(10cc)ハ百分定規カリ液十立方センチメートル(10cc)ヲ中和スルニ

Solutio Ammonii sulfocyanati volumetrica decinormalis.

十分定規硫チアムシアンチウム液

一リットル(1L)中硫チアムシアンチウム(10cc)ニ硝酸〇・八立方センチメートル(0.8cc)及硫酸鐵アムモニウム溶液〇・五立方センチメートル(0.5cc)ヲ加ヘ之ニ本液ヲ滴加シテ血紅色ヲ呈スルニハ其十立方センチメートル(10cc)ニ費スルニ

Solutio Argenti nitrici volumetrica decinormalis.

十分定規硝酸銀液

一リットル(1L)中硝酸銀( $\text{AgNO}_3$ )一六・九九七グラム(16.997g)ヲ含有スル液ナリ

- 本液一立方センチメートル(1cc)ハ
- 硫チアムシアンチウム  $\text{C}_4\text{H}_5\text{NS}$  〇・〇〇四九五七五 (0.0049575)
- チアムシアンチウム  $\text{NH}_4\text{Br}$  〇・〇〇九八〇四〇 (0.0098040)
- チアムシアンチウム  $\text{HCN}$  〇・〇〇五四一〇〇 (0.0054100)
- チアムシアンチウム  $\text{KBr}$  〇・〇〇一八九一〇 (0.019110)
- チアムシアンチウム  $\text{KJ}$  〇・〇〇一六六〇〇 (0.0166000)
- チアムシアンチウム  $\text{NaBr}$  〇・〇〇一〇三〇一〇 (0.0103010)
- チアムシアンチウム  $\text{NaJ}$  〇・〇〇一四九九〇 (0.0149900)

Solutio Natrii chlorati volumetrica decinormalis.

十分定規クロールナトリウム液

一リットル(1L)中クロールナトリウム( $\text{NaCl}$ )五・八五二グラム(5.852g)ヲ含有スル液ニシテ其十立方セ







カ、オ脂	人工カル、ス泉鹽	阿片丁幾
肝油	サントニン	ストロファンツス丁幾
オレーフ油	麥角	番木甞丁幾
蓖麻子油	ヨード鐵舍利別	繙草丁幾
胡麻油	單舍利別	水銀軟膏
阿片	酒精	單軟膏
ドーフル散	甘草羔	亞鉛華軟膏
吐根	苦味丁幾	ワセリン
大黃	橙皮丁幾	硫酸亞鉛
ヤラツバ脂	吐根丁幾	
乳糖	ヨード丁幾	

(第二表) 本表ノ藥品ハ猛烈ナル作用ヲ有シ所謂毒藥ニ屬ス他ノ藥品ト區別シテ閉鎖セル場所ニ藏メ最モ注意シテ貯フヘシ

亞砒酸	赤色ヨード汞	巴豆油
稀靑酸	黃色酸化汞	昇汞錠
鹽酸アボモルヒネ	赤色酸化汞	鹽酸モルヒネ錠
ヨード砒素	サリチール酸汞	サリチール酸フィソスチグミン
硫酸アトロピン	ヨード砒素汞液	硫酸フィソスチグミン
アコニト越幾斯	亞砒酸カリウム液	鹽酸ピロカルピン
カラバル豆越幾斯	鹽酸モルヒネ	硝酸ストリキニーネ
プローム水素酸ホマトロピン	硫酸モルヒネ	ウエラドリン
昇汞	ニトログリセリン	

(第三表) 本表ノ藥品ハ劇藥ニ屬ス他ノ藥品ト區別シテ注意シテ貯フヘシ

アセトアニリド	熔製硝酸銀	苺岩越幾斯
二石炭酸	プローム	麥角越幾斯
粗製石炭酸	安息香酸ナトリウムカフエイン	番木甞越幾斯
流動石炭酸	サリチール酸ナトリウムカフエイン	ペラドンナ葉
クローム酸	カフエイン	チギタリス葉
鹽酸	プローム樟腦	ヒロス葉
粗製硝酸	カンタリス	曼陀羅葉
發烟硝酸	樟酸セリウム	フォルマリン
ピクリン酸	抱水クロラール	コロシント實
硫酸	クロムフォルム	昇汞綿
粗製硫酸	鹽酸コカイン	ヨードフォルム綿
トリクロール醋酸	燐酸コデイン	グアヤコール
アガリチン	發泡コロヂウム	藤黃
亞硝酸アミール	銅礬	印度大麻草
アンチピリン	硫酸銅	ロベリア草
サリチール酸アンチピリン	ヂメチールアミドアンチピリン	甘汞
苦扁桃水	印度大麻越幾斯	蒸氣製甘汞
杏仁水	コロシント越幾斯	黃色ヨード汞
バクチ水	ロヨス越幾斯	油酸汞
硝酸銀	阿片越幾斯	白降汞
硝酸銀加硝石	南陸越幾斯	ヨードフォルム



苛性カリ クロール酸カリウム ヨードカリウム クレオソート グンタベルカ液 ニトログリセリン液 次醋酸鉛液 メチールスルフォナール 鉛丹 鹽酸アセチルモルヒネ 苛性ナトロン 揮發芥子油 阿片 パラアルデヒド アンチピリン錠 鹽酸コカイン錠 甘汞錠 阿片吐根錠 フェナセチン コロシントヒヨス丸 醋酸鉛 酸化鉛 ドーフル散	アコニット根 ダルゼミウム根 吐根 ヤラツバ根 莨菪根 ヤラツバ脂 ボドフィラム脂 サントニン 麥角 コルヒクム子 カラバル豆 ストロファンツス子 番木鱈 フテリア血清 破傷風血清 硫酸スバルテイン 吐酒石 金硫黃 スルフォナール 昇汞ガーゼ ヨードフォルムガーゼ サリチール酸ナトリウムテオ プロミン	アコニット丁幾 カンタリス丁幾 複方クロ、フォルムモルヒネ丁幾 コルヒクム丁幾 コロシント丁幾 デギタリス丁幾 ダルゼミウム丁幾 吐根丁幾 ヨード丁幾 ロベリア丁幾 阿片丁幾 阿片安息香丁幾 莨菪丁幾 ストロファンツス丁幾 番木鱈丁幾 ツベルクリン コルヒクム酒 吐根酒 芳香阿片酒 吐酒石酒 クロール亞鉛 スルフォ石炭酸亞鉛 硫酸亞鉛 嶺草酸亞鉛
--	---	---

(第四表) 大人ニ對スル藥品一回及一日ノ極量

醫師其處方箋ノ藥名ノ下特ニ注意標(一)ヲ記スルニアラサレハ此量ヲ超エテ處方スルヲ許サ

藥品ノ目	一回ノ極量	一日ノ極量
アセトアニリド	〇・五	一・五
亞砒酸	〇・〇〇五	〇・一五
石炭酸	〇・一	〇・三
稀靑酸	〇・一	〇・三
アガリチン	〇・一	〇・三
鹽酸アポモルヒネ	〇・〇二	〇・〇六
苦扁桃水	二・〇	六・〇
杏仁水	二・〇	六・〇
バクチ水	二・〇	六・〇
硝酸銀	〇・〇三	〇・一
熔製硝酸銀	〇・〇三	〇・一
ヨード砒素	〇・〇〇五	〇・〇一五
硫酸アトロピン	〇・〇〇一	〇・〇〇三
安息香酸ナトリウムカフェイン	一・〇	六・〇
サリチール酸ナトリウムカフェイン	一・〇	六・〇
カフェイン	〇・五	一・五
プローム樟腦	〇・三	一・〇
カンタリス	〇・〇五	〇・一五



漆酸セリウム	〇・〇三	一・〇
抱水クロラール	二・〇	六・〇
鹽酸コカイン	〇・〇五	〇・一五
磷酸コチン	一・〇	〇・三
硫酸銅(催吐藥トシテ頓服スルノ量)	〇・五	一・五
ヂメチールアミドアンチピリン	〇・〇一五	〇・〇五
アコニット越幾斯	〇・〇一	〇・〇三
印度大麻越幾斯	〇・〇一	〇・〇一五
コロシント越幾斯	〇・〇一	〇・〇一五
ヒヨス越幾斯	〇・〇一	〇・〇一五
阿片越幾斯	〇・〇一	〇・〇一五
カラバル豆越幾斯	〇・〇一五	〇・〇五
商陸越幾斯	〇・〇一五	〇・〇六
莨菪越幾斯	〇・〇一五	〇・〇六
麥角越幾斯	〇・〇一五	〇・〇六
番木髓越幾斯	〇・〇一五	〇・〇六
チギタリス葉	〇・〇一五	〇・〇六
ヒヨス葉	〇・〇一五	〇・〇六
グアヤコール	〇・〇一五	〇・〇六
藤黃	〇・〇一五	〇・〇六
ロベリア草	〇・〇一五	〇・〇六
ブローム水素酸ホマトロピン	〇・〇一五	〇・〇六
昇汞	〇・〇一五	〇・〇六

赤色ヨード汞	〇・〇二	〇・〇六
黄色ヨード汞	〇・〇二	〇・〇六
赤色酸化汞	〇・〇二	〇・〇六
サリチール酸汞	〇・〇二	〇・〇六
ヨードフォルム	〇・〇二	〇・〇六
ヨード	〇・〇二	〇・〇六
クレオソート	〇・〇二	〇・〇六
ヨード砒素液	〇・〇二	〇・〇六
亞砒酸カリウム液	〇・〇二	〇・〇六
メチールスルフォナール	〇・〇二	〇・〇六
鹽酸チアセチールモルヒネ	〇・〇一	〇・〇三
鹽酸モルヒネ	〇・〇一	〇・〇三
硫酸モルヒネ	〇・〇一	〇・〇三
巴豆油	〇・〇一五	〇・〇五
阿片	〇・〇一五	〇・〇五
バフアルデヒド	〇・〇一五	〇・〇五
フエナセチン	〇・〇一	〇・〇三
燐	〇・〇一	〇・〇三
サリチール酸アイゾスチグミン	〇・〇一	〇・〇三
硫酸アイゾスチグミン	〇・〇一	〇・〇三
鹽酸ピロカルピン	〇・〇一	〇・〇三
コロシントヒヨス丸	〇・〇一	〇・〇三
醋酸鉛	〇・〇一	〇・〇三



莫耆根	〇・一	〇・三
ヤラシバ脂	一・〇	三・〇
ボドフィルム脂	〇・一	〇・三
サントニン	〇・一	〇・三
麥角	一・〇	五・〇
番木鱧	〇・一	〇・二
吐酒石	〇・二	〇・六
金硫黃	〇・〇	〇・六
硝酸ストリキニーネ	〇・〇	一・五
スルフォナール	二・〇	四・〇
カンタリス丁幾	二・〇	四・〇
コルヒクム丁幾	二・〇	六・〇
コロシント丁幾	一・〇	三・〇
チギタリス丁幾	一・五	五・〇
ゲルセミウム丁幾	〇・五	一・五
ヨード丁幾	〇・二	〇・六
ロベリア丁幾	一・〇	三・〇
阿片丁幾	一・五	五・〇
莫耆丁幾	一・〇	三・〇
ストロファンツス丁幾	〇・五	一・五
番木鱧丁幾	一・〇	二・〇
ウニラトリン	〇・〇	〇・五
コルヒクム酒	二・〇	六・〇
芳香阿片酒	一・五	五・〇
硫酸亞鉛(催吐藥トシテ頓服スルノ量)	一・〇	一・五

(第五表) 重要ナル原素ノ記號及原子量

原素ノ目	記號	原子量
Aluminium.	Al	二七・一
Argentum.	Ag	一〇七・九三
Arsenicum.	As	七五・〇
Baryum.	Ba	一三七・四
Bismutum.	Bi	二〇八・五
Borun.	B	一・一〇
Bromum.	Br	七九・九六
Calcium.	Ca	四〇・〇
Carbonum.	C	一・二〇
Cerium.	Ce	一四〇・二五
Chlorum.	Cl	三五・四五
Chromium.	Cr	五二・一
Cuprum.	Cu	六三・六
Ferrum.	Fe	五六・〇
Hydrargyrum.	Hg	二〇〇・三
Hydrogenium.	H	一・〇



Iodum.	ヨド	J	一六八五
Kalium.	カリウム	K	三九一五
Lithium.	リチウム	Li	七〇三
Magnesium.	マグネシウム	Mg	二四三六
Manganum.	マンガン	Mn	五五〇
Natrium.	ナトリウム	Na	二三〇五
Nitrogenium.	窒素	N	一四〇四
Oxygenium.	酸素	O	一六〇
Phosphorus.	磷	P	三一〇
Plumbum.	鉛	Pb	二〇六九
Stannum.	錫	Sn	一一八五
Stibium.	アンチモニウム	Sb	一一〇〇
Sulfur.	硫黄	S	三二〇六
Zincum.	亜鉛	Zn	六五・五

法定藥品名及慣用藥品名對照表

(甲表)

Acidum acetsalicylicum.	Aspirinum.
アセチルサリチン酸	アスピリン
Albuminum tannicum.	Tannalbuminum.
タンニン酸アルブミン	タンニナルブミン
Ammonium sulfoichthyolicum.	Icthyolum.
イソチキール酸アンモニウム	イソチキール
Antipyrinum salicylicum.	Salipyrinum.
カリチン酸アントピリン	カリピリン
Argentum proteinatum.	Proteargolum.
プロテイン銀	プロテイン
Bismutum subgallicum.	Dermatolum.
次没食子酸鉍	ドナトール
Bismutum tribromophenyllicum.	Xeroforum.
トリブロムフェニル鉍	キボロン
Chininum aethylcarbonicum.	Euchinum.
エチル炭酸キニーネ	キニリン
Dimethylamidantipyrinum.	Pyramidalium.
ジメチルアンチピリン	ピラミダール



Hexamethylentetraminum.	六メチレンテトラミン	Urotropinum.	ウロトロピン
ルキホキチーノンナフトチミン		カロロジン	
Lactylphenetidinum.	ラクチルフェネチジン	Lactopheninum.	ラクチンフェニン
ラクチーレンノキチチン		リソリン	
Methylsulfonalum.	メチルソナルム	Thionalum.	チオンアルム
メチーレンスルホナール		テリキナール	
Morphinum diacetylicum hydrochloricum.	モルフィンジアセチルヒドロクロリウム	Heroinum hydrochloricum.	ヘロインヒドロクロリウム
鹽酸モルフィンジアセチル		鹽酸ヘロイン	
Phenyldihydrochinazolinum tannicum.	フェニルジヒドロキナズリンタンニン	Orexinum tannicum.	オレキタンニン
フェニルジヒドロキノリンタンニン		オキシタンニン	
Phenylum salicylicum.	フェニルサリシリック	Salolum.	サロルム
フェリチーレンサリシール		サロール	
Tanninum acetylicum.	タンニンアセチル	カローネ	
タンナーンサニリン		Tannigenum.	タンニゲンム
Theobrominum natrio-salicylicum.	テオブロミンナトリオサリシリック	Diureticum.	ダイレチックム
カリチーレン酸ナトリウムタンニン		チカノチン	
(2表)		Acidum acetylsalicylicum.	アセチルサリシリック酸
Aspirinum.	アスピリナム	ルポナーンカリチーレン酸	
アピリナム		Bismutum subgalicum.	次没食子酸亜鉛
Dermatolum.	デルマトルム		
デルマトール			

Diureticum.	ダイレチックム	Theobrominum natrio-salicylicum.	テオブロミンナトリオサリシリック
チカノチン		カリチーレン酸ナトリウムタンニン	
Euchininum.	ユーチニンム	Cinnum aethylcarbonicum.	シナムアセチルカーボニックム
ユーチロニン		モナーン酸サリシール	
Heroinum hydrochloricum.	ヘロインヒドロクロリウム	Morphinum diacetylicum hydrochloricum.	モルフィンジアセチルヒドロクロリウム
鹽酸ヘロイン		鹽酸モルフィンジアセチル	
Ichthyolum.	イチチユルム	Ammonium sulfocichyolicum.	アンモニウムサルフォキヒョリックム
イコチキール		レンンキヒョキチーレン酸メチル	
Lactopheninum.	ラクチンフェニンム	Lactylphenetidinum.	ラクチルフェネチジンム
ラクチンフェニン		リソチーレンノキチチン	
Orexinum tannicum.	オレキタンニカム	Phenyldihydrochinazolinum tannicum.	フェニルジヒドロキナズリンタンニカム
オキシタンニン		フェニルジヒドロキノリンタンニン	
Protargolum.	プロタルグルム	Argentum prolenatum.	アルゲンツムプロレンアツム
プロタルグール		トロハイン酸	
Pyramidonum.	ピラミドンム	Dimethylamidopyrimum.	ジメチルアミドピリジンム
ピラミドン		チメチーレンアミドピリジン	
Salipyrinum.	サリピリンム	Antipyrinum salicylicum.	アンチピリンサリシリックム
チカノチン		カリチーレン酸メチル	
Salolum.	サロルム	Phenylum salicylicum.	フェニルサリシリックム
サロール		フェリチーレン酸メチル	



Tannalbumin.  
 タンナルボン  
 Tannigenum.  
 タンニゲン  
 Trionalum.  
 トリオナル  
 Trotopinum.  
 タロトロピン  
 Xerofornum.  
 キセロフォルム

Aluminium tannicum.  
 タンニン酸アルミニウム  
 Tanninum acetylicum.  
 アセチルタンニン  
 Methylsulfonatum.  
 メチルメルフオナル  
 Hexamethylentetraminum.  
 ヘキサメチレンテトラミン  
 Bisulphur tribromphenicum.  
 トリブローム石炭酸若鉛

日本藥局方藥品索引

(イ)

イリス根  
 硫黄軟膏  
 イスランド苔  
 印度大麻丁幾  
 印度大麻越幾斯  
 印度大麻草  
 引赤紙  
 (ロ)  
 ロベリア丁幾  
 ロベリア草  
 蘆薈  
 蘆薈丁幾  
 蘆薈丸  
 蘆薈ヤラッパ丸  
 蘆薈越幾斯  
 蘆薈阿魏丸  
 蘆薈鐵丸  
 ローマカミルレ花  
 苳若丁幾

五二四頁  
 六〇〇  
 四二五  
 五七四  
 三四六  
 三九九  
 三一四  
 五八五  
 四〇〇  
 二六六  
 五七一  
 四九六  
 四九七  
 三四六  
 四九六  
 四九七  
 三七五  
 五八九

苳若便膏  
 苳若軟膏  
 苳若根  
 苳若越幾斯  
 苳若坐劑  
 硝砂  
 (ハ)  
 發泡コロゲウム  
 發烟硝酸  
 破傷風血清  
 巴豆油  
 パラフィン軟膏  
 パラアルデヒド  
 白蠟  
 白降汞  
 白降汞軟膏  
 白阿膠  
 白瑞香皮  
 ハマメリス葉  
 ハマメリス流動機幾斯  
 薄荷腦  
 薄荷葉

三四三  
 五九九  
 五一八  
 三六一  
 五六五  
 二七一  
 三二六  
 二五〇  
 五三八  
 四七一  
 五九八  
 四八五  
 三一  
 四〇八  
 五九六  
 三九一  
 三三三  
 三八一  
 三五五  
 四四七  
 三八三



薄荷油	四七六	ニトログリセリン液	四三八
薄荷舍利別	五四三	乳糖	五二六
薄荷錠	四八九	乳酸	二四八
薄荷精	五五七	乳酸鐵	三六九
薄荷水	二八四	乳酸鐵錠	四八八
麥角	五三一	肉豆蔻	五三二
麥角洗動越幾斯	三六三	(ホ)	
麥角越幾斯	三六二	ホーレル水	四三七
白糖	五二五	蜂蜜	四四五
白陶土	二九七	蒲公英	五一九
白檀油	四七九	蒲公英越幾斯	三六四
バクチ葉	三八三	ホドフィルム脂	五二三
バクチ水	二八五	芳香丁幾	五七二
馬錢子	五三五	芳香硫酸	五七三
番木籠	五三一	芳香阿片酒	六〇五
番木籠丁幾	五九一	芳香アムモニア精	五五二
番木籠越幾斯	三六三	芳香醋	二三六
パンクレアチン	四八三	芳香椒	五〇四
番椒	三八八	芳香精	五五三
番椒丁幾	五七五	硼酸	二四二
(ニ)		硼酸軟膏	五九五
ニトログリセリン	四六五	硼酸ガーゼ	五六六

硼酸綿	三九三	橙花油	四六七
硼酸錠	四八六	橙花水	二八三
硼砂	二九七	橙皮	三二八
芒硝	四六三	橙皮丁幾	五七四
抱水クロラール	三二〇	橙皮油	四六六
抱水テルピン	五六八	橙皮舍利別	五四〇
ホフマン液	五五〇	吐根	五一一
菩提樹花	三七七	吐根丁幾	五八三
(ハ)		吐根舍利別	五四二
ヘブラ軟膏	五九六	吐根酒	六〇五
ヘキサメチレンテトラミン	四〇一	吐根錠	四八九
扁桃油	四六五	蘇黃	三九八
ベルガモット油	四六七	杜松木タール	五〇〇
ペラドンナ葉	三七八	杜松實	三八九
ペルーバルサム	二九〇	杜松實油	四七四
ペプシン酒	六〇六	杜松實精	五五六
(ト)		吐酒石	五五九
トリクロール酢酸	二五七	吐酒石軟膏	五五九
トリプローム石炭酸鉄鉛	二九六	吐酒石酒	六〇六
トルーバルサム	二九一	トンロ豆	五三六
トラガカンタ	五九三	豚脂	二五九
トラガカンタ漿	四五二	銅礬	三三六



ドーフル散	五〇五	流動パラフィン	四八四
ドノウアン液	四三〇	流動蘇合香	五六〇
(チ)		流動越幾斯劑	三四四
稠厚牛膽	三六五	流動石炭酸	二四四
調製白堊	三三四	龍膠	五一二
茶劑	五四八	龍膠丁幾	五八三
丁幾劑	五七〇	龍膽越幾斯	三五五
丁香	三〇九	硫化カリウム	四二〇
丁香油	四六九	硫化石灰	三〇二
チモール	五七〇	硫酸	二五四
チミアン油	四八一	硫酸銅	三三六
沈降硫黃	五六三	硫酸カリウム	四二一
沈降磷酸カルチウム	三〇四	硫酸ナトリウム	四六三
沈降炭酸カルチウム	三〇三	硫酸マグネシウム	四四四
チフテリア血清	五三六	硫酸フイゾスチグミン	四九五
チアスタトゼ	三三七	硫酸鐵	三七三
チギタリス丁幾	五八〇	硫酸アトロピン	二八九
チギタリス葉	三八〇	硫酸アルミニウム	二六八
チメチールアミドアンチピリン	三三八	硫酸亜鉛	六〇九
(リ)		硫酸キニーネ	三一八
綠礬	三七四	硫酸キニーネ丸	四九七
綠石鹼	五二九	硫酸モルヒネ	四五〇
		硫酸スバルテイン	五四七

磷	四九四	和胸茶劑	五四九
磷酸	二五一	ワセリン	六〇一
磷酸ナトリウム	四六一	(カ)	
酸燐コチン	三二三	海葱	二九八
林檎鐵丁幾	五八一	海葱醋	二三八
林檎鐵越幾斯	三五三	海葱醋蜜	四八三
(オ)		海葱丁幾	五八九
オイカリブツス葉	三八〇	芥子	五三三
オイカリブツス油	四七二	芥子精	五五八
オポデルドンク	四二九	カリ石鹼	五二八
黄蠟	三一一	ガルバヌム	三九一
黄連	五一〇	カルドベネダクト越幾斯	三四七
黄連越幾斯	三五二	カルドベネダクト草	四〇〇
黄降汞	四〇六	カルウオン	三〇九
黄降汞軟膏	五九七	カールム實	三八八
黄蜀葵根	五一二	カールム水	二八一
黄色ロード汞	四〇五	カ、オ脂	四六八
黄色酸化汞	四〇六	滑石	五六五
オレイン油	四七六	カラバル豆	五三三
オキシクロール鐵液	四三三	カラバル豆越幾斯	三五九
(ワ)		カラゲイン	三〇八
ワニルラ	三九〇	カヤプテ油	四六八



カマラ	四三三	乾燥卵白	二六三
カフネイジ	三〇一	甘采	四〇四
カミルレ花	三四七	甘采錠	四八八
煨製硫酸カルチウム	三〇六	甘草	五一五
奇性カリ	四一一	甘草羔	五六一
奇性ナトロン	四六四	甘草越幾斯	三五八
煨製ヤダネシア	四四一	肝油	四七三
煨製石灰	三〇三	甘硝石精	五五+
カムフル丁幾	五五四	含糖ペンシ	四九二
カスカリラ丁幾	五七五	含糖ヨード鐵	三六八
カスカリラ越幾斯	三四八	含糖炭酸鐵	三六五
カスカリラ皮	三二八	含水ラノリン	二五九
カスカラサグラダ	三〇九	(日)	
カスカラサグラダ流動越幾斯	三四七	ヨード	四一一
莖送	五二〇	ヨードフォルム	四一〇
甘扁桃	二七三	ヨードフォルムガゼ	五六七
カンタリス	三〇七	ヨードフォルムコロヂウム	三二七
カンタリス丁幾	五七五	ヨードフォルム綿	三九五
カンタリス軟膏	五九五	ヨード丁幾	五八四
カンタリス硬膏	三四〇	ヨードカリウム	四一八
カンタリス油	四六九	ヨードカリウム軟膏	五九八
乾燥硫酸ナトリウム	四六四	ヨードナトリウム	四九九
乾燥炭酸ナトリウム	四五八		

調子鐵舍利別	五四二	炭酸鉛	五〇二
ヨード砒素	二八八	炭酸アモニウム	二七〇
ヨード砒素水液	四三〇	單舍利別	五四七
溶性サツカリ	五二四	大黃	五一七
煨製硝酸銀	二八七	大黃丁幾	五八八
(タ)		大黃越幾斯	三六一
タール水	二八四	大黃舍利別	五四四
タマリンド	五〇三	大風子油	四七三
蛋白鐵液	四三一	彈力コロヂウム	三二六
タンニン酸	二五六	彈力ゴム	三一一
タンニン酸錠	四八六	タマル脂	五二一
タンニン酸フェニールヂヒドロ	四八六	(レ)	
ヒナツオリン	四九三	レゾルチン	五二三
タンニン酸アルブミン	二六四	レモン油	四七一
タンニン酸キニーネ	三一九	(ツ)	
單軟膏	五九九	粗製硫酸	二五五
單鉛硬膏	三四一	粗製硫酸鐵	三七四
炭酸リチウム	四四〇	粗製炭酸カリウム	四一五
炭酸カリウム	四一四	粗製炭酸ナトリウム	四五八
炭酸ナトリウム	四五七	粗製クレゾール	三三四
炭酸クレオソート	四三四	粗製木醋	二三七
炭酸グアヤコール	三九七	粗製硝酸	三五〇
炭酸マダネシウム	四四二		



粗製石炭酸	二四四	茴香水	三八三
ツベルクリン	五九四	ウワウルシ葉	三八六
(ナ)		ウエルバスクム花	三七八
ナフトール	四五三	ウエラトリン	六〇二
ナフタリン	四五三	(ク)	
軟膏劑	五九四	クロ、フォルム	三二〇
(ラ)		クロ、フォルム油	四七〇
ラヘンデル花	三七六	クロ、フォルム擦劑	四二八
ラヘンデル油	四七四	クロ、フォルム水	五五四
ラヘンデル精	五五六	クロールカリウム	二八一
ラタニアア丁幾	五八八	クロールナトリウム	四一六
ラタニア根	五一六	クロールアムモニウム	四九九
ラタニア越幾斯	三六一	クロール酸カリウム	二七一
ラウリル脂	四七四	クロール酸カリウム錠	四一六
ラクチールフェネチデン	四二五	クロール石灰	六〇七
(ム)		クロール酸	三〇一
無水ラノリン	二五八	苦扁桃	二四五
(ウ)		苦扁桃水	二七二
茴香	三八九	苦土大黃散	二七八
茴香油	四七二	クリサロビン	五〇五
茴香精	五五六		三二一

苦艾	三九九	枸橼酸鐵キニネ	三一六
樟木タール	五〇〇	枸橼油	四七一
過硫酸鐵液	四三五	枸橼皮	三三〇
クワツシア木	四二六	枸橼精	五五五
クワツシア丁幾	五八七	苦味丁幾	五七二
過ヨード汞	三六〇	グリセリン	三九二
過クロール汞	四〇三	グリセリン軟膏	五九二
過クロール鐵	三七二	グリセリン坐劑	五九五
過クロール鐵液	四三二	グッタメルカ	五六四
過マンガン酸カリウム	四二〇	グッタメルカ液	三九八
緩下茶劑	五四八	グアヤコール	四三六
緩下沸騰散	五四四	(ヤ)	三九六
丸劑	四九六	ヤボラン子葉	三八二
還元鐵	三七一	ヤラツパ根	五一五
クレオソート	四二二	ヤラツパ脂	五二二
クレオソート丸	四九九	ヤラツパ石鹼	五二八
クレゾール石鹼液	四三〇	藥用石鹼	五二八
クレゾール水	二八二	(マ)	
枸橼酸	二四五	玫瑰花	三七七
枸橼酸鐵	三六七	麻醉用エーテル	二六一
枸橼酸鐵液	四三二	曼陀羅葉	三八五
枸橼酸鐵アムモニウム	三六七	マンナ	四四五



ヤシナ舍利別	五四二	フラングラ皮	三三一
(ケ)		複方蘆薈丁幾	五七一
桂皮	三三〇	複方甘草散	五〇六
桂皮丁幾	五七八	複方大黃丸	五〇六
桂皮油	四七〇	複方大黃散	五〇〇
桂皮精	五五四	複方ラヘンデル丁幾	五八五
桂皮水	二八二	複方クロハフォルムホルヒネ丁幾	五七八
桂皮舍利別	五四〇	複方ダンチアナ丁幾	五八二
額草丁幾	五九二	複方キナ丁幾	五七七
額草根	五二〇	複方センナ紙劑	三三八
額草酸亜鉛	六〇九	複方センナ浸	四一〇
鯨鯨	三二三	複盆子舍利別	五四四
ガルゼミウム丁幾	五八二	複鉛硬膏	三四二
ガルゼミウム根	五一一	フエナセチン	四九二
ダンチアナ根	五一一	フアルアラ葉	三八一
ダンチアナ越幾斯	三五四	浮石	四二五
(コ)		プロテイン銀	二八七
フォルマリン	三八六	プロード丸	四九八
フォルマリリン水	二八四	プローム	二九八
フォルムアルデヒド液	三八六	プロームカリウム	四一四
佛佛枸橼酸マグネシウム	四四三	プロームナトリウム	四五七
佛佛散	五四四	プロームエチール	二六二
		プロームアムモニウム	二七〇

プローム水素酸ホマトロビン	四〇五	ヨツ花	三七五
プローム水素酸スコボラミン	五三〇	結晶	六〇九
プローム樟腦	五〇六	硬膏劑	三三九
葡萄酒	六〇二	膠質硬膏	三三四
ブニコ葉	三七九	固形パラフィン	四八五
(ロ)		胡椒	三九〇
コロフォニウム	三二七	骨炭末	三〇八
コロチウム	三二五	コンニアク	三二四
コロムボ根	五〇九	コンヂコランゴ流動越幾斯	三五二
コロムボ丁幾	五七九	コンヂコランゴ皮	三三一
コロムボ越幾斯	三五九	コンヂコランゴ酒	六〇四
コロメント實	三八九	五倍子	三九一
コロメント丁幾	五七九	五倍子丁幾	五八一
コロメント越幾斯	三五〇	ゴーラルド水	四三九
コロシントホヨス丸	四九八	ゴム散	五〇五
コバイバルサム	二九〇	胡麻油	四七九
コバイバ膠囊	三〇八	コセニル	三二三
枯礬	二六七	(ヒ)	
コルロクム丁幾	五七九	英法絆創膏	三四〇
コルロクム子	五三一	エチール炭酸キニーネ	三一五
コルヒクム酒	六〇三	エーテル	二六〇
コカ葉	三七九	エーテル精	五五〇







サレソフ根	五二七	(キ)	揮發肉豆蔻油	四七六
サレソフ葉	四五二	揮發芥子油	四八〇	
サンカリン	五二四	稀硫酸	二五五	
サツサフラス水	四二七	強發泡膏	二五二	
醋酸	二三八	杏仁水	六〇〇	
醋酸カリウム液	四三七	キナ丁機	二八五	
醋酸ナトリウム	四五五	キナ流動越幾斯	五七六	
醋酸鉛	五〇一	キナ越幾斯	三五〇	
醋酸エーテル	二六一	キナ酒	三三八	
醋酸アムモニウム液	四二九	キナ皮	六〇三	
醋酸	四八三	キノ	三二九	
サフラン	三三五	キラヤ皮	四二二	
サフラン丁機	五八〇	稀鹽酸	三三三	
サフラン舍利別	四七八	稀醋酸	二四七	
サロメナ油	五二七	稀酒精	二二九	
サントニン	四九一	稀硝酸	五五五	
サントニン錠	五二七	稀次醋酸鉛液	二五〇	
サンダラック	四九一	稀青酸	四三九	
酸化鉛	五〇二	金硫黃	二四八	
酸化亞鉛	六〇七	錦葉花	五五九	
酸性芳香丁機	五七三		三七六	
坐劑	五六三			

魚膠	三二四	ミンデル精	四二九
牛脂	五三一	舍利別劑	五三九
(エ)		酒劑	六〇二
油糖劑	三三八	浸劑	四〇九
癒瘡木	四二六	錠劑	四八六
癒瘡木丁機	五八三	食鹽	四五九
癒瘡木脂	五二一	紫梗	四二七
油酸	二五一	商陸	五一六
油酸汞	四〇五	商陸越幾斯	三六〇
(メ)		昇汞	四〇三
迷迭香油	四七八	昇汞ガゼ	五六六
迷迭香精	五五七	昇汞縮	三九四
メチールネルフオナール	四四八	昇汞錠	四八八
メリッサ葉	三八三	昇華硫黃	五六三
綿馬根	五一〇	瀉利鹽	四四四
綿馬越幾斯	三五三	樟腦酸	二四三
(ヨ)		樟腦油	四六九
ミルラ	四五二	樟腦精	五五四
ミルラ丁機	五八六	樹脂	五二三
明礬	二六七	礬石膏	三〇六
密陀僧	五〇二	樹脂硬膏	三四二
未熟橙實	三八七		



シナ花	三七五	重質尿酸マグネシウム	四四三
生薑	五二〇	重酒石酸カリウム	四一三
生薑合利別	五九三	弱酸泡膏	六〇〇
蓄微油	五四七	麝香	四五一
蓄微蜜	四七八	次亜磷酸カルチウム	三〇四
蓄微水	四四七	次サリチール酸茶鉛	二九六
止血綿	二八六	次醋酸鉛液	四三八
尿酸セリウム	三九六	次没食子酸茶鉛	二九三
酒精	三一三	次硝酸茶鉛	二九四
酒石酸カリウム	五四九	次硝酸茶鉛錠	四八七
酒石酸カリウムナトリウム	二五七	純アルコホル	二六五
酒石酸カリウムナトリウム	四二二	神効石	三三六
酒石酸鐵カリウム	四二二	人工カル、ス泉鹽	五二六
次炭酸鉄	四一七	(ヒ)	
次炭酸鐵	二九三	ヒドラスチス流動越幾斯	三五五
蒸餾水	三七二	ヒドラスチス根	五一二
蒸氣製甘汞	二八三	華澄茄	三三五
重炭酸カリウム	四〇四	華澄茄越幾斯	三五二
重炭酸ナトリウム	四一二	氷醋酸	二九九
重炭酸ナトリウム	四五六	ヒヨス葉	三八二
重硫酸キニーネ	四九〇	ヒヨス越幾斯	三五七
重質煨製マグネシア	三一五	ヒヨス油	四七三
	四四二		

蓖麻子油	四七八	セルペンタリア根	五一九
砒石解毒劑	二七五	接骨木花	三七七
ヒロガロール	五〇七	セネガ根	五一八
ヒロリン酸	二五三	セネガ合利別	五四五
(モ)		小兒散	五〇五
没食子酸	二四六	消毒用石炭酸水	二八一
木メー	五〇一	小豆糖	三八八
木メー軟膏	五九八	硝酸カリウム	二四九
(セ)		硝酸ナトリウム	四一九
煎劑	三三七	硝酸カリウム	四六〇
精製硫黃	五六二	硝酸銀	二八六
精製蜂蜜	四四六	硝酸銀加硝石	二八六
精製流動蘇合香	五六一	硝酸ストリキニーネ	五六〇
精製ガーズ	五六六	焦臭樹脂油	四七七
精製タマリンド	五〇三	焦性没食子酸	五〇七
精製グンタベルカ	三九八	石榴皮	三三二
精製テレピン油	四八一	赤降汞	四〇七
精製樟腦	三九四	赤降汞軟膏	五九七
精製樟腦	三〇六	石鹼硬膏	三四三
精製酒石	四一三	石鹼擦劑	四二九
セルペンタリア丁幾	三二一	石鹼精	五五七
	五九〇	石炭酸	二四三



石炭酸綿	三九三	ストロファンツス子	五三四
石炭酸水	二八〇	スルフトオイロチオール酸アムモニウム	二七一
石灰糖類	四二八	スルフトオナル	五六一
石灰水	二八〇	スルフトオ石炭酸ナトリウム	四六二
石松子	四四〇	スルフトオ石炭酸亞鉛	六〇八
赤色ヨード汞	四〇三	ステアリン酸	二五四
赤色酸化汞	四〇七		
石油ペンチン	三九二		
センナ葉	三八四		
センナヤシナ舍利別	五四六		
センナ舍利別	五四五		
セニエツト鹽	四五四		
(ス)			
水蛭	四〇一		
睡菜葉	三八五		
水銀	四〇二		
水銀白墨	四〇五		
水銀硬膏	三四一		
水銀軟膏	五九六		
水銀丸	四九九		
水製大黃丁機	五八八		
ストロファンツス丁機	五九一		



INDEX NOMINUM.

A.		Pag.
Acetanilidum		236.
Acetum aromaticum		236.
"    pyrolignosum crudum		237.
"    Scillae		238.
Acidum aceticum		238.
"    "    dilutum		239.
"    "    glaciale		239.
"    acetsalicylicum		240.
"    arsenicosum		241.
"    benzoicum		242.
"    boricum		242.
"    camphoricum		243.
"    carbolicum		243.
"    "    crudum		244.
"    "    liquefac- tum		244.
"    chromicum		245.
"    citricum		245.
"    gallicum		246.
"    hydrochloricum		246.
"    "    dilu- tum		247.
"    hydrocyanicum dilutum		248.
"    lacticum		248.
"    nitricum		249.
"    "    crudum		250.
"    "    dilutum		250.
"    "    fumans		250.
Acidum oleinicum		251.
"    phosphoricum		251.
"    "    dilu- tum		252.
"    picrinicum		253.
Acidum pyrogallicum		507.
Acidum salicylicum		253.
"    stearicum		254.
"    sulfurinicum		254.
"    "    crudum		255.
"    "    dilutum		255.
"    tannicum		256.
"    tartaricum		257.
"    trichloraceticum		257.
Adeps benzoatus		258.
"    Lanae anhydricus		258.
"    "    cum Aqua		259.
"    suillus		259.
Aether		260.
"    aceticus		261.
"    pro narcosi		261.
Aethylium bromatum		262.
Agaricinum		263.
Albumen Ovi siccum		263.
Albuminum tannicum		264.
Alcohol absolutus		265.
Aloë		266.
Alumen		267.
"    exsiccatum		267.
Aluminium sulfuricum		267.
Ammoniacum		268.
Ammonium benzoicum		269.
"    bromatum		270.
"    carbonicum		270.

明治三十九年七月 省令 内務省第三十二號 (第三改正日本藥學方藥引)



明治三十九年七月 省令 内務省第二十一號 (第三改正日本藥局方索引)

Ammonium chloratum . . . . .	271.	Aqua „ macrophyllae . . . . .	285.
„ sulfoichthyoli- cum . . . . .	271.	„ Rosae . . . . .	286.
Amygdalae amarae . . . . .	272.	Araroba depurata . . . . .	321.
„ dulces . . . . .	273.	Argentum nitricum . . . . .	286.
Amylium nitrosum . . . . .	273.	„ nitricum cum Ka- lionitrico . . . . .	286.
Amylum . . . . .	274.	„ nitricum fusum . . . . .	287.
Anetholum . . . . .	275.	„ proteïnatum . . . . .	287.
Antidotum Arsenici . . . . .	275.	Arsenum iodatum . . . . .	288.
Antifebrinum . . . . .	236.	Asa foetida . . . . .	288.
Antipyrinum . . . . .	275.	Atropinum sulfuricum . . . . .	289.
„ salicylicum . . . . .	276.		
Apomorphinum hydrochlo- ricum . . . . .	277.	<b>B.</b>	
Aqua Ammoniae . . . . .	277.	Pag.	
„ Amygdalarum amara- rum . . . . .	278.	Balsamum Copaivae . . . . .	290.
„ Anisi . . . . .	279.	„ peruvianum . . . . .	290.
„ Calcariae . . . . .	280.	„ toluatanum . . . . .	291.
„ carbolisata . . . . .	280.	Benzinum Petrolei . . . . .	292.
„ „ pro Desin- fectione . . . . .	281.	Benzoë . . . . .	292.
„ Carvi . . . . .	281.	Bismutum subcarbonicum . . . . .	293.
„ Chloroformii . . . . .	281.	„ subgallicum . . . . .	293.
„ Cinnamomi . . . . .	282.	„ subnitricum . . . . .	294.
„ cresolica . . . . .	282.	„ subsalicylicum . . . . .	296.
„ destillata . . . . .	283.	„ tribromphenyli- cum . . . . .	296.
„ Florum Aurantii . . . . .	283.	Bolus alba . . . . .	297.
„ Foeniculi . . . . .	283.	Borax . . . . .	297.
„ formalinata . . . . .	284.	Bromum . . . . .	298.
Aqua Goulardi . . . . .	439.	Bulbus Scillae . . . . .	298.
Aqua Menthae . . . . .	439.		
„ Picis . . . . .	439.	<b>C.</b>	
„ Pruni armeniacaе . . . . .	285.	Pag.	
		Caffeïno-Natrium benzoicum . . . . .	299.
		„ salicylicum . . . . .	300.
		Caffeïnum . . . . .	301.
		Calcaria chlorata . . . . .	301.

Calcaria sulfurata . . . . .	302.	Cocainum hydrochloricum . . . . .	321.
„ usta . . . . .	303.	Coccionella . . . . .	323.
Calcium carbonicum praeci- tatum . . . . .	303.	Codeinum phosphoricum . . . . .	323.
„ hypophosphorosum . . . . .	304.	Cognac . . . . .	324.
„ phosphoricum prae- ci pitatum . . . . .	304.	Colla piscium . . . . .	324.
„ sulfuricum ustum . . . . .	306.	Collempastrum . . . . .	324.
Calomelas . . . . .	404.	Collodium . . . . .	325.
Camphora depurata . . . . .	404.	„ elasticum . . . . .	326.
„ monobromata . . . . .	404.	„ epispasticum . . . . .	326.
Cantharides . . . . .	307.	„ jodoformiatum . . . . .	327.
Capsulae Copaivae . . . . .	308.	Colophonium . . . . .	327.
Carbo Ossium pulveratus . . . . .	308.	Cortex Aurantii Fructus . . . . .	328.
Carrageen . . . . .	308.	„ Cascarillae . . . . .	328.
Carvonum . . . . .	309.	„ Chinae . . . . .	329.
Caryophylli . . . . .	309.	„ Cinnamomi . . . . .	330.
Cascara sagrada . . . . .	309.	„ Citri Fructus . . . . .	330.
Catechu . . . . .	310.	„ Condurango . . . . .	331.
Cautschuc . . . . .	311.	„ Frangulae . . . . .	331.
Cera alba . . . . .	311.	„ Granati . . . . .	332.
„ flava . . . . .	312.	Cortex Rhamni Purshianae . . . . .	309.
Cerium oxalicum . . . . .	313.	Cortex Mezerei . . . . .	333.
Cetaceum . . . . .	313.	„ Quillaiae . . . . .	333.
Charta rubefaciens . . . . .	314.	Cresolum crudum . . . . .	334.
Chininum aethylcarbonicum . . . . .	314.	Creta praeparata . . . . .	334.
„ bisulfuricum . . . . .	315.	Crocus . . . . .	335.
„ ferro-citricum . . . . .	316.	Cubebae . . . . .	335.
„ hydrochloricum . . . . .	317.	Cuprum aluminatum . . . . .	336.
„ sulfuricum . . . . .	318.	„ sulfuricum . . . . .	336.
„ tannicum . . . . .	319.		
Chloralum hydratum . . . . .	320.	<b>D.</b>	
Chloroformium . . . . .	320.	Pag.	
Chrysarobinum . . . . .	321.	Decocta . . . . .	337.
		Diastasa . . . . .	337.
		Dimethylamidoantipyrinum . . . . .	338.

明治三十九年七月 省令 内務省第二十一號 (第三改正日本藥局方索引)



E.			
	Pag.		
Elaeosacchara .....	338.	Extractum Ferri pomati ..	353.
Electuarium Sennae compo-		" Filicis .....	353.
situm .....	338.	" Gentianae .....	354.
Emplastra .....	339.	" " scabrae.	355.
Emplastrum adhaesivum an-		" Hamamelidis flui-	
glicum .....	340.	dum .....	355.
" Cantharidum .....	340.	" Hydrastis fluid-	
" Hydrargyri .....	341.	um .....	355.
" Lithargyri .....	341.	" Hyoscyami .....	357.
" " com-		" Liquiritiae .....	358.
positum .....	342.	" Opii .....	358.
" Resinae .....	342.	" Physostigmatis .....	359.
" saponatum .....	343.	" Phytolaccae .....	360.
" Scopoliae .....	343.	" Quassiae .....	360.
Eserinum salicylicum .....	494.	" Ratanhiae .....	361.
Extracta .....	343.	Extractum Rhamni Purshianae	
" fluida .....	344.	fluidum .....	347.
Extractum Aconiti Napelli ..	345.	Extractum Rhei .....	361.
" Aloës .....	346.	" Scopoliae .....	361.
" Cannabis indicae .....	346.	" Secalis cornuti .....	362.
" Cardui benedicti .....	347.	" Secalis cornutum	
" Cascarae sagradae		fluidum .....	363.
fluidum .....	347.	" Strychni .....	363.
" Cascarillae .....	348.	" Taraxaci .....	364.
" Chinae .....	348.		
" " fluidum .....	350.	F.	
" Colocynthis .....	350.	Faba Calabarica .....	533.
" Colombo .....	351.	Faba Tonco .....	536.
" Condurango flui-		Fel Tauri inspissatum .....	365.
dum .....	351.	Ferrum carbonicum sacchara-	
" Coptidis .....	352.	tum .....	365.
" Cubebae .....	352.	" citricum amonia-	
		tum .....	367.
		" citricum oxydatum .....	367.

Ferrum iodatum sacchara-		Folia Salviae .....	384.
tum .....	368.	" Sennae .....	384.
" lacticum .....	369.	" Stramonii .....	385.
" pulveratum .....	370.	" Trifolii fibrini .....	385.
" reductum .....	371.	" Uvae Ursi .....	386.
" sesquichloratum .....	372.	Formaldehydum solutum .....	386.
" subcarbonicum .....	372.	Formalinum .....	386.
" sulfuricum .....	373.	Fructus Anisi .....	387.
" " crudum .....	374.	" Aurantii immaturi .....	387.
Flores Arnicae .....	374.	" Capsici .....	388.
" Chamomillae .....	374.	" Cardamomi .....	388.
" " romanae .....	375.	" Carvi .....	388.
" Cinae .....	375.	" Colocynthis .....	389.
" Koso .....	375.	" Foeniculi .....	389.
" Lavandulae .....	376.	" Juniperi .....	389.
" Malvae .....	376.	" Piperis nigri .....	390.
" Rosae .....	377.	" Vanilla .....	390.
" Sambuci .....	377.		
" Tiliae .....	377.	G.	
" Verbasci .....	378.		
Flores Zinci .....	607.	Galbanum .....	391.
Folia Althaeae .....	378.	Gallae .....	391.
" Belladonnae .....	378.	Gelatina alba .....	391.
" Bucco .....	379.	Glycerinum .....	392.
" Coca .....	379.	Gossypium Acidi borici .....	393.
" Digitalis .....	380.	" carbolisatum .....	393.
" Eucalypti .....	380.	" depuratum .....	394.
" Farfarae .....	381.	" Hydrargyri bic-	
" Hamamelidis .....	381.	hlorati .....	394.
" Hyoscyami .....	382.	" jodoformiatum .....	395.
" Jaborandi .....	382.	" salicylatum .....	395.
" Melissa .....	383.	" stypticum .....	396.
" Menthae .....	383.	Guajacolum .....	396.
" Pruni macrophyllae .....	383.	" carbonicum .....	397.
		Gummi arabicum .....	397.







Natrium iodatum . . . . .	459.	Oleum Lini . . . . .	475.
„ nitricum . . . . .	460.	„ Menthae . . . . .	476.
„ phosphoricum . . . . .	461.	„ Myristicae aethericum . . . . .	476.
„ salicylicum . . . . .	462.	„ Olivarum . . . . .	476.
„ sulfocarbolicum . . . . .	462.	„ Resinae empyreuma-	
„ sulfuricum . . . . .	463.	ticum . . . . .	477.
„ „ siccum . . . . .	464.	„ Ricini . . . . .	477.
Natrum causticum . . . . .	464.	„ Rosae . . . . .	478.
Nitroglycerinum . . . . .	465.	„ Rosmarini . . . . .	478.
<b>O.</b>		Oleum Rusci . . . . .	500.
	Pag.	Oleum Sabinæ . . . . .	478.
Oleum Amygdalarum . . . . .	465.	„ Santali . . . . .	479.
„ Aurantii Corticis . . . . .	466.	„ Sesami . . . . .	479.
„ „ Florum . . . . .	467.	„ Sinapis aethericum . . . . .	480.
„ Bergamottæ . . . . .	467.	„ Terebinthinae . . . . .	481.
„ Cacao . . . . .	468.	„ „ rectifica-	
Oleum cadinum . . . . .	500.	tum . . . . .	481.
Oleum Cajeputi . . . . .	468.	„ Thymi . . . . .	481.
„ camphoratum . . . . .	469.	Opium . . . . .	482.
„ cantharidatum . . . . .	469.	Opodeldoc . . . . .	429.
„ Caryophyllorum . . . . .	469.	Oxymel . . . . .	483.
„ Chloroformii . . . . .	470.	„ Scillæ . . . . .	483.
„ Cinnamomi . . . . .	470.	<b>P.</b>	
„ Citri . . . . .	471.		Pag.
„ Crotonis . . . . .	471.	Pankreatinum . . . . .	483.
„ Eucalypti . . . . .	472.	Paraffinum liquidum . . . . .	484.
„ Foeniculi . . . . .	472.	„ „ solidum . . . . .	485.
„ Gynocardia . . . . .	473.	Paraldehydum . . . . .	485.
„ Hyoscyami . . . . .	473.	Pastilli . . . . .	486.
„ Jecoris . . . . .	473.	„ Acidi borici . . . . .	486.
„ Juniperi . . . . .	474.	„ „ tannici . . . . .	486.
„ Lauri . . . . .	474.	„ Antipyrini . . . . .	486.
„ Lavandulae . . . . .	474.	„ Bismuti subnitrici . . . . .	487.
Oleum Limonis . . . . .	471.	„ Cocaini hydrochlorici . . . . .	487.

Pastilli Ferri lactici . . . . .	488.	Pilulae Ferri carbonici Bla-	
„ Hydrargyri bichlo-		ndii . . . . .	498.
rati . . . . .	488.	„ Hydrargyri . . . . .	499.
„ „ chlorati . . . . .	488.	„ Kreosoti . . . . .	499.
„ „ cum Talco . . . . .	488.	„ Rhei compositae . . . . .	500.
„ Ipecacuanhae . . . . .	489.	Pix Betulae liquida . . . . .	500.
„ Kalii chlorici . . . . .	489.	„ Juniperi liquida . . . . .	500.
„ Menthae . . . . .	489.	„ liquida . . . . .	501.
„ Morphini hydroghlo-		Plumbum aceticum . . . . .	501.
rici . . . . .	490.	„ carbonicum . . . . .	502.
„ Natrii bicarbonici . . . . .	490.	„ oxydatum . . . . .	502.
„ Natrii salicylici . . . . .	490.	Pulpa Tamarindorum . . . . .	503.
„ Opii et Ipecacuanh-		„ „ depurata . . . . .	503.
ae . . . . .	491.	Pulvis aërophorus . . . . .	504.
„ Santonini . . . . .	491.	„ „ laxans . . . . .	504.
Pepsinum saccharatum . . . . .	492.	„ aromaticus . . . . .	504.
Phenacetinum . . . . .	492.	„ Doveri . . . . .	505.
Phenyldihydrochinazolinum		„ gummosus . . . . .	505.
tannicum . . . . .	493.	„ infantum . . . . .	505.
Phenylum salicylicum . . . . .	493.	„ Liquiritiae composi-	
Phosphorus . . . . .	494.	tus . . . . .	506.
Physostigminum salicylicum . . . . .	494.	Pulvis Magnesia cum Rheo . . . . .	505.
„ sulfuricum . . . . .	495.	Pulvis Rhei compositus . . . . .	506.
Pilocarpinum hydrochloric-		„ salicylicus cum Talco . . . . .	507.
um . . . . .	495.	Pyrogallolum . . . . .	507.
Pilulae . . . . .	496.	<b>R.</b>	
„ Aloës . . . . .	496.		Pag.
„ „ et Asae foetidae . . . . .	496.	Radix Aconiti Napelli . . . . .	507.
„ „ et Ferri . . . . .	497.	„ Althaeae . . . . .	509.
„ „ et Jalapae . . . . .	497.	„ Colombo . . . . .	509.
„ chinini sulfurici . . . . .	497.	„ Coptidis . . . . .	510.
„ Colocynthis et Hy-		„ Filicis . . . . .	510.
oscyami . . . . .	498.	„ Gelsemii . . . . .	510.
		„ Gentianae . . . . .	511.



明治三十九年七月 省令 内務省第二十一號 (第三改正日本藥局方索引)

Radix Gentianae scabrae . . . . .	512.	„ viridis . . . . .	529.
„ Hibisci . . . . .	512.	Scopolaminum hydrobromi-	
„ Hydrastis . . . . .	512.	cum . . . . .	530.
„ Ipecacuanhae . . . . .	513.	Sebum bovinum . . . . .	530.
„ Iridis . . . . .	514.	Secale cornutum . . . . .	531.
„ Jalapae . . . . .	515.	Semen Colchici . . . . .	531.
„ Liquiritiae . . . . .	515.	„ Lini . . . . .	532.
„ Phytolaccae . . . . .	516.	„ Myristicae . . . . .	532.
„ Ratanhiae . . . . .	516.	„ Physostigmatis . . . . .	533.
„ Rhei . . . . .	516.	„ Pruni armeniacae . . . . .	533.
„ Salep . . . . .	517.	„ Sinapis . . . . .	533.
„ Sarsaparillae . . . . .	517.	„ Strophanthi . . . . .	534.
„ Scopoliae . . . . .	518.	„ Strychni . . . . .	535.
„ Senegae . . . . .	518.	„ Tonco . . . . .	536.
„ Serpentariae . . . . .	519.	Serum antidiphthericum . . . . .	536.
„ Taraxaci cum Herba . . . . .	519.	„ antitetanicum . . . . .	538.
„ Valerianae . . . . .	519.	Sirupi . . . . .	539.
„ Zedoariae . . . . .	520.	Sirupus Althaeae . . . . .	539.
„ Zingiberis . . . . .	520.	„ Aurantii Corticis . . . . .	540.
Resina Dammar . . . . .	521.	„ Cinnamomi . . . . .	540.
„ Guajaci . . . . .	521.	„ Croci . . . . .	541.
„ Jalapae . . . . .	522.	„ Ferri iodati . . . . .	541.
„ Pini . . . . .	522.	„ Ipecacuanhae . . . . .	542.
„ Podophylli . . . . .	523.	„ Mannae . . . . .	542.
Resorcinum . . . . .	523.	„ Menthae . . . . .	543.
		„ Rhei . . . . .	544.
<b>S.</b>		„ Rubi Idaci . . . . .	544.
Saccharinum . . . . .	Pag. 524.	„ Senegae . . . . .	545.
„ solubile . . . . .	524.	„ Sennae . . . . .	545.
Saccharum . . . . .	525.	„ „ cum Manna . . . . .	546.
„ Lactis . . . . .	525.	„ simplex . . . . .	547.
Sal Carolinum factitium . . . . .	526.	„ Zingiberis . . . . .	547.
Sal Seignetti . . . . .	454.	Solutio Donovanii . . . . .	430.
Sandaraca . . . . .	527.	Sparteinum sulfuricum . . . . .	547.
Santoninum . . . . .	527.	Species . . . . .	548.
Sapo jalapinus . . . . .	528.	„ laxantes . . . . .	548.
„ kalinus . . . . .	528.	„ pectorales . . . . .	549.
„ medicatus . . . . .	528.	Spiritus . . . . .	549.

10

Spiritus aethereus . . . . .	550.	Tartarus depuratus . . . . .	413.
„ Aetheris nitrosi . . . . .	550.	Tela Acidi borici . . . . .	566.
„ Ammoniae aroma-		„ depurata . . . . .	566.
ticus . . . . .	552.	„ Hydrargyri bichlorati . . . . .	566.
„ „ foeniculatus . . . . .	552.	„ jodoformiata . . . . .	567.
„ aromaticus . . . . .	553.	„ salicylata . . . . .	567.
„ camphoratus . . . . .	554.	Terebinthina . . . . .	568.
„ Chloroformii . . . . .	554.	Terpinum hydratum . . . . .	568.
„ Cinnamomi . . . . .	554.	Theobrominum natrio-salic-	
„ Citri . . . . .	555.	ylicum . . . . .	569.
„ dilutus . . . . .	555.	Thymolum . . . . .	570.
„ Foeniculi . . . . .	556.	Tincturae . . . . .	570.
„ Juniperi . . . . .	556.	Tinctura Aconiti Napelli . . . . .	571.
„ Lavandulae . . . . .	556.	„ Aloës . . . . .	571.
„ Menthae . . . . .	557.	„ „ composita . . . . .	571.
Spiritus Mindereri . . . . .	429.	„ amara . . . . .	572.
Spiritus Rosmarini . . . . .	557.	„ aromatica . . . . .	572.
„ saponatus . . . . .	557.	„ „ acida . . . . .	573.
„ Sinapis . . . . .	558.	„ Asae foetidae . . . . .	573.
Stibio-Kalium tartaricum . . . . .	559.	„ Aurantii Corticis . . . . .	574.
Stibium sulfuratum auran-		„ Benzoës . . . . .	574.
tiacum . . . . .	559.	„ Cannabis indicae . . . . .	574.
Strychninum nitricum . . . . .	560.	„ Cantharidum . . . . .	575.
Styrax liquidus . . . . .	560.	„ Capsici . . . . .	575.
„ „ depuratus . . . . .	561.	„ Cascariillae . . . . .	575.
Succus Liquiritiae . . . . .	561.	„ Catechu . . . . .	576.
Sulfonalum . . . . .	561.	„ Chinae . . . . .	576.
Sulfur depuratum . . . . .	562.	„ „ composita . . . . .	577.
„ praecipitatum . . . . .	563.	„ Chloroformii et	
„ sublimatum . . . . .	563.	Morphini compos-	
Suppositoria . . . . .	563.	ita . . . . .	578.
„ Glycerini . . . . .	564.	„ Cinnamomi . . . . .	578.
„ Opii . . . . .	564.	„ Colchici . . . . .	579.
„ Scopoliae . . . . .	565.	„ Colocyntidis . . . . .	579.
		„ Colombo . . . . .	579.
<b>T.</b>		„ Croci . . . . .	580.
Talcum . . . . .	Pag. 565.	„ Digitalis . . . . .	580.
Tanninum acethylicum . . . . .	565.	„ Ferri aetherea . . . . .	580.

明治三十九年七月 省令 内務省第二十一號 (第三改正日本藥局方索引)

11



Tinctura Ferri pomati . . . . .	581.	Unguentum Hydrargyri cine-	
" Gallarum . . . . .	581.	reum . . . . .	596.
" Gelsemii . . . . .	582.	" Hydrargyri fla-	
" Gentianae composi-		vum . . . . .	597.
ta . . . . .	582.	" Hydrargyri rub-	
" " scabrae . . . . .	583.	rum . . . . .	597.
" Guajaci . . . . .	583.	" Kalii iodati . . . . .	598.
" Ipecacuanhae . . . . .	583.	" Paraffini . . . . .	598.
" Jodi . . . . .	584.	" Picis liquidae . . . . .	598.
" Lavandulae com-		" Scopoliae . . . . .	599.
posita . . . . .	585.	" simplex . . . . .	599.
" Lobeliae . . . . .	585.	" stibiatum . . . . .	599.
" Myrrhae . . . . .	586.	" sulfuratum . . . . .	600.
" Opii . . . . .	586.	" vesicans fortius . . . . .	600.
" " benzoica . . . . .	587.	" " mitius . . . . .	600.
" Quassiae . . . . .	587.	" Zinci . . . . .	601.
" Ratanhiae . . . . .	588.		
" Rhei . . . . .	588.	<b>V.</b>	
" " aquosa . . . . .	588.		
" Scillae . . . . .	589.	Vaselinum . . . . .	Pag. 601.
" Scopoliae . . . . .	589.	Veratrinum . . . . .	602.
" Serpentariae . . . . .	590.	Vina . . . . .	602.
" Strophanthi . . . . .	591.	Vinum . . . . .	602.
" Strychni . . . . .	591.	" Chinae . . . . .	603.
" Valerianae . . . . .	592.	" Colchici . . . . .	603.
" " aetherea . . . . .	592.	" Condurango . . . . .	604.
" Zingiberis . . . . .	592.	" Ferri . . . . .	604.
Tragacantha . . . . .	592.	" Ipecacuanhae . . . . .	605.
Tuberculinum . . . . .	594.	" Opii aromaticum . . . . .	605.
		" Pepsini . . . . .	606.
<b>U.</b>		" stibiatum . . . . .	606.
Unguenta . . . . .	Pag. 594.	<b>Z.</b>	
Unguentum Acidi borici . . . . .	595.		
" Cantharidum . . . . .	595.	Zincum chloratum . . . . .	Pag. 607.
" Glycerini . . . . .	595.	" oxydatum . . . . .	607.
" Hebrae . . . . .	596.	" sulfocarbolicum . . . . .	608.
" Hydrargyri al-		" sulfuricum . . . . .	609.
bum . . . . .	596.	" valerianicum . . . . .	609.



○内務省令第二十二號

明治三十年<sup>四</sup>月拓殖務省令第三號北海道移住民規則左ノ通改正ス

明治三十九年七月二日

内務大臣原敬

北海道移住民規則

- 第一條 開墾ノ目的ヲ以テ團結規約ヲ締結シ又ハ組合ヲ組織シ若ハ單獨ニテ北海道ニ移住シ土地ノ貸付ヲ出願セントスルモノハ現住地ノ府縣知事ニ出願シテ證明ヲ受クルコトヲ得
- 第二條 前條ニ依リ出願スルトキハ左ノ事項ヲ掲記シ府縣知事ニ差出スヘシ
  - 一 事業ノ目的(開墾地)
  - 二 貸付出願ノ地積
  - 三 移住ノ戸口
  - 四 従來ノ職業
  - 五 總代人ヲ設ケタルトキハ其ノ氏名
  - 六 移住後ニ於ケル鄰保救護ノ方法ヲ設ケタルトキハ其ノ方法
  - 七 移住旅費家屋農具衣食等ノ準備並ニ支出ノ方法
  - 八 小作ノ方法ニ依ル場合ハ前各項ノ外小作契約
  - 九 團結規約
- 第三條 第一條ノ願出アリタルトキハ府縣知事ハ之ヲ調査シ確實ト認ムルモノニ限り證明ヲ與フ
- 第四條 團結移住者ニシテ前條ノ證明ヲ受ケタルモノノ爲メニ北海道廳長官ハ別ニ定メタル規定



ニ從ヒ其ノ出願ニ依リ開墾地ノ豫定存置ヲ爲スコトアルヘシ  
第五條 團結移住者ニシテ證明ヲ受ケタル後一箇年ヲ經過シタルトキハ豫定存置ノ出願ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニアラサレハ府縣ニ於テ北海道ニ移住スヘキ小作人ヲ募集シ又ハ小作人ヲシテ北海道ニ移住セシムルコトヲ得ス

一 國有未開地ノ貸付許可書又ハ北海道廳長官北海道廳支廳長ノ證明書ヲ有スル本人又ハ代理人

二 北海道移住民ノ募集ヲ業トスルモノニシテ其ノ募集人員ニ付豫メ北海道廳長官ノ認可ヲ受ケタルモノ

第七條 當該官吏又ハ市町村吏員ヨリ前條ノ指令書ヲ示スヘキコトヲ命シタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第八條 第六條第七條ニ違背シタル者ハ五拾錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

第九條 第六條ニ依ル小作人ノ募集又ハ移住ヲ妨害シタル者ハ二圓以上二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

○内務省令第二十三號  
明治三十九年法律第四十一號ハ明治三十九年七月十日ヨリ之ヲ施行ス  
明治三十九年七月六日

内務大臣 原 敬  
大藏大臣 法學博士 阪谷芳郎  
陸軍大臣 寺内正毅

○内務省令第二十四號  
屯田兵村ニ屬スル公有財産、營造物、事業及權利義務ハ北海道雨龍郡東秩父兵村ニ屬スルモノ及同

郡西秩父兵村ニ屬スルモノハ同郡秩父別村ニ歸屬シ其ノ他ハ屯田兵村部落ニ歸屬ス

附則

本令ハ明治三十九年七月十日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年七月六日

内務大臣原敬

○内務省令第二十五號

北海道二級町村制施行地ノ部落ニシテ屯田兵村ニ屬スル公有財産、營造物、事業及權利義務ノ歸屬シタルモノノ行政ニ關シテハ北海道一級町村制第五章ノ規程ヲ適用ス

附則

本令ハ明治三十九年七月十日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年七月六日

内務大臣原敬

○内務省令第二十六號

明治三十年十月内務省令第三十二號徵兵旅費規則中左ノ通追加シ明治三十九年七月ヨリ施行ス  
明治三十九年七月六日

附則

内務大臣原敬

第五條 北海道廳管内ニ限リ第二條第一號ノ陸路雜費ハ金八錢第三條ノ車馬賃ハ金拾三錢第四條第一號ノ陸路雜費ハ金拾錢滞在日當及宿泊料ハ總テ金五拾五錢トス

○大藏省令第三十三號

明治三十八年大藏省令第四號煙草賣捌規則中左ノ通改メ明治三十九年七月十五日ヨリ施行ス

明治三十九年七月三日

大藏大臣法學博士 阪谷芳郎



第三條第三項前項ノ下第一號ノ三字ヲ削ル  
第五條ヲ左ノ通改ム

煙草元賣捌人相互ニ組合契約ヲ締結シ共同シテ其業務ヲ營マントスルトキハ第七號書式ニヨリ組合契約書ヲ添ヘ煙草專賣局長ノ許可ヲ受クヘシ

前項ニヨリ組合契約ヲ締結シタル者ハ其組合員タル期間各自單獨ニ營業ヲナスコトヲ得ス但二箇所以上ノ營業所ヲ有スル煙草元賣捌人カ其ノ一部營業所ノ營業ニ付キ組合ニ加入シタルトキハ他ノ營業所ニ於テ單獨ニ營業ヲナスコトヲ妨ケス

煙草元賣捌人相互ニ會社ヲ組織シ其ノ業務ヲ營マムトスルトキハ會社設立前第二號書式ニ依リ煙草專賣局長ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ許可ヲ受ケタル者會社ヲ設立シ第一號書式ニヨリ煙草專賣局長ニ申請シタルトキハ煙草元賣捌人ニ指定セラル、コトヲ得此場合ニ於テハ會社ヲ組織シタル煙草元賣捌人ノ指定ハ當然消滅ス

前二項ノ規定ニヨリ煙草元賣捌人ニ指定セラレタル會社ハ其會社ヲ組織シタル前ノ煙草元賣捌人ノ所有スル製造煙草ヲ引受タルモノトス

定款ヲ變更セザルトスルトキハ變更定款ヲ添ヘ煙草專賣局長ノ許可ヲ受クヘシ本條ニ依ラズシテ煙草元賣捌人ニ指定セラレタル會社亦同シ

第七條第一項第三號中第一號ヲ「三字ヲ削ル」

第十七條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前項三項ノ規定ハ第一條第三項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十條第二項ヲ左ノ通改ム

煙草元賣捌人死亡シ其營業ヲ承繼スルモノナキトキ又ハ其指定ヲ取消サレ若クハ其營業ヲ廢止シタルトキハ現存スル製造煙草ノ事實ノ發生後三十日以内ニ煙草專賣局長ノ指定シタル煙草販賣所、煙草製造所、煙草製造所分工場又ハ煙草藏置所ニ之レカ買戻ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於ケル買戻價格ハ現行價格ヨリ煙草元賣捌人ヘノ現行割引歩合ニ相當スル金額ヲ控除シタルモノトス

第二十四條第二項ヲ左ノ通改ム

煙草小賣人死亡シ其營業ヲ承繼スル者ナキトキ又ハ其指定ヲ取消サレ若クハ其營業ヲ廢止シタルトキハ現存スル製造煙草ノ事實ノ發生後三十日以内ニ其買受先ニ之カ買戻ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テ第一條第三項ニ依リ政府ヨリ直接ニ賣渡シタル製造煙草ノ買戻シ價格ハ煙草小賣人ヘノ現行賣渡價格ヲ以テス

第二十五條ヲ左ノ通改ム

本規則中煙草專賣局長ニ差出スヘキ書類ハ別表ノ區域ニ依リ關係ノ煙草製造所、煙草製造所分工場若クハ煙草販賣所ヲ經由スヘシ

第四號乃至第六號書式ヲ左ノ通改ム

第四號書式

口付(買戻)煙草買受帳

買受月日	包區區分	數	代	金	買	受	先
、月、日	四十包	10000	10000	10000	何煙草製造所分工場	何煙草製造所	何煙草製造所



月	計		累計	本月賣渡高	翌月越高
	五	四			
五	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
四	10,000	10,000	20,000	10,000	10,000
三	10,000	10,000	30,000	10,000	10,000
二	10,000	10,000	40,000	10,000	10,000
一	10,000	10,000	50,000	10,000	10,000
計	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000

備考

- 一 本帳ハ口付紙巻煙草、兩切紙巻煙草、葉巻煙草及刻煙草ノ四冊トスヘシ但シ適宜合冊シ口座ヲ股クルヲ妨ケス
- 二 本帳ハ製造煙草ノ名稱ノ異ナル毎ニ口座ヲ股クヘシ
- 三 本帳ニハ毎月月計ニ箇月日ヨリ累計ヲ附シ尙製造煙草賣渡帳ノ月計ト對比シ其越高ヲ記入スヘシ
- 四 本帳ハ便宜横式トナスヲ妨ケス
- 五 巻煙草ニアリテハ包裏區分欄ヲ要セス

第五號書式

賣渡月日	包裏區分	數	量	代	金	賣	渡	先
八月、日	四十	夕	10,000	20,000	20,000	何	市	何
九月、日	四十	夕	10,000	20,000	20,000	何	市	何

口付(兩切紙巻煙草)賣渡帳

月	計		累計
	五	四	
五	10,000	10,000	10,000
四	10,000	10,000	20,000
三	10,000	10,000	30,000
二	10,000	10,000	40,000
一	10,000	10,000	50,000
計	50,000	50,000	50,000

備考

- 一 本帳ハ口付紙巻煙草、兩切紙巻煙草、葉巻煙草及刻煙草ノ四冊トスヘシ但シ適宜合冊シ口座ヲ股クルヲ妨ケス
- 二 本帳ニハ製造煙草ノ名稱ノ異ナル毎ニ口座ヲ股クヘシ
- 三 補助總其他適宜ノ方法ニ依リ賣渡先別ニ其數量代金ヲ計算シ賣渡先欄ヲ省略スルコトヲ得
- 四 本帳ニハ毎月月計ニ箇月日ヨリ累計ヲ附スヘシ
- 五 本帳ハ便宜横式トナスヲ妨ケス
- 六 巻煙草ニアリテハ包裏區分欄ヲ要セス

第六號書式

指定番號 明治 年 月分製造煙草受拂月計表

年月日

口付(兩切紙巻煙草)

營業所所在地

煙草元賣人

何

某印















福岡煙草製造所	佐賀縣
熊本煙草販賣所	熊本縣(兼北郡ヲ除ク) 福岡縣(三池郡) 宮崎縣(西臼杵郡)
長崎煙草製造所	長崎縣(南高來郡、壹岐郡、上縣郡、下縣郡ヲ除ク)
島原煙草製造所	長崎縣(南高來郡)
白杵煙草製造所	大分縣(東國東郡、遠見郡、大分郡、北海部郡、南海部郡) 愛媛縣(東宇和郡、西宇和郡、南宇和郡、北宇和郡) 高知縣(幡多郡) (山形縣、秋田縣、岩手縣、青森縣、山梨縣、長野縣、新潟縣、富山縣、石川縣、福井縣、滋賀縣、岐阜縣、愛知縣、三重縣、奈良縣、和歌山縣、鳥取縣、島根縣、岡山縣、広島縣、山口縣、徳島縣、香川縣、高松縣、愛媛縣、高知縣、福岡縣、佐賀縣、熊本縣、鹿兒島縣、宮崎縣、大分縣、大野郡)
鹿兒島煙草販賣所	鹿兒島縣(鹿兒島市、日置郡、鹿兒島郡、熊毛郡、大島郡、糟屋郡、肝煎郡、川邊郡)
宮崎煙草製造所	宮崎縣(宮崎郡、東諸縣郡、兒湯郡、東臼杵郡)
鹿兒島煙草製造所	宮崎縣(北諸縣郡、南那珂郡)
鹿兒島煙草製造所	鹿兒島縣(薩摩郡、出水郡) 熊本縣(兼北郡)
鹿兒島煙草製造所	鹿兒島縣(始良郡、伊佐郡) 宮崎縣(西諸縣郡)
鹿兒島煙草製造所	鹿兒島縣(揖宿郡)
鹿兒島煙草製造所	沖繩縣

〔参照〕

- 一 大藏省令第四號煙草賣捌規則(明治三十八年二月四日)抄録
- 二 煙草賣捌業者ノ同業組合ニ在リテハ、煙草賣捌業者ノ同業組合ニ加入シ、其ノ業務ヲ營ムコトヲ得ス
- 三 煙草賣捌業者ノ同業組合ニ加入シ、其ノ業務ヲ營ムコトヲ得ス
- 四 煙草賣捌業者ノ同業組合ニ加入シ、其ノ業務ヲ營ムコトヲ得ス
- 五 煙草賣捌業者ノ同業組合ニ加入シ、其ノ業務ヲ營ムコトヲ得ス
- 六 煙草賣捌業者ノ同業組合ニ加入シ、其ノ業務ヲ營ムコトヲ得ス
- 七 履行期日ヲ過キ、仍ホ製造煙草ノ買入代金ヲ完済セザル者
- 八 前項第一號第二號及第七號ノ一ニ該當スル者ハ、煙草小賣人ニ指定セラルルコトヲ得ス

第五條 煙草元賣捌人組合契約ヲ締結シテ煙草元賣捌業ヲ營ムコトキハ、第七號書式組合營業許可申請書ニ組合契約書ヲ添ヘ、煙草賣捌局長ノ許可ヲ受クヘシ。已ニ組合契約ヲ締結シ、業務ヲ營ムル者亦同シ。

第六條 組合契約ヲ締結シタル煙草元賣捌人ハ、其ノ組合員タル期間各自單獨ニ其ノ業務ヲ營ムコトヲ得ス。

第七條 煙草元賣捌人會社ヲ組織シ、其ノ業務ヲ營ムコトキハ、煙草賣捌局長ノ許可ヲ受クヘシ。

前項ノ許可ヲ受ケタル者會社ヲ設立シ、第一號書式ニ依リ、煙草賣捌局長ニ申請シタルトキハ、煙草元賣捌人ニ指定セラルルコトヲ得。此場合ニ於テハ、會社ヲ組織シタル煙草元賣捌人ノ指定ハ、當然消滅ス。

前二項ノ規定ニ依リ、煙草元賣捌人ニ指定セラレタル會社ハ、其ノ會社ヲ組織シタル前ノ煙草元賣捌人ノ所有スル製造煙草ヲ引受ケルモノトス。

第七條 左ノ場合ニ於テ、煙草賣捌局長ハ、煙草元賣捌人又ハ、煙草小賣人ノ指定ヲ取消ス。コトヲ得。但シ、第三號ノ規定ハ、煙草小賣人ニハ之ヲ適用セズ。

一 煙草元賣捌人ニ在リテハ、第三條第一項各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキ、煙草小賣人ニ在リテハ、第三條第一項第一號第二號又ハ、第七號ニ該當スルニ至リタルトキ。

二 煙草元賣捌人ハ、製造煙草ニシテ、品質ノ悪變シ、又ハ、包紙ノ破損シタルモノアルトキハ、煙草賣捌局長ノ指定シタル煙草販賣所、煙草製造所又ハ、煙草製造所分工場ニ之レカ引替ヲ請求スルコトヲ得。此場合ニ於テ、煙草元賣捌人ハ、其ノ事由ヲ詳細ニ書類ヲ調製シ、其ノ製造煙草ハ、別ニ之ヲ保存シ、當該官吏ノ検査ヲ受ケ、其ノ證明書ヲ添ヘ、煙草販賣所、煙草製造所、前項ノ場合ニ於テ、其ノ引替ノ原因カ、煙草元賣捌人ノ責ニ歸ス(キ事由ニ因リテ生シタルトキ)又ハ、引替者ハ、買戻ノ爲メニ、煙草小賣人ヨリ引替ヲ受ケタル製造煙草ニシテ、其ノ引替ノ原因カ、煙草小賣人ノ責ニ歸ス(キ事由ニ因リテ生シタルトキ)。

二十條 煙草元賣捌人ハ、製造煙草ノ價格減少ニ相當スル金額ヲ納付スヘシ。

第二十四條 第二項

煙草小賣人死シ、其ノ營業ヲ承繼スル者ナキトキ又ハ、其ノ指定ヲ取消サン。若ハ、其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ、現存スル製造煙草ハ、其ノ買戻先ニ之レカ買戻ヲ請求スルコトヲ得。

第二十五條 本規則中、煙草賣捌局長ニ差出ス(キ書類ハ、所管煙草收納所ヲ經由スヘシ。



○大藏省令第三十四號

大藏省臨時建築部ニ於テ施行スル横濱及神戸税關設備工事並煙草製造所建設工事請負ノ競争ニ加  
ハラントスルモノハ會計規則第六十九條第一項ニ定ムル資格ノ外尙ホ本令ニ定ムル資格ヲ備フル  
コトヲ要ス

第一條 各人資産ニ關スル資格左ノ如シ

第一項 入札金額金壹萬圓以上五萬圓未満ノ工事ニ付テハ直接國稅年額金五拾圓以上ヲ二年以  
來引續キ納ムルコト

第二項 入札金額金貳拾萬圓未満ノ工事ニ付テハ直接國稅年額金百圓以上ヲ二年以來引續キ納  
ムルコト

第三項 入札金額金貳拾萬圓以上ノ工事ニ付テハ直接國稅年額金百五拾圓以上ヲ二年以來引續  
キ納ムルコト

第二條 商會社及其社員ノ資産ニ關スル資格左ノ如シ

第一項 前條第一項ノ工事ニ付テハ拂込株金額又ハ財産ヲ目的トスル出資價格五萬圓以上同第  
二項ノ工事ニ付テハ同拾萬圓以上又同第三項ノ工事ニ付テハ同拾五萬圓以上ナルコト

第二項 前項區別ノ金額ニ違セサル合名會社ニ在リテハ其社員ノ一人又合資會社ニ在リテハ其  
無限責任社員ノ一人前條第一項ヨリ第三項ニ至ル區別ニ依リ直接國稅ヲ二年以來引續キ納ム  
ルコト

第三條 入札金額金壹萬圓以上ノ工事ニ付テハ入札ノ時ヨリ起算シ既往三箇年間ニ於テ一廉ニ付  
入札金額ノ三分ノ一以上ニ相當スル工事ノ請負契約ヲ完全ニ履行シタル者  
明治三十九年七月五日  
大藏大臣法學博士阪谷芳郎

○大藏省令第三十五號

京釜鐵道買收法第二條ニ依リ政府ノ承繼シタル舊京釜鐵道株式會社ノ社債ニ關スル規程左ノ通之  
ヲ定ム

明治三十九年七月二十五日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

第一條 舊京釜鐵道株式會社ノ社債ニ關シテハ日本銀行本店ヲ以テ取扱店トス

第二條 舊京釜鐵道株式會社ノ社債券若クハ其ノ利札ノ滅失若ハ紛失ニ因リ代債券若ハ代利札ノ  
交付又ハ元金ノ償還若ハ利子ノ仕拂ヲ受ケントスル者ハ國債規則第十七條又ハ第六十二條ノ規  
定ニ準シタル請求書ニ除權判決ノ謄本ヲ添ヘ之ヲ取扱店ニ提出スヘシ

第三條 國債規則第八條第十條第十八條第四十八條乃至第五十一條第五十四條第五十六條乃  
至第五十八條及明治三十九年大藏省令第二十五號ノ規定ハ舊京釜鐵道株式會社ノ社債ニ之ヲ準  
用ス

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○陸軍省令第七號

明治三十九年法律第四十二號ハ明治三十九年七月十日ヨリ之ヲ施行ス  
明治三十九年七月六日  
陸軍大臣寺內正毅

○海軍省令第三號

海軍軍人軍屬内地ヨリ關東州樺太島北緯五十度以南ノ地及在韓國海軍ノ部隊官衙所在地ニ旅行







		乙	事項欄 事項欄 事項欄 事項欄
土地登記簿		丁	

		丙 (附設地)	事項欄 事項欄 事項欄 事項欄
土地登記簿		丁	

		土地登記簿	
土地登記簿		丁	

(假借地) 辰	戊	(假借地) 丁	丙 (附設地)	事項欄 事項欄 事項欄 事項欄
土地登記簿		丁		







地上權登記簿索引簿		八八	八七	八六	八五	八四	八三	八二	八一	八〇	七九	七八	七七	七六
原簿	附簿													
登記簿	附簿													
簿種	簿種													
頁數	頁數													
冊數	冊數													
備考	備考													
〇〇														
九九														
九八														
九七														
九六														
九五														
九四														
九三														
九二														
九一														
九〇														
八九														
八八														

○文部省令第十三號

明治二十年文部省令第二號教科用圖書檢定規則中左ノ通改正ス

明治三十九年七月六日

文部大臣牧野伸顯

第三條中、地方廳ヲ經テヲ削ル  
第二十一條第二項ヲ削ル

〔參照〕

文部省令第二號教科用圖書檢定規則(明治二十年五月七日)抄録

第三條 第二條ニ依リ檢定ヲ請フ者ハ圖書一種ニ付其目的トスル所ノ學校一種毎ニ該圖書二十部ノ定價ニ等シキ手数料及該圖書二部ヲ檢定願書ニ添ヘ地方廳ヲ經テ文部省ニ納ムヘシ但檢定ヲ得タル後定價ヲ増加シタルトキハ本文ノ例ニ準シ其差額ヲ追納スヘシ

第二十一條 第三條第一項ノ手数料ハ收入印紙ヲ以テ納ムヘシ

前項ノ收入印紙ハ願書ニ貼附シ消印ヲナスシテ地方廳ニ差出スヘシ地方廳ハ願書ヲ査閱シ其適法ナルコトヲ認メタル後願書ノ紙面ト印紙ノ色彩トニ掛ケ黒肉ヲ用ヒテ消印ヲ捺捺スヘシ但出願者ニ於テ自己ノ便宜上消印ヲ爲スハ妨ナシ

○農商務省令第十九號

明治三十一年一月農商務省令第一號中第一項ヲ左ノ通改正ス

明治三十九年七月九日

農商務大臣松岡康毅

一製鐵所、特許局、大林區署、鐵山監督署、農事試驗場、工業試驗所、生絲檢査所、花筵檢査所、蠶業講習所、水産講習所、糖業改良事務局、東京出張所、其ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表ス

〔參照〕

農商務省令第一號(明治三十一年一月二十八日)抄録

一大林區署、鐵山監督署、農事試驗場、生絲檢査所、蠶業講習所、製鐵所、水産講習所、其司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表ス



○農商務省令第二十號

明治三十八年農商務省令第二十三號中左ノ通改正ス

明治三十九年七月二十四日

農商務大臣松岡康毅

第一條ヲ左ノ如ク改ム

第一條 耕地整理ニ關シ左ニ掲ケタル事項ハ之ヲ整理地區ノ屬スル地ノ地方長官ニ委任ス

一 耕地整理法第二條ニ依ルモノヲ除クノ外同法第二十六條ノ規定ニ依ル整理施行ノ認可ニ關スル件

二 耕地整理法第四十條ノ規定ニ依ル設計書又ハ規約變更ノ認可ニ關スル件

第一條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第一條ノ二 地方長官必要ト認ムルトキハ設計書又ハ規約ノ變更ヲ命スルコトヲ得但シ工事ノ設計ノ主要ナル部分又ハ整理地區ニ異動ヲ生スヘキ設計書ノ變更或耕地整理法第二十四條第五

號第七號及耕地整理法施行規則第二十條ニ規定アル事項ニ關スル規約ノ變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四條中「認可ヲ爲シ」ノ下ニ又ハ第一條ノ二ノ規定ニ依リ變更ヲ命シ」ヲ加フ

附則

本令ハ明治三十九年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令第一條第二號ハ本令施行前ニ爲シタル認可申請ニ付テハ之ヲ適用セス

〔參照〕

農商務省令第二十三號(明治三十八年十一月四日)抄録

第一條 耕地整理法第二十六條ノ規定ニ依ル整理施行ノ認可ニ關スル件ハ之ヲ整理地區ノ屬スル地ノ地方長官ニ委任ス

第四條 地方長官第一條ノ規定ニ依リ認可ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク農商務大臣ニ其ノ報告ヲ爲スヘシ

○農商務省令第二十一號

製鐵所ノ土木及建築工事請負ノ競争ニ加ハラントスル者ノ資格左ノ通相定ム

明治三十九年七月二十五日

農商務大臣松岡康毅

製鐵所ノ土木及建築工事請負ノ競争ニ加ハラントスル者ハ會計規則第六十九條第一項ニ規定セル資格ノ外尙左ノ資格ヲ備フルコトヲ要ス

第一條 競争入札加入ノ際左ノ區別ニ從ヒ直接國稅ヲ二年以來引續キ納付セル者タルコトヲ要ス

第一 一口ニ付各自見積代金五千圓未満 納稅年額三十拾圓以上

第二 一口ニ付各自見積代金一萬圓未満 納稅年額六十拾圓以上

第三 一口ニ付各自見積代金五萬圓未満 納稅年額百圓以上

第四 一口ニ付各自見積代金五萬圓以上 納稅年額二百圓以上

第二條 合名會社ニ在リテハ其社員ノ一人及合資會社ニ在リテハ其無限責任社員ノ一人ニ於テ第一條ノ資格ヲ備フルコトヲ要ス

第三條 株式會社ニ在リテハ株金ノ拂込ヲ了シタル額カ各自見積代價ノ二倍以上タルコトヲ要ス

第四條 株式合資會社ニ在リテハ第二條合資會社ニ要スル資格若クハ第三條ノ資格ノ一ヲ備フルコトヲ要ス

第五條 外國會社ニ在リテハ規定ノ登記ヲ了シ且日本ニ成立セル同種又ハ最モ之ニ類似セルモノ

ニ要スル第二條乃至第四條ノ資格ト同一ノ資格ヲ備フルコトヲ要ス

第六條 前各條ノ外入札當時ヨリ起算シ既往二箇年中ニ於テ一口ニ付年三千圓以上ノ土木建築工



事請負契約ヲ完全ニ履行シタル確證アルコトヲ要ス

○農商務省令第二十二號

沖繩縣國有林野特別處分規則左ノ通之ヲ定ム

明治三十九年七月二十六日

農商務大臣松岡康毅

沖繩縣國有林野整理處分規則

第一章 總則

第一條 明治三十九年勅令第九十一號ニ依ル沖繩縣不要存置國有林野ノ賣拂及國有林野產物ノ讓與ハ本規則ニ依リ沖繩縣知事之ヲ專決處分スルコトヲ得

第二條 賣拂ヒタル林野又ハ讓與シタル產物ニ付國ノ負擔スル義務ハ買受人又ハ讓受人之ヲ承繼スルモノトス

第三條 本則ノ規定ニ依リ差出又ハ作製スヘキ書類ニシテ書式ノ定アルモノハ其ノ書式ニ依ルヘシ

第四條 區間切又ハ島ノ出願ニ付テハ願書ニ區會、問切會又ハ島會ノ決議書ノ添附スヘシ

第五條 出願人又ハ契約當事者ノ代理人ハ其ノ代理權ヲ證スル書面ヲ差出スヘシ

前項ノ出願人又ハ契約當事者二人以上ナルトキハ總代ヲ選定シ書類ニハ總代署名捺印シテ之ニ委任狀ヲ添附スヘシ

第二章 賣拂

第六條 不要存置國有林野ヲ賣拂ハムトスルトキハ沖繩縣知事ハ左ノ事項ヲ公告スヘシ

一 地籍及面積

二 願書差出ノ期間

三 附帶義務アルトキハ其ノ義務ノ要領

四 其ノ他必要ト認ムル事項

第七條 前條ノ公告ニ因リ賣拂ヲ出願セムトスル者ハ願書ニ其ノ事由ヲ詳記シ證據書類アルモノハ之ヲ添附シテ沖繩縣知事ニ差出スヘシ

第八條 不要存置國有林野ハ調査價格以上ニ非サレハ之カ賣拂ヲ爲スコトヲ得ス

第九條 同一ノ不要存置國有林野ニ付賣拂ノ出願競合シタルトキハ明治三十九年勅令第九十一號第一條第一號ニ掲グル出願者ニ先チ同條第二號ニ掲グル出願者ニ賣拂ヲ爲スヘシ

第十條 賣拂ノ許可アリタルトキハ買受人ハ沖繩縣知事ノ指定シタル期間内ニ契約ヲ締結スヘシ

買受人前項ノ指定期間内ニ契約ヲ締結セサルトキハ沖繩縣知事ハ賣拂ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

前項ニ依リ取消シタル場合ニ於テハ違約金トシテ出願代金百分ノ十二當ル金額ヲ徵收スヘシ

第十一條 前條ノ契約ニ付テハ契約保證金ハ之ヲ徵收セサルコトヲ得

第十二條 林野ノ引渡ハ代金ノ延納ヲ許可シタル場合ヲ除クノ外代金完納ノ後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

買受人ハ林野引渡前ニ在リテハ沖繩縣知事ノ認可ヲ得ルニ非サレハ林野ニ關シ一切ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

買受人林野ノ引渡ヲ受ケタルトキハ領收證ヲ作り之ヲ沖繩縣知事ニ差出スヘシ

第十三條 賣拂ヒタル林野ノ面積ニ錯誤アルモ買受人ハ異議ヲ述ブルコトヲ得ス



第十四條 買受人第二條ニ因ル義務ノ履行ヲ怠リ、第十二條第二項、第十五條ノ規定若ハ第十六條ノ命令ニ違背シ又ハ納付期限内ニ代金ヲ納付セサルトキハ沖繩縣知事ハ契約ヲ解除スルコトヲ得

前項ニ依リ契約ヲ解除シタルトキハ違約金トシテ賣拂代金ノ百分ノ十二當ル金額ヲ徴收スヘシ第十五條 不要存置國有林野ノ賣拂ヲ受ケタル者ハ一箇年以内ニ其ノ森林トシテ經營スヘキモノト否トヲ定メ沖繩縣知事ノ認可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

前項ニ依リ認可ヲ受ケ森林トシテ經營スヘキモノニ付テハ其ノ認可ヲ受ケタル日ヨリ一箇年以内ニ沖繩縣知事ノ定ムル規程ニ依リ施業ノ方法ヲ定メ沖繩縣知事ノ認可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第十六條 沖繩縣知事必要ト認ムルトキハ前條ニ依ル施業方法ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第三章 讓與

第十七條 國有林野ノ產物ヲ讓與セムトスルトキハ沖繩縣知事ハ左ノ事項ヲ公告スヘシ

- 一 產物所在地ノ地籍及面積
- 二 產物ノ種類及數量ノ概數
- 三 願書差出ノ期間
- 四 附帶義務アルトキハ其ノ義務ノ要領
- 五 其ノ他必要ト認ムル事項

第十八條 前條ノ公告ニ因リ讓與ヲ出願セムトスル者ハ願書ヲ作り之ヲ沖繩縣知事ニ差出スヘシ第十九條 讓與ノ許可アリタルトキハ讓受人ハ沖繩縣知事ノ指定シタル期間内ニ請書ヲ差出スヘシ

第二十條 讓受人前條ノ指定期間内ニ請書ヲ差出ササルトキハ沖繩縣知事ハ讓與ノ許可ヲ取消スルコトヲ得

第二十一條 存置國有林野又ハ之ニ隣接スル地ニ存在スル產物ノ讓與ヲ受ケタルトキハ讓受人ハ產物ノ引渡ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ境界標ヲ建設スヘシ

第二十二條 讓與ヲ受ケタル產物ニシテ存置國有林野ニ存在スルモノ、採取期間ハ讓與許可ノ年ヨリ三十箇年以内トス

第二十三條 沖繩縣知事必要ト認ムルトキハ存置國有林野ニ存在スル產物ノ讓與ヲ受ケタル者ニ對シテ其ノ讓與ヲ受ケタル產物ノ採取ヲ制限シ又ハ採取ノ方法若ハ期間又ハ搬出期間ヲ指定スルコトヲ得第十五條ニ依リ施業方法ノ認可ヲ受クルニ至ル迄不要存置國有林野ニ於ケル產物ニ付テモ亦同シ

第二十四條 讓受人前條ノ制限又ハ指定ニ違反シテ產物ヲ採取シタルトキハ沖繩縣知事ハ其ノ採取シタル產物ヲ返還セシメ又ハ違約金トシテ其ノ產物ノ代價ニ相當スル金額ヲ徴收スルコトヲ得

第二十五條 讓受人第二條ニ因ル義務ノ履行ヲ怠リタルトキハ沖繩縣知事ハ其ノ讓與シタル產物ヲ返還セシメ又ハ違約金トシテ其ノ產物ノ代價ニ相當スル金額ヲ徴收スルコトヲ得

第二十六條 第二十二條及第二十三條ニ定ムル採取期間内ニ採取セズ又ハ第二十三條ノ搬出期間内ニ搬出ヲ終ラサル產物ハ國ノ所有ニ屬スルモノトス

第二十七條 讓受人カ山ニ關スル從來ノ慣例ニ反シ存置國有林野ニ存在スル主產物ヲ採取セム



トスルトキハ其ノ種類ノ採取區域ノ面積ヲ沖繩縣知事ニ届出ツルニシ

第一號書式

國有林(原野)拂下願

何郡(區)何間切(島)何村字何(ノ内)

一 買取面積 何程 但地上產物ヲ除ク

此代金 何程 一町歩ニ付

右ハ左記ノ事由有之候ニ付前記ノ代金ヲ以テ拂下御許可相成度沖繩縣國有林野整理處分規則ヲ遵守シ此段奉願候也

(出願ノ事由)

年月日

沖繩縣知事氏名殿

住所

氏名印

第二號書式

買賣契約書

目的物件

何郡(區)何間切(島)何村字何(ノ内)

一 買取面積 何程 但地上產物ヲ除ク

此代金 何程 一町歩ニ付

金 何程

契約條件

一 代金ハ納入告知書ニ依リ何年何月何日限何本(支)金庫(納付)

一 引渡ハ代金完納後何日限

一 引渡ヲ請求スヘキ官廳

一 引渡場所

一 何々(契約ヲ要スル條件ヲ列記スヘシ)

今般前書ノ通買賣契約締結候ニ付テハ沖繩縣國有林野整理處分規則及前記ノ條件ヲ承諾シ雙方署名捺印ノ上各一通ヲ領取シ置

年月日

買渡人 沖繩縣知事印

住所

買受人 氏名印

第三號書式

國有林產物讓與願

何郡(區)何間切(島)何村字何(ノ内)

面積 凡何程ニ存在

一 何 凡何程

一 何 凡何程

一 何 凡何程

右產物ハ何間切(島)何間切(島)何村ニ於テ造林保護ヲ爲シタルモノニ付何間切(島)何間切(島)何村ニ讓與御許可相成度圖

面相添沖繩縣國有林野整理處分規則ヲ遵守シ此段奉願候也

年月日

何郡何間切(島)長 氏名印

沖繩縣知事氏名殿

第四號書式

請書

目的物件

一 何郡(區)何間切(島)何村字何(ノ内)別紙圖面ノ區域ニ存在スル立木一切

契約條件

一 讓與ヲ受ケタル產物ノ存在スル區域ハ別紙圖面ノ通りタルコト

一 產物ノ讓與ヲ受ケタルニ付テハ山ノ保護管理ニ關シテハ從來ノ慣行ヲ主張セサルコト

一 境界標ノ建替ヲ要スルトキハ指定ノ期間内ニ建設スヘキコト(讓與ヲ受ケタル產物ノ存置國有林野又ハ之ニ鄰接スル箇所ニ存在スル場合)

一 何々(契約ヲ要スル條件ヲ列記スヘシ)

今般前記ノ目的物件ヲ何間切(島)何間切(島)何村ニ讓與許可相成候ニ付テハ沖繩縣國有林野整理處分規則並ニ前記ノ契約條



件ヲ承諾シ請書差出候也

年月日

沖繩縣知事氏名殿

何郡何間切(島)長 氏 名印

○遞信省令第三十四號

明治三十九年六月 遞信省令第三十二號施行期日ハ明治三十九年七月二十日ニ改正ス

明治三十九年七月二日

遞信大臣山縣伊三郎

○遞信省令第三十五號

明治三十三年八月 遞信省令第四十號電話呼出規程中左ノ通改正ス

明治三十九年七月四日

遞信大臣山縣伊三郎

第十四條 明治三十九年六月 遞信省令第二十五號電話規則第五十六條乃至第五十八條ノ規定ハ本規

程ニ依リ加入者ノ納ムヘキ料金滯納ノ場合ニモ之ヲ準用ス

〔參照〕

遞信省令第四十號電話呼出規程(明治三十三年八月二十三日)抄錄

第十四條 明治三十年十月 遞信省令第三十一號電話交換規則第四十條乃至第四十二條ノ規定ハ本規程ニ依リ加入者ノ納ム

ヘキ料金滯納ノ場合ニモ之ヲ準用ス

○遞信省令第三十六號

郵便葉書ノ内通常葉書及往復葉書ノ表面ニ於ケル輪廓及注意文ヲ除キ且料金印面ノ模様ヲ改メ印刷ハ通常葉書ヲ現行ノ桔梗色往復葉書ヲ淡栗色トス其ノ見本ハ郵便局ニ備置カシム照鑑ヲ要スルモノハ就テ觀ルヘシ

但シ當分ノ内從前ノ葉書ヲ取交セ使用セシム

明治三十九年七月五日

遞信大臣山縣伊三郎

○遞信省令第三十七號

明治三十八年三月 遞信省令第二十號船舶職員法施行細則中左ノ通改正ス

明治三十九年七月五日

遞信大臣山縣伊三郎

第七條ニ左ノ一項ヲ加フ

船舶検査法施行細則第三十四條ニ依リ管海官廳ノ認可ヲ受ケ航路定限ヲ超エテ回航スル船舶旅客及貨物ヲ搭載セス且該官廳ノ認可ヲ受ケタルトキハ回航中高等ノ海技免狀ヲ受有スル船舶職員ヲ乗組マシムヘキ場合ト雖モ認可ノ時ニ於ケル航路ニ相當スル船舶職員ヲ以テ回航スル航路ニ相當スル船舶職員ニ充ツルコトヲ得

第十九條第一項ニ左ノ一號ヲ加フ

四 海員審判所ニ於テ海技免狀ヲ無効ト爲シタルトキ

第二十條 海技免狀ヲ受有スル者高等免狀ニ對スル登録ヲ受ケタルトキハ下等免狀ニ對スル登録ハ遞信省ニ於テ之ヲ抹消ス但該高等免狀ノ效力ニ制限ヲ加ヘタルモノナルトキハ此ノ限ニ在ラ

ス 效力ニ制限ヲ加ヘタル免狀ヲ受有スル者效力ニ制限ヲ加ヘサル同種ノ免狀ニ對スル登録ヲ受ケタルトキハ效力ニ制限ヲ加ヘタル免狀ニ對スル登録ハ遞信省ニ於テ之ヲ抹消ス

效力ニ制限ヲ加ヘタル免狀ヲ受有スル者其制限ヲ變更シタル同種ノ免狀ニ對スル登録ヲ受ケタルトキ亦前項ニ同シ

前三項ニ依リ抹消ノ登録ヲ爲シタルトキハ當該免狀ハ新ニ授與スル免狀ト引換ニ之ヲ遞信省ニ返還スヘシ



第三十一條中「第三號」ノ下ニ「第四號」ヲ加フ

〔参照〕

逓信省令第二十號船舶職員法施行細則(明治三十八年三月二十五日)抄録  
 第十九條 逓信省ハ左ノ場合ニ於テ抹消ノ登録ヲ爲ス  
 一 前條ノ申請ヲ受ケタルトキ  
 二 抹消ノ登録ヲ申請スヘキ場合ニ於テ規定ノ期間ニ之ヲ爲ササルトキ  
 三 詐偽ノ所爲ヲ以テ海技免狀ヲ受ケタルトキ發覺シタルトキ  
 第二十条條 海技免狀ヲ受有スル者高等免狀ニ對スル登録ヲ受ケタルトキハ下等免狀ニ對スル登録ハ逓信省ニ於テ之ヲ抹消ス此場合ニ於テ下等免狀ハ高等免狀ト引換ニ之ヲ逓信省ニ返還スヘシ  
 第三十一條 海技免狀ハ本則ノ規定ニ依リ之ヲ返還シタル場合ニハ返還ノトキヨリ之ヲ返還セサル場合ニハ返還ノ事由發シタルトキヨリ、第十八條第一項各號及第十九條第一項第二號第三號ノ場合ニハ各號ノ事實發見シタルトキヨリ、滅失シタル場合ニハ滅失ノトキヨリ其效力ヲ失フ

○逓信省令第三十八號

明治三十三年九月逓信省令第四十二號郵便規則第六十六條ニ左ノ一項ヲ加フ

明治三十九年七月七日

逓信大臣山縣伊三郎

郵便私書函使用人ニシテ豫メ認可ヲ受ケタル者ハ書留、價格表記、配達證明及料金不納ノ通常郵便物又ハ小包郵便物ヲ郵便局ニ於テ受取ルコトヲ得

〔参照〕

逓信省令第四十二號郵便規則(明治三十三年九月一日)抄録  
 第六十六號 郵便私書函使用人ハ郵便局所ニ設置シタル郵便私書函ニ依リ何時ニテモ普通郵便ニ依ル料金完納通常郵便物ヲ受取ルコトヲ得

○逓信省令第三十九號

明治三十五年十一月逓信省令第五十三號外國小包郵便規則第三十一條中「第十二條」ノ下ニ「第六十六

條」ヲ加フ

明治三十九年七月七日

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省令第四十號

明治三十四年四月逓信省令第十九號中左ノ通改正シ來八月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年七月十九日

逓信大臣山縣伊三郎

- 一「郵便及電信局官吏」トアルヲ「郵便局職員」ト改ム
- 一第一條第五項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ  
臨時職員ニハ在勤手當ヲ給セス
- 一第二條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ  
職員退職及死亡ノ場合亦前二項ニ依ル
- 一第九條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ  
但職員ニ在リテハ病氣ノ爲メ執務セサルコト六十日ヲ踰ユルモノ又ハ私事ノ故障ニ依リ執務セサルコト二十日ヲ踰ユルモノハ在勤手當ヲ給セス
- 一第一號表ヲ左ノ通改ム

在勤手當給與年額表

任 所	局 長		通信 屬 員	通信 手 員	通信 手 員	通信 手 員
	奏 任 官	判 任 官				
北 京	一、四〇〇圓	九六〇圓	六〇〇圓	三九〇圓	一六三圓	一六三圓
上 海	一、四〇〇圓	九六〇圓	六〇〇圓	三九〇圓	一六三圓	一六三圓



區 別	奏 任	判 任	技 任	手 任
天 津	一、四〇〇	九六〇	六〇〇	三九〇
芝 罘	一、二〇〇	八四〇	五四〇	三六〇
蘇 州	一、〇八〇	七八〇	五四〇	三六〇
杭 州	一、〇八〇	七八〇	五四〇	三六〇
沙 市	一、〇八〇	七八〇	五四〇	三六〇
厦 門	一、〇〇〇	八四〇	五七〇	三七五
漢 口	一、〇〇〇	八四〇	五七〇	三七五
福 州	一、〇〇〇	八四〇	五七〇	三七五
牛 莊	一、〇〇〇	八四〇	五七〇	三七五
南 京	一、〇八〇	七八〇	五四〇	三六〇
汕 頭	一、二〇〇	八四〇	五七〇	三七五
長 沙	一、〇八〇	七八〇	五四〇	三六〇

出張所ニ在勤スル者ニ給スル在勤手當ハ其本局在勤者ニ給スル手當額ニ依リ出張所長ノ職ニ在ル者ニ限リ其ノ十分ノ三ヲ増給ス但特ニ指定シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一 第二號表ヲ左ノ通改ム  
一時手當給與額表

濟 南	歸 朝
一、三〇〇	八〇〇
七〇〇	五〇〇
三〇〇	三〇〇

本局及其所在地出張所ト本局所在地以外出張所トノ間又ハ本局所在地外各出張所ノ間ニ交互轉任轉勤スル者ニ給スル一時手當ハ濟南内地各地方間轉任轉勤ノモノニ給スル手當額ノ十分ノ三トス

○ 逓信省令第四十一號

明治三十九年五月 逓信省令第二十三號左記中「一 内地ト臺灣又ハ樺太トノ間 二 臺灣樺太間」トアルヲ「一 小笠原島、臺灣、樺太ト其以外ノ本邦各地トノ間 二 小笠原島、臺灣、樺太相互間」ト改メ來八月一日ヨリ施行ス

明治三十九年七月二十七日

逓信大臣 山縣伊三郎

〔參照〕

明治三十九年五月二日 逓信省令第二十三號ハ内地臺灣間及臺灣樺太間ニ發受スル私報ノ通電電報料金ナリ



○天藏省令第三十六號

明治三十七八年戰役ニ關スル行賞賜金取扱規則左ノ通相定ム

明治三十九年八月六日

大藏大臣	博士 阪谷 芳郎
陸軍大臣	寺内 正毅
海軍大臣	齋藤 實
逓信大臣	山縣伊三郎

明治三十七八年戰役ニ關スル行賞賜金取扱規則

第一章 通則

- 第一條 明治三十七八年戰役ニ關スル行賞賜金ハ明治三十九年勅令第二百十二號ニ依リ現金ハ郵便貯金トシ特別郵便貯金通帳ヲ以テ交付シ公債證書ハ郵便官署ニ保管シ特別證券保管通帳ヲ以テ交付ス但シ將校同相當官或高等文官ニ對スル行賞賜金ハ此ノ限ニ在ラス
- 第二條 行賞賜金ニ對スル特別郵便貯金通帳ノ所持人ハ一般ノ規定ニ從ヒ他ノ郵便貯金通帳ヲ所持スルコトヲ得
- 第三條 賜金受給者ニ對シ公債證書ノミヲ交付スル場合ト雖他日公債證書ノ利子又ハ其ノ賣却代金ノ處理ニ便ナラシムル爲金額ノ記載ナキ特別郵便貯金通帳ヲ交付ス
- 前項特別郵便貯金通帳ノ交付ヲ受ケタル者其ノ通帳ニ依リ貯金ノ預入又ハ保管ニ係ル證券利子ノ受入ヲ爲サハル以前ニ於テ保管證券全部ノ交付ヲ請求スルトキハ其ノ請求書ト共ニ貯金通帳ヲ郵便局ニ返納スヘシ
- 第四條 陸海軍現役者及諸官廳ニ在ル者ニ交付スヘキ特別郵便貯金通帳及特別證券保管通帳ハ其



ノ長若ハ其ノ長ノ指定シタル者ト受授スルコトアルヘシ此ノ場合ニ在テハ其ノ長若ハ其ノ長ノ指定シタル者ニ於テ各受給者ノ提出スヘキ賜金受領證書貯金預入申込書等ヲ取纏メ差出スヘシ

第五條 特別郵便貯金通帳ノ所持人郵便局ニ對シ所屬部隊長又ハ市町村長等ノ證明書ヲ提供シテ正當本人タルコトヲ證明スルトキハ金額ニ制限ナク貯金ノ即時拂ヲ請求スルコトヲ得

第六條 特別證券保管通帳ノ所持人ハ行賞賜金ニ係ル公債證書ニ限リ郵便局ニ最近到達ノ遞信公報ニ掲ケタル相場ニ依リ之カ買却ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ證券買却請求書ニ其旨ヲ附記シ郵便局ニ差出スヘシ

第七條 行賞賜金ノ郵便貯金及公債證書ニ對スル郵便官署ノ取扱ニ關シテハ本規則ニ規定シタルモノ、外總テ郵便貯金ニ關シ定メタル規則ニ據ル

第八條 行賞賜金受給者發令後死歿シ若ハ受領ノ資格ヲ失ヒタルトキハ正當ノ繼承者若ハ財產管理人ニ於テ其ノ事實ヲ證明シ賜金受領ノ手續ヲ爲スヘシ

第九條 明治三十七八年戰役ニ從事シ死歿シタル者ノ遺族ニ給スヘキ特別賜金賜與ニ關シテハ從前ノ規定ニ據ル

第二章 陸軍省所管賜金取扱方

第十條 陸軍省ニ屬スル行賞賜金ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ取扱フモノトス

- 一 師團經理部 當該師團司令官部ヲ經テ附令ヲ交付シタル受給者ニ係ル賜金
- 二 臺灣陸軍經理部 臺灣陸軍經理部經テ附令ヲ交付シタル受給者ニ係ル賜金
- 三 陸軍會計監督部 前二號及海軍省所管以外ノモノニ係ル賜金

第十一條 行賞賜金受給者辭令書ノ交付ヲ受ケタルトキハ請求書用紙附一表(請求書用紙ハ辭令書ノトス)ニ金額住所等ヲ記入シ署名捺印ノ上陸軍各部隊及諸官廳等ニ在ル者ハ其ノ長、地方受給者ニ在テハ市町村長又ハ之ニ準スヘキ者ニ辭令書ヲ提供シテ證明ヲ受ケ本人若ハ受領代理人ヨリ前條ノ區分ニ從ヒ賜金請求書ヲ當該取扱處ニ差出スヘシ

滿韓樺太駐劄軍ニ在ル受給者ハ前項請求書ヲ當該經理部ニ差出スヘシ但シ内地ニ於テ受領セムトスル者ハ代理者ヲシテ陸軍會計監督部ニ請求セムヘシ

第十二條 各師團經理部等ニ於テ受給者ヨリ賜金請求書ヲ受ケタルトキハ正當受給者タルコトヲ審査シタル上第一條ニ依リ通帳ヲ以テ交付スルモノト現金又ハ公債證書ヲ以テ交付スルモノトヲ區分シ受給者住所ノ府縣別ニ依リ金額氏名表附二表ヲ作り請求書ト共ニ之ヲ陸軍會計監督部ニ送付スヘシ

第十三條 陸軍會計監督部ニ於テハ行賞ニ依リ下賜セラルヘキ金額ヲ見積リ之ニ要スル公債證書ノ額面金高及枚數ヲ指定シテ之ヲ買入レ而シテ通帳ヲ以テ交付スヘキモノニ對スル買入證券ハ郵便爲替貯金管理所ノ保管預リニ組替フヘキコトヲ大藏省ニ請求シ一面郵便爲替貯金管理所ニ對シ通帳ヲ以テ交付スヘキモノ、賜金請求書及金額氏名表附二表ヲ送付シ且端數金額ニ充ツヘキ現金ヲ同所出納官吏ニ交付スヘシ

現金又ハ公債證書ヲ以テ交付スヘキモノハ陸軍會計監督部ヨリ直ニ之ヲ受給者ニ交付スヘシ受給者ニ於テ現金又ハ公債證書ノ交付ヲ受ケタルトキハ其ノ受領證書附表第四號又ハ第五號ヲ直ニ陸軍會計監督部ニ提出スヘシ

第十四條 大藏省ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ公債證書ノ買入及保管組替ノ手續ヲ爲シ且



ル上其ノ旨ヲ陸軍會計監督部及郵便爲替貯金管理所ニ通知スヘシ但シ郵便爲替貯金管理所ニ對シテハ保管組替ニ係ル公債證書ノ記號番號金額等ヲ詳記シ通知スヘシ

第十五條 郵便爲替貯金管理所ニ於テ陸軍會計監督部ヨリ通帳ヲ以テ交付スヘキモノ、賜金請求書及現金ヲ受領シ又大藏省ヨリ證券保管組替ノ通知ヲ受ケタルトキハ各受給者別ニ特別郵便貯金通帳及特別證券保管通帳ヲ調製シ賜金請求書ト共ニ之ヲ受給者所在地ヲ管轄スル郵便局ニ送付シ其ノ旨ヲ受給者ニ通知スヘシ

第十六條 受給者ニ於テ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ賜金受領證書用紙附表第一號及貯金預入申込書用紙賜金受領證書用紙及貯金預入申込書用紙ハ郵便爲替貯金管理所ヨリ通知書ト共ニ受給者ニ交付スルモノトスニ相當事項ヲ記入シ署名捺印ノ上指定郵便局ニ差出し貯金通帳及保管通帳ノ交付ヲ請求スヘシ

郵便局ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ受領證書ノ印影ヲ賜金請求書ノ印影ト對照シ相違ナキヲ確メタル上特別郵便貯金通帳及特別證券保管通帳ヲ交付シ受領證書及賜金請求書ハ郵便爲替貯金管理所ヲ經テ之ヲ陸軍會計監督部ニ送付スヘシ

第三章 海軍省所管賜金取扱方

第十七條 本規則ニ依ル行實賜金受給者ニシテ海軍部内ノ者ニ對シテハ辭令面ニ依リ海軍省經理局ニ於テ金額氏名表ヲ作り之ヲ郵便爲替貯金管理所ニ送付シ海軍部外ノ者ニ對シテハ辭令書ト共ニ賜金請求書用紙ヲ受給者ニ送付ス

受給者前項ニ依リ賜金請求書用紙ヲ送付ヲ受ケタルトキハ速ニ之ニ金額住所等ヲ記入シ署名捺印ノ上市町村長又ハ之ニ準スヘキ者ノ證明ヲ受ケ本人又ハ受領代理人ヨリ之ヲ海軍省經理局ニ差出スヘシ

第十八條 海軍省經理局ニ於テ賜金請求書ヲ受ケタルトキハ之ヲ審査シ受給者住所ノ府縣別ニ依リ金額氏名表ヲ作り之ニ賜金請求書ヲ添ヘ郵便爲替貯金管理所ニ送付スヘシ

第十九條 海軍省經理局ニ於テハ行實ニ依リ下賜セラルヘキ金額ヲ見積リ之ニ要スル公債證書ノ額面金高及枚數ヲ指定シテ其ノ買入並買入證券ヲ郵便爲替貯金管理所ノ保管預リニ組替フヘキコトヲ大藏省ニ請求シ端數現金ハ之ヲ同所出納官吏ニ交付スヘシ

第二十條 大藏省ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ第十四條ノ手續ヲ爲シ海軍省經理局及郵便爲替貯金管理所ニ通知スヘシ

第二十一條 郵便爲替貯金管理所ニ於テ海軍省經理局ヨリ金額氏名表及現金ヲ受領シ竝大藏省ヨリ證券保管組替ノ通知ヲ受ケタルトキハ各受給者別ニ特別郵便貯金通帳及特別證券保管通帳ヲ調製シ海軍省經理局ヨリ賜金請求書ヲ送付セラル者ニ對シテハ通帳ニ賜金受領證書用紙及貯金預入申込書用紙ヲ添ヘ之ヲ同局ニ交付シ賜金請求書ヲ送付セル者ニ對シテハ該請求書ト共ニ通帳ヲ受給者所在地ヲ管轄スル郵便局ニ送付シ其ノ旨ヲ受給者ニ通知スヘシ

第二十二條 海軍省經理局ニ於テ特別郵便貯金通帳及特別證券保管通帳等ヲ受ケタルトキハ之ヲ海軍經理部又ハ各屬ニ送付シ各受給者ニ送達セシム

第二十三條 前條ニ依リ海軍經理部又ハ各屬ヨリ特別郵便貯金通帳及特別證券保管通帳等ヲ受ケタル者ハ賜金受領證書用紙及貯金預入申込書用紙ニ相當事項ヲ記入シ署名捺印ノ上無料郵便ニ依リ速ニ之ヲ送達セル海軍經理部又ハ各屬ニ送付スヘシ

第二十四條 依リ郵便爲替貯金管理所ヨリ通知ヲ受ケタル者ハ賜金受領證書用紙及貯金預入申込書用紙ニ相當事項ヲ記入シ署名捺印ノ上指定郵便局ニ差出し貯金通帳及保管通帳ノ交付ヲ請



求スヘシ

第二十四條 海軍經理部又ハ各屬ニ於テ賜金受領證書及貯金預入申込書ヲ受ケタルトキハ受領證  
 ハ之ヲ海軍省經理局ニ貯金預入申込書ハ無料郵便ニ依リ之ヲ郵便爲替貯金管理所ニ送付スヘシ  
 郵便局ニ於テ貯金通帳及保管通帳交付ノ請求ヲ受ケタルトキハ受領證書ノ印影ヲ賜金請求書ノ  
 印影ト對照シ相違ナキヲ確メタル上之ヲ交付シ受領證書及賜金請求書ハ之ヲ郵便爲替貯金管理  
 所ヲ經テ海軍省經理局ニ送付スヘシ

第二十五條 海軍部内ノ受給者ニシテ其ノ所屬官廳艦船等ニ異動アリタル者又ハ海軍部内ヲ離レ  
 タル者ニ對シ交付スヘキ特別郵便貯金通帳及特別證券保管通帳等ハ海軍經理部又ハ各屬ニ於テ  
 便宜郵便局ヲ經テ之ヲ交付スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ海軍經理部又ハ各屬ヨリ貯金通帳及保管通帳等ヲ其ノ所在地ノ郵便局ニ交  
 付シ郵便局ハ之ヲ受給者ノ所在地ヲ管轄スル郵便局ニ送付シ且其ノ旨ヲ當該受給者ニ通知スヘ  
 シ

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附表第一號

本請求書ハ第一師團經理部(又ハ陸軍會計監督部又ハ海軍省)ニ提出スヘシ
賜金請求書 明治 年 月 日 官報附錄又ハ號外第 頁 登錄ノ分(海軍省所管ニ在リ)
賜金 額 金

現住所

右請求候也

明治 年 月 日

前稱之通稱令等ニ對照シ正當受給者ニ相違ナキコトヲ證明ス  
 明治 年 月 日

一本請求書用紙ハ各人一枚ヲ限リ辭令書ト共ニ配付スルモノナルヲ以テ紛失其他ノ事由ニ依リ再交付ヲ要スル時  
 ハ所屬部隊官廳ノ長若ハ市區町村長ノ證明ヲ受ケ賜金取扱局ニ要求スヘシ  
 一請求者ハ賜金額及官報(附錄又ハ號外)登錄ノ年月日頁數ヲ(辭令書裏面ニ詳記ノ通)記入シ年月日ノ下ニ官氏名  
 ヲ記入シ各部隊及官廳ニ在ル者ハ其ノ長ハ地方受給者ニ在テハ現ニ居住スル市區町村長ノ證明ヲ受ケ本  
 人若ハ受領代人ヨリ直ニ賜金交付局ニ送付スヘシ  
 一現住所ノ下ニハ現役者及諸官廳ニ在ル者ニ在テハ現所屬部隊、其他ノ者ニ在テハ現ニ居住スル府縣市區町村番  
 地ヲ詳記スヘシ  
 一請求書提出後賜金受領前ニ於テ所屬部隊ヲ轉シ若ハ住所ヲ轉シタル場合ニ在テハ所屬部隊長若ハ新居住地ノ  
 市區町村長ノ證明ヲ受ケ其旨直ニ賜金取扱局ニ届出ツヘシ  
 一代理受領ヲナス者ハ受給者ノ委任狀ヲ添付提出スヘシ

賜金内訳

公債證券記號番號ハ郵便爲替貯金管理所ニ於  
 テ其他ハ賜金取扱局ニ於テ記入スルモノトス

種別	記號	番	號	數	量	公債證券換算額
千圓券	號			番	枚	
五百圓券	號			番	枚	
百圓券	號	至	自	番	枚	
五十圓券	號			番	枚	
現金						金







右之通相違無之候也

明治 年 月 日

第 師團經理部長又ハ海軍省經理局長

附表第三號

注意

一 賜金受領者ハ年月日ノ下ニ現住所(部隊名)官氏名ヲ記入シ、  
 二 賜金請求書ヲ差出シタルモノニ在テハ其請求書ニ用ヒタル印ヲ捺捺スヘシ  
 一 郵便官署ヨリ通知ヲ受ケタル賜金受領者ハ本受領證書ヲ指定ノ郵便局ニ差出シ之レト引換ニ郵便貯金通帳  
 券保管通帳ヲ受取ルヘシ  
 一 賜金受領前ニ於テ紛失其他ノ事由ニ依リ改印シタル場合ニ在テハ改印證明書ヲ添付スヘシ  
 一 海軍省所管ノモノニ在テハ官報(附録又ハ號外)登載ノ月日及頁數ヲ記入セサルモ妨ナシ

第 號 賜金受領證書

一金

内 附 圓也

郵便貯金

但シ 番貯金通帳 圓也

公債證書類

此指定價格換算金 圓也

(買取額百圓ノ額)

但シ 番貯券保管通帳

行貸賜金

但シ明治 年 月 日官報(附録又ハ號外)第 頁登載明治三十七八年戰役ノ功ニ依ル

右正ニ受領候也 明治 年 月 日

附表第四號

注意

一 本賜金受領者ハ年月日ノ下ニ現住所(部隊名)官氏名ヲ記入シ、  
 二 賜金請求書ニ用ヒタル印ヲ捺捺スヘシ  
 一 本受領證書ハ公債交付者ニ渡スヘシ  
 一 賜金受領前ニ於テ紛失其他ノ事由ニ依リ改印シタル場合ニ在テハ改印證明書ヲ添付スヘシ

第 號 受領證書

一 帝國政府五分利公債證書類

内 附 圓也

此指定價格換算金 但シ額面百圓ニ對シ九十五圓ノ割

千圓券	號	番	枚
五百圓券	號	番	枚
百圓券	號	番	枚
五十圓券	號	番	枚

但シ明治 年 月 日官報(附録又ハ號外)第 頁登載明治三十七八年戰役ノ功ニ依ル

一時賜金 圓ノ内

右正ニ受領候也

明治 年 月 日

附表第五號

注意

一 本賜金受領者ハ年月日ノ下ニ現住所(部隊名)官氏名ヲ記入シ、  
 二 請求書ニ用ヒタル印ヲ捺捺スヘシ  
 一 本受領證書ハ現金受領直ニ之ヲ送金シタル官廳へ差出スヘシ  
 一 賜金受領前ニ於テ紛失其他ノ事由ニ依リ改印シタル場合ニ在テハ改印證明書ヲ添付スヘシ



受領證書

第 號	受領證書
一金	但シ明治 年月 日官報(附録又ハ號外)第 頁登載明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ 一時賜金 圓ノ内現金ニテ受領ノ分 右正ニ受領候也 明治三十年 月 日

○大藏省令第三十七號

第一條 本年ハ勅令第二百一十一號ニ依リ明治三十七八年戰役ニ關シ下賜セラレタル公債證書及現金ヲ大藏省預金部へ預託セントスルモノハ中央金庫又ハ各地金庫ニ預入ルヘシ

前項ニ依リ預入ヲ爲サントスルモノハ其下賜ニ關スル辭令書ヲ呈示シ又ハ市區町村長等ノ證明書若ハ其他ノ方法ニ依リ金庫ニ對シ其受領者タルコトヲ證明スヘシ

第二條 預託者ハ其預入公債證書ノ賣却方ヲ預入金庫ニ請求スルコトヲ得

第三條 前條公債證書ノ賣却代金ハ預託者ノ預金ニ組入ル、ニ付預託者ハ金庫ノ通知ニ依リ預金通帳ヲ金庫ニ提出スヘシ但シ未ダ預金通帳ヲ所持セサルモノハ新ニ通帳ヲ交付スヘシ

直チニ賣却代金ノ交付ヲ望ムモノハ賣却請求ノ際其旨ヲ申出ツヘシ

第四條 大藏省ハ賣却請求書到達リ日ヨリ休日ヲ除キ三日以内ニ日本銀行ヲシテ時價ニ依リ公債證書ヲ賣却セシムヘシ

公債證書賣却ノ請求ヲ受ケタル各地金庫ハ直チニ該公債證書ヲ請求書ト共ニ中央金庫ニ送付スルモノトス

第五條 第一條ニ依リ金庫ニ於テ受入ル、公債證書及現金ノ取扱ニ付テハ本令ニ定ムルモノ、外明治二十六年大藏省令第十九號預金取扱規程ヲ準用ス

附 則

本令ハ本年ハ勅令第二百一十一號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年八月七日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

○陸軍省令第八號

濠兵院收容規則左ノ通定ム

明治三十九年八月六日

陸軍大臣寺內正毅

濠兵院收容規則

第一條 濠兵院ニ入院ヲ許可スル人員及入院願出ノ期日ハ臨時之ヲ告示ス

第二條 濠兵院入院志願者ハ願書(第一號)ニ恩給證書寫、戶籍謄本ヲ添ヘ指定ノ期日迄ニ居住地市町村長(東京市京都市大阪市及北海道ノ區ニ在リテハ區長市制町村制ヲ及地方長官ヲ經テ濠兵院所管ノ師團長ニ願出ヘシ)

第三條 前條ノ願出アリタルトキ市町村長ハ濠兵院條例第八條各號ノ事實ヲ調査シ身元明細書(第二號)及意見書ヲ作り前條ノ書類ニ添附シテ地方長官ニ差出スヘシ

第四條 地方長官ハ前條ノ書類及各種ノ事實ニ依リ救護ノ必要ノ多少ヲ決シ所管内居住者ヲ通シテ入院志願者連名簿(第三號)ヲ作り願書其ノ他ノ書類ト共ニ師團長ニ送付スヘシ

第五條 師團長前條ノ書類ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ入院志願者ノ收容順序名簿ヲ調製シ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ收容定員内ニ於テ順次入院ヲ許可シ地方長官ヲ經テ本人ニ通達スヘシ



第六條 地方長官ハ市町村長ヲシテ常ニ入院志願者ノ生活ノ狀況ヲ調査セシメ收容順序ニ變更ヲ要スル者アルトキハ事由ヲ具シ師團長ニ通報スベシ

第七條 入院願出期日以後ニ於テ救護ノ事由ヲ生シ市町村長ニ於テ臨時收容ノ必要アリト認メタル者アルトキハ第三條及第四條ノ書類ヲ具シ地方長官ヲ經テ師團長ニ申出ヘシ

第八條 師團長第六條ノ通報又ハ前條ノ申出ヲ受ケタルトキハ調査ノ上收容順序名簿ニ所要ノ訂正補足ヲ爲スモノトス

第九條 廢兵院ニ收容セラレタル者ニシテ救護ヲ要セサルニ至リタル者アルトキハ市町村長ヨリ地方長官ヲ經テ師團長ニ通報スヘシ

第十條 廢兵院ニ收容シタル者自己ノ便宜ニ依リ退院シ又ハ廢兵院法第四條ニ依リ退院ヲ命シタルトキハ師團長ハ之ヲ本籍地地方長官ニ通報シ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第十一條 前諸條中町村長ヨリ地方長官ニ差出スヘキ書類ハ郡長ヲ經由スヘキモノトス

附則  
本令ハ明治三十九年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一書式(用紙美濃白紙)  
廢兵院入院願

廢兵院ニ入院致度御許可被成下度風給願書寫戶籍簿本相添奉願候也

府縣族籍職業

官(元何官何卒) 氏 名印

年月日

師團長宛

某 儀

年月日生

第二書式(用紙美濃白紙)

府縣族籍何某身元明細書

公務ニ基因スル症項	軍人恩給法第九條第何項(職團又ハ公務ニ基因ス)
恩給	退職又ハ免除恩給 何圓 增加恩給 何圓
資産	其ノ種類及收入一箇年見込額
勞務	從來ノ職業及之レヨリ得ル收入見込額
扶養義務者其ノ他數	扶養義務者身分職業及資産其ノ他扶養ニ干スル一切ノ事項
品	平常ノ品行犯罪及處刑ノ有無
其他生活ニ干スル全般ノ狀況	家族ノ人員年齢及其ノ職業 從來生活ノ狀況 其他救護ノ必要ヲ證明スルニ足ルヘキ一切ノ事項

右之通調査證明候也

府縣何(市)町(村)長 氏 名印

(備考) 本書式に必要ノ事項ハ裁判所警察署等ニ照會シ尙留者ニシテハ本籍市町村長ニ照會スルヲ要ス

第三書式

何府縣入院志願者連名簿

氏名	本籍地及住所	籍	要



備考

- 一 本連名簿ハ救護ノ必要ノ多少ニ依リ順次列記スヘシ
- 二 摘要欄ニハ職階ニ依リ負傷者ト職階以外ノ公務ニ基ク傷病者ト區別記入シ且順位ヲ定メタル理由ノ要領ヲ記入スヘシ

○陸軍省令第九號

癘兵院給與細則左ノ通定ム

明治三十九年八月六日

陸軍大臣寺内正毅

癘兵院給與細則

- 第一條 癘兵院條例第九條ノ入院及退院旅費ハ第一表ニ依ル  
前項旅費支給ノ方法ハ陸軍旅費規則ノ規定ニ依ル但シ不具癘疾ノ狀況ニ依リ三里以内ト雖モ旅費ヲ給スルコトヲ得
- 第二條 癘兵院條例第十條ノ手當ハ毎月二十五日之ヲ給ス但シ死亡又ハ退院スルトキハ其ノ際之ヲ給ス
- 第三條 前條手當ハ之ヲ支給スヘキ事由ノ期間一箇月ニ滿タサルトキハ日割ヲ以テ之ヲ支給ス但シ死亡シタルトキハ此限ニアラス  
前項日割計算ノ方法ハ其ノ月ノ現日數ニ依ル
- 第四條 癘兵院條例第十一條ノ糧食定額ハ一人ニツキ日額准士官以上ニ在リテハ五拾壹錢其ノ他ノ者ニ在リテハ三拾九錢トシ概算ヲ以テ之ヲ交付シ月次現食數ニ應シ定額ヲ以テ決算スヘシ
- 第五條 左ノ事項ニ對スル不食數ハ之ヲ實食數ニ算入スヘシ  
一 外出スルモノ

二 許可ヲ得テ歸郷スルモノ

三 炊爨ノ準備ヲ終リタル者

- 前項第一號第二號ニ該當スル糧食代金ハ之ヲ本人ニ給スルコトヲ得
- 第六條 癘兵院ニハ收容定員ニ應シ初度第二表ノ被服ヲ備附シ
- 第七條 癘兵院條例第十二條第二項ノ被服新調補修料定額ハ准士官以上ニ在リテハ月額四圓其ノ他ノ者ニ在リテハ二圓五拾錢トシ入院ノ月ハ全額ヲ交付シ退院若ハ死亡ノ月ハ之ヲ交付セ
- 第八條 癘兵院ニ收容シタル者ニハ第二表中所要ノ被服ヲ貸與ス但シ襟布靴下ハ之ヲ本人ニ給スルコトヲ得
- 第九條 癘兵院ニ收容シタル者退院スルトキハ第三表ノ時服一揃ヲ支給スルコトヲ得但シ其ノ微章ヲ除去スヘシ
- 第十條 癘兵院ニ收容シタル者死亡スルトキハ第三表ノ時服一揃ヲ殯殮ノ用ニ供ス
- 第十一條 癘兵院條例第十五條但書ニ依リ埋葬料ヲ支給スル場合ニ於テハ棺槨及覆布等ノ諸入費ハ埋葬料ノ内ヨリ支辨セシム
- 第十二條 糧食及被服ニ係ル給與ノ殘金ハ各其ノ費目ニ屬スル積立金ト爲シ便宜之ヲ使用スヘシ  
委任經理ニ屬スル廢物賣却代及損壞遺失等ノ補償金ハ各其ノ經理費ニ充ツヘシ

附則

本令ハ明治三十九年九月一日ヨリ之ヲ施行ス



第一表 陸軍兵入院旅費

官等	汽車費	船費	馬車賃	宿泊料	日當
准士官以上	實費	實費	參拾錢	壹圓五拾錢	壹圓
其ノ他ノ者	實費	實費	貳拾錢	壹圓	五拾錢

備考

- 一 汽車賃及船賃ノ實費ハ上長官以上ハ一等ノ士官及准士官ハ二等ノ其ノ他ハ三等ノ實金ニ依ル
- 二 附添人ヲ要シ且其ノ旅費ヲ自辨シ能ハサル者ハ市町村長ノ證明ニ依リ附添人往復ノ旅費ヲ増給ス其ノ額ハ汽車賃船賃ハ實費其ノ他ハ陸軍旅費規則第一表備入ノ額トス
- 三 三里以内ノモノニ給スル旅費ハ實費トス

第二表 貸與被服

院外被服						院内被服					
品目	貸與	員數	品目	貸與	員數	品目	貸與	員數	品目	貸與	員數
帽	-	-	頭巾	-	-	頭巾	-	-	頭巾	-	-
冬衣袴	二	二	單衣	二	二	單衣	二	二	單衣	二	二
夏衣袴	二	二	裕衣	二	二	裕衣	二	二	裕衣	二	二
外袴	-	-	綿入衣	二	二	綿入衣	二	二	綿入衣	二	二
襪	二	二	襪	二	二	襪	二	二	襪	二	二
冬襪袴下	二	二	帶	二	二	帶	二	二	帶	二	二
夏襪袴下	二	二	上靴	二	二	上靴	二	二	上靴	二	二
靴	二	二	下靴	二	二	下靴	二	二	下靴	二	二
靴	二	二	坐布	二	二	坐布	二	二	坐布	二	二

履具				
厚毛布	四組	包布	一組	綿入蒲團
敷布	一二組	枕	一組	蚊帳

備考

- 一 院外被服ハ准士官以上ハ其ノ官等ニ相當スル服制ニ依リ其ノ他ハ陸軍下士卒ノ軍服(緋ハ紺色トシ襟章及肩章ヲ除キ帽ハ屋簷ヲ緒銅製トス)ヲ用ユ
- 二 院內被服ハ和服トシ其ノ制式ハ師團長之ヲ定メ陸軍大臣ノ認可ヲ受クヘシ
- 三 師團長ハ不具履具ノ狀況ニ依リ本表被服ニ換フルニ他ノ被服ヲ以テシ且適宜増減スルコトヲ得
- 四 本表貸與ノ諸品ハ保存期限ヲ定メ實際ノ狀況ニ依リ換給スルモノトス

第二表

品目	被服	一揃	時	夏服
帽	-	-	冬	-
冬衣袴	-	-		-
夏衣袴	-	-		-
外袴	-	-		-
襪	-	-		-
冬襪袴下	-	-		-



夏	靴	靴	靴
靴	靴	靴	靴
靴	靴	靴	靴
靴	靴	靴	靴

備考  
 一 不具履ノ状況ニ依リ被服一揃ハ院內被服ヲ通用スルコトヲ得  
 二 履檢用ノ時服ハ院內被服ヲ代用スルコトヲ得

○海軍省令第四號

本年六月海軍省令第二號ハ之ヲ廢止ス

明治三十九年八月七日

海軍大臣齋藤實

〔參照〕

明治三十九年八月海軍省令第二號ハ明治三十七八年戰役ニ關シ賜ルヘキ行賞賜金ニ付テ海軍准士官以上候補生及文官等ニ交付スヘキ官衙ノ件ナリ

○海軍省令第五號

海軍豫備員條例施行細則中左ノ通改正ス

明治三十九年八月十一日

海軍大臣齋藤實

第八條中「誓約書(第三樣式)ノ次ニ」並身元證明書(第四樣式)ヲ加フ  
誓約書(第三樣式)ノ次ニ左ノ樣式ヲ加フ  
身元證明書(第四樣式)

身元證明書

本籍何府(縣)何郡(市)何區何町(村)何番地  
華士族平民

何 某

明治何年何月何日生

徵兵令第二十三條ニ依リ徵集編隊中  
徵兵令第二十三條ニ依リ徵集編隊中ノ處何年何月何日事故止ミ何年何月  
檢査ヲ受クヘキ者  
明治何年徵集ノ現役兵砲兵若ハ明治何年徵集ノ補充兵歩兵

一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナシ

一 破産又ハ家産分放ノ宣告ヲ受ケタルコトナシ

一 破産又ハ家産分放ノ宣告ヲ受ケタルモ復權ヲ得タリ

一 身代限ノ處分ヲ受ケタルコトナシ

一 身代限ノ處分ヲ受ケタルモ復權ノ辨償ヲ終ヘタリ

右之通相違無之候也

明治 年 月 日

市(區)町(村)某 氏 名印

○文部省令第十三號

明治十六年太政官布達第三十四號醫術開業試驗規則中左ノ通改正ス

明治三十九年八月一日

文部大臣牧野伸顯

第六條中後期試驗科目ノ部「第五產科學」ノ次ニ「第六衛生學(細菌學)ヲ加ヘ第六」ヲ第七ニ改ム



附則

本令ハ明治四十一年一月一日ヨリ施行ス

○文部省令第十四號

明治三十五年文部省令第九號實業學校教員養成規程中左ノ通改正ス

明治三十九年八月二十二日

文部大臣 牧野伸顯

第一條中「東京高等商業學校、東京高等工業學校」ヲ「官立實業專門學校」ニ改ム

〔參照〕

文部省令第九號實業學校教員養成規程(明治三十五年四月一日)抄録  
第一條 東京帝國大學農科大學本科若ハ農科、東京高等商業學校、東京高等工業學校、東京美術學校、商船學校及水産講習所ノ學生生徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事ス(キ者)並東京帝國大學農科大學附屬農林業教員養成所、東京高等商業學校附屬商業教員養成所及東京高等工業學校附屬工業教員養成所ノ生徒ニハ學資ヲ補助スルコトアル(シ) 補助ス(キ)金額ハ一箇月六圓以内トス  
但シ東京高等工業學校附屬工業教員養成所研究生ニ補助スル學資ハ六圓ヲ超過スルコトヲ得

○農商務省令第二十三號

明治三十八年農商務省令第十號遠洋漁船検査規程中左ノ通改正ス

明治三十九年八月十四日

農商務大臣 松岡 康毅

遞信大臣 山縣伊三郎

第十四條ニ左ノ但書及一項ヲ加フ

但シ總噸數二十噸未満ノ水製遠洋漁船ニ在リテハ單材肋骨ヲ用ウルコトヲ得

前項單材肋骨ニ蒸曲材ヲ用ウルトキハ其ノ寸法ハ第二號表ノ二ニ掲グルモノヨリ減スルコトヲ

得但シ此ノ場合ニ於テハ肋骨ノ心距ヲ適當ニ減スヘシ

第十八條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ内龍骨、龍骨及肋骨ニ柔材ヲ用ウルトキハ内龍骨、龍骨及力材ノ貫通敲釘ハ亞鉛鍍鐵敲釘ヲ使用スルモ妨ナシ

第二號表ノ次ニ左ノ第二號表ノ二ヲ加フ

第二號表ノ二

材 種	心 距	材	
		頂 材	單 材
材 種	心 距	規	規
10-11	11	3 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	2 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>
11-12	12	4	3
12-18	12	4 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	3 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>
18-14	18	4 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	3 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>
14-15	18	4 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	3 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>

○農商務省令第二十四號

明治三十四年農商務省令第五號肥料取締法施行規則中左ノ通改正ス

明治三十九年八月二十二日

農商務大臣 松岡康毅



第一條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前二項ノ免許ヲ受ケタル者ニシテ行商ヲ爲サムトスルトキハ行商鑑札ヲ受ケ之ヲ携帶スヘシ但シ雇人共ノ他ノ從業者ヲシテ行商ヲ爲サシムル場合ニ於テハ各之ヲ携帶セシムヘシ

第一條第三項中前二項ヲ第一項及第二項ニ改ム

第三條 左記ノ肥料並第四條ニ依リ地方長官ノ指定シタル肥料ヲ製造販賣シ又ハ輸入販賣スル者ハ保證票ヲ肥料ノ各容器又ハ各個ノ外部ニ附スヘシ

一 過燐酸石灰、重過燐酸石灰、沈澱燐酸石灰、硝酸鹽類、アンモニア鹽類、加里鹽類、其ノ他理化學的方法ニ依リ製造シタル肥料

二 骨粉、骨炭末、骨灰、肉粉、乾血、トーマス燐肥及特ニ粉碎シタル肥料

三 某種油粕、綿實油粕、胡麻油粕、荏油粕及落花生油粕

四 二種以上ノ肥料ヲ混合シテ製造シタル肥料

第三條ノ次ニ左ノ二條ヲ加フ

第三條ノ二 保證票ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 肥料ノ名稱

二 肥料百分中ノ主成分量

三 營業者ノ氏名住所及營業種別

前項第二號ノ主成分量ハ窒素ニ在リテハ全窒素及硝酸性又ハ「アンモニア」性窒素ノ量トシ、燐酸ニ在リテハ全燐酸水ニ溶解スル燐酸及枸橼酸「アンモニア」ニ溶解スル燐酸ノ量トス  
保證票ニハ第一項ニ規定シタル事項ノ外他ノ事項ヲ記載スルコトヲ得ス但シ商標及商號ハ此ノ

限ニ在ラス

第三條ノ三 前二條ノ規定ハ容器ヲ變更シ又ハ改造シテ肥料ヲ販賣スル者ニ之ヲ準用ス保證票喪失シ又ハ著シク毀損シタル場合亦同シ

第四條中前條第一項「トアルヲ」第二條ニ改ム

第五條 製造販賣又ハ販賣ヲ營業トスル者ハ各販賣所ニ帳簿ヲ備ヘ肥料ヲ製造シ譲受ケ又ハ譲渡ス毎ニ其ノ名稱、數量、價額、年月日及相手方ノ氏名住所ヲ記載スヘシ

前項ノ帳簿ハ之ニ最終ノ記載ヲ爲シタル日ヨリ二箇年間之ヲ保存スヘシ

第六條 製造販賣又ハ販賣ヲ營業トスル者ハ毎年一月三十一日迄ニ各販賣所ニ於テ前年中ニ販賣シタル肥料ノ名稱別ノ數量及價額ヲ其ノ販賣所所在地ノ地方長官ニ届出ヘシ

前項ノ届出ハ肥料ヲ製造又ハ輸入シテ販賣スル者ニ在リテハ其ノ製造又ハ輸入ニ係ルモノト否トヲ區分シテ之ヲ爲スヘシ

製造販賣者、販賣者其ノ營業ヲ廢止スルトキハ第二條ノ届出ト同時ニ第一項ノ事項ヲ届出ヘシ  
第七條第一項中「必要ナル肥料」ノ下ニ「又ハ其ノ原料」ノ六字ヲ加ヘ第二項中「採取シタル」ノ下「肥料」ハ二分シ之ヲ各別ノ「トアルヲ」肥料又ハ其ノ原料ハ之ヲ「ニ改ム

第十條 第一條第三項第四項、第二條ノ二、第三條第三條ノ二、第三條ノ三、第五條若ハ第六條ニ違背シタル者又ハ帳簿ノ検査ヲ拒ミタル者ハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條ノ次ニ左ノ一條ヲ加ヘ第十一條以下順次繰下ク

第十一條 保證票ニ虛偽ノ記載ヲ爲シタル者又ハ他人ノ保證票若ハ他人ノ保證票ヲ有スル容器ナルコトヲ知テ之ヲ他ノ肥料ニ使用シタル者ハ二十五圓以下ノ重禁錮又ハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス



〔參照〕

農商務省令第五號肥料取締法施行規則(明治三十四年五月二十一日)抄録

第一條第三項

第三條 左ノ肥料ヲ製造販賣シ又ハ輸入販賣スル者ハ保證票ニ肥料ノ名稱肥料百分中ノ主成分量及自己ノ氏名、住所ヲ記シ之ヲ肥料ノ各容器又ハ各箇ニ附スヘシ

一 過燐酸石灰、重過燐酸石灰、沈澱燐酸石灰、磷酸鹽類、アンモニヤ鹽類、加里鹽類其他化學的方法ニ依リ製造シタル肥料

二 骨粉、骨炭末、骨灰、肉粉、血粉、トーマス、糞肥其他特ニ粉碎シタル肥料

三 菜種油精及口綿實油精

四 前各號ノ肥料ヲ調合シ又ハ之ヲ以テ主タル材料トシタル肥料

前項ノ規定ハ各容器ヲ變更又ハ改造シテ肥料ヲ販賣スル者ニ之ヲ適用ス保證票喪失シ又ハ著シク毀損シタル場合亦同シ主成分量ハ保證票ニ在リテハ全量及口綿實性又ハ「アンモニヤ」性保證票ノ量トシ燐酸ニ在リテハ全燐酸水ニ溶解スル燐酸及口綿實「アンモニヤ」ニ溶解スル燐酸ノ量トス

第四條 前條第一項ニ掲ケタル肥料ト雖モ保證票ヲ附セシムルノ必要アリト認メタルトキハ地方長官ハ農商務大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ指定スルコトヲ得

第五條 製造販賣又ハ販賣ヲ營業トスル者ハ各販賣所ニ帳簿ヲ備ヘ肥料ヲ釀液スルニ其名稱、數量及口知レタル相手方ノ氏名住所ヲ記載スヘシ

前項ノ帳簿ハ之ニ最終ノ記載ヲ爲シタル日ヨリ二年間之ヲ保存スヘシ

第六條 製造販賣又ハ輸入販賣ヲ營業トスル者ハ毎年一月三十一日マテニ各販賣所ニ於テ前年中ニ販賣シタル肥料ノ種類別ノ數量及口價額ヲ其販賣所所在地ノ地方長官ニ届出ヘシ

第七條 検査ノ爲メ必要ナル肥料ヲ採取セントスルトキハ製造販賣者又ハ販賣者ノ立會ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

採取シタル肥料ハ二分シ之ヲ各別ノ容器ニ密封シ之ニ肥料ノ名稱、製造販賣者又ハ販賣者ノ氏名、採取ノ年月日及口場所ヲ記載シ官吏及口立會人ノ之ニ署名封印スヘシ

第十條 第一條第三項、第一條ノ二、第二條、第三條第五條若クハ第六條ニ違背シタル者又ハ帳簿ノ検査ヲ拒ミタル者ハ二箇以上二十五箇以下ノ罰金ニ處ス

地方長官第四條ニ依リ保證票ヲ附スヘキ肥料ヲ指定シタル場合ニ於テ保證票ヲ附セスシテ之ヲ販賣シタル者亦同シ

○遞信省令第四十二號

明治三十七年五月五遞信省令第三十七號第一項中「特ニ指定シタル郵便局所」トアルヲ「特ニ指定シタル普通郵便局所及野戰郵便局所」ト改ム

本令ハ明治三十九年八月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年八月十七日

遞信大臣山縣伊三郎

〔參照〕

遞信省令第三十七號(明治三十七年五月九日)抄録

特ニ指定シタル郵便局所ニ於テ軍人軍屬ノ届出ス通常爲替ニ對シテハ其料金を徴收セス

○遞信省令第四十三號

滿洲及樺太ニ設置シタル郵便局所ト其ノ以外ノ各郵便局所トノ間ニ取組ム電信爲替料金を在韓國各郵便局所ト其ノ以外ノ各郵便局所トノ間ニ取組ム電信爲替料金を同一ノ割合ニ依ル但シ在滿洲各郵便局所相互間及在樺太各郵便局所相互間並に在滿洲各郵便局所ト在韓國各郵便局所トノ間ニ取組ム電信爲替料金を郵便爲替規則第三條ノ規定ニ依ル

本令ハ明治三十九年八月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年八月十七日

遞信大臣山縣伊三郎

○遞信省令第四十四號

明治三十五年ハ遞信省令第三十六號電氣事業取締規則中左ノ通改正ス

本令ハ明治三十九年九月一日ヨリ施行ス

明治三十九年八月二十三日

遞信大臣山縣伊三郎



第二十二條ノ二ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ  
 第二十二條ノ三 第一條第一號及第二號ノ電氣事業者タル會社カ合併セムトスルトキ又ハ其ノ電氣事業者タル會社ヲ解散シテ其ノ以外ノ會社ト合併セムトスルトキハ第二十二條第一項及第二項ノ規定ヲ準用ス  
 第一條第三號ノ電氣事業者タル會社カ合併シタルトキ又ハ其ノ電氣事業者タル會社ヲ解散シテ其ノ以外ノ會社ト合併シタルトキハ第二十一條第三項ノ規定ヲ準用ス  
 合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ハ合併ニ因リテ消滅シタル會社カ此ノ規則ニ依リ有スル權利義務ヲ承繼ス  
 第一百十一條中「讓受ケタル者」ノ下ニ「又ハ第二十二條ノ三ニ依リ認可ヲ得シテ合併シタル者」及「其ノ電氣事業ヲ承繼シタル者」ノ二十九字ヲ加フ  
 第一百十二條第一號中「第二十二條ノ二」ノ下ニ「第二十二條ノ三」ノ七字ヲ加フ

〔參照〕

逓信省令第三十六號電氣事業取締規則(明治三十五年八月二十二日)抄録  
 第一百十一條 第十條ニ依リ許可ヲ得ス者ハ第十三條第十六條第十七條第十八條第二十條ニ依リ認可ヲ得シテ其ノ認可ヲ受ケハキ工事ニ着手シタル者又ハ第二十一條ニ依リ認可ヲ得シテ電氣事業ヲ讓渡シタル者及讓受ケタル者又ハ第三十七條第七十條第八十五條ノ規定ニ違反シタル者ハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス  
 第一百十二條 左ニ掲ケル者ハ一圓九十五圓以下ノ罰金ニ處ス  
 一 第十二條第十六條第十七條第十九條第二十條第二十一條第二十二條ノ二 第二十三條第二十四條第二十五條第二十六條第二十七條第三十三條第三十八條ノ届出ヲ爲ササル者

○外務省令第四號

明治三十三年<sup>六</sup>外務省令第二號外國旅券規則第二條第三項ノ次ニ左ノ二項ヲ追加ス

附 則

本令ハ明治三十九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年九月二十九日

外務大臣子爵林董

韓國臣民ニ對スル旅券ノ下付及查證ハ本令ノ規定ニ依ル但シ内國ニ於テハ北海道廳、東京府、京都府、大阪府、神奈川縣、兵庫縣、長崎縣、新潟縣及福井縣以外ノ地方上級行政廳ニ對シテハ旅券ノ下付ヲ出願スルコトヲ得ス  
 前項出願ノ場合ニ於テハ戶籍謄本ノ添附並本籍地及族稱ノ記載ヲ要セス

○内務省令第二十七號

醫師法施行規則左ノ通定ス

明治三十九年九月三日

内務大臣原敬

醫師法施行規則  
 第一條 醫師免許ヲ受ケムトスル者ハ醫師法第一條第一項又ハ第十三條第二項規定ノ資格並住所氏名ヲ記載シタル申請書ニ戶籍謄本ヲ添ヘ住所地方長官ヲ經由シ内務大臣ニ提出スヘシ  
 内務大臣ハ免許ヲ與フルトキハ醫籍ニ登錄シ醫師免許證ヲ下付ス  
 第二條 醫籍ニ登錄スヘキ事項左ノ如シ  
 一 登錄番號及登錄年月日  
 二 族籍(外國人ナルトキハ其ノ國籍)氏名、生年月日及女子ナルトキハ其ノ旨



三 醫師法第一條第一項又ハ第十三條第二項規定ノ資格及資格ヲ取得シタル年月  
 四 免許ノ取消醫業ノ停止其ノ事由期間及年月日  
 五 免許證ノ再下付其ノ事由及年月日  
 六 抹消ノ事由及年月日  
 第三條 醫師前條第二號ノ登錄事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ免許證ヲ添ヘ三十日  
 以內ニ住所地ノ地方長官ヲ經由シ內務大臣ニ醫籍ノ訂正ヲ申請スヘシ  
 前條第三號ノ登錄事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ免許證ヲ添ヘ住所地ノ地方長官  
 ヲ經由シ內務大臣ニ醫籍ノ訂正ヲ申請スルコトヲ得  
 前二項ノ場合ニ於テハ免許證ヲ書換ヘ下付ス  
 第四條 醫師免許證ヲ毀損亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ三十日以內ニ住所地ノ地方長官ヲ經  
 由シ內務大臣ニ再下付ヲ申請スヘシ  
 前項免許證ノ再下付ヲ申請スル者ハ手数料金壹圓ヲ納付スヘシ  
 亡失シタル免許證ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ其ノ地ノ地方長官ニ提出スヘシ  
 第五條 第一條、第三條及第四條ノ申請ヲ爲ス者ハ登錄稅又ハ手数料ニ相當スル收入印紙ヲ申請  
 書ニ貼用スヘシ  
 既ニ納付シタル登錄稅又ハ手数料ハ之ヲ還付セス  
 第六條 醫師醫籍登錄ノ抹消ヲ申請セムトスルトキハ住所地ノ地方長官ヲ經由シ免許證ヲ內務大  
 臣ニ返納スヘシ  
 醫師失跡ノ宣告ヲ受ケ又ハ死亡シタルトキハ戶籍法ニ依ル居出義務者ヨリ三十日以內ニ前項ノ

手續ヲ爲スヘシ  
 第七條 醫師其ノ住所ヲ變更シタルトキハ十日以內ニ地方長官ニ届出ヘシ其ノ移轉ニ依リ管轄地  
 方廳ヲ異ニシタルトキハ新舊兩地ノ地方長官ニ届出ヘシ  
 第八條 醫師自己又ハ他人ノ診察所、治療所若ハ其ノ出張所ニ於テ醫業ヲ開始シタルトキハ十日  
 以內ニ所在地ノ地方長官ニ届出ヘシ其ノ之ヲ休止シ廢止シ又ハ診察治療ノ場所ニ異動ヲ生シタ  
 ルトキ亦同シ但シ其ノ異動ニ依リ管轄地方廳ヲ異ニシタルトキハ新舊兩地ノ地方長官ニ届出ヘ  
 官立又ハ公立ノ病院ニ於テ診察治療ニ從事スル場合ハ前項ニ依ルノ限ニ在ラス  
 診察所又ハ治療所ト稱スルハ公衆ノ需ニ應ジ診察又ハ治療ヲ爲ス場所ヲ謂フ  
 第九條 醫師死體又ハ四箇月以上ノ死産兒ヲ檢案シ異常アリト認ムルトキハ二十四時間以內ニ所  
 轄警察官署ニ届出ヘシ  
 第十條 醫師其ノ診察治療スル患者ニ自ラ藥劑ヲ交付スルトキハ容器又ハ包紙ニ其ノ用法患者ノ  
 氏名及診察所、治療所ノ名稱又ハ自己ノ氏名ヲ明記スヘシ  
 第十一條 地方長官ハ醫師法第十條ノ處分ヲ必要ト認ムルトキハ內務大臣ニ具申スヘシ  
 第十二條 醫師法第十條ニ依リ免許取消處分ヲ受ケタル者ハ五日以內ニ住所地ノ地方長官ヲ經由  
 シ免許證ヲ內務大臣ニ返納スヘシ  
 第十三條 醫師法第十條ニ依リ停止處分ヲ受ケタル者ハ五日以內ニ免許證ヲ住所地ノ地方長官ニ  
 提出スヘシ  
 前項ノ場合ニ於テ地方長官ハ其ノ要旨ヲ免許證ニ裏書シ捺印ノ上領置シ期間滿了ノ後、之ヲ還付



スヘシ

第十四條 左ニ掲クル場合ニ於テハ族籍 氏名 事由共ノ他必要ト認ムル事項ヲ官報ニ公告ス

一 醫籍ニ登録シ又ハ抹消シタルトキ

一 免許證再下付ノトキ

一 醫師法第十條ノ處分ヲ爲シタルトキ

第十五條 第三條第一項 第四條第一項 第三項 第六條第二項 第七條及第八條第一項ニ違背シタル者ハ拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第十六條 第九條 第十條 第十二條及第十三條第一項ニ違背シタル者ハ貳拾五圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本則ハ明治三十九年法律第四十七號醫師法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○內務省令第二十八號

齒科醫師法施行規則左ノ通定ム

明治三十九年九月三日

內務大臣原敬

齒科醫師法施行規則

第一條 齒科醫師免許ヲ受ケムトスル者ハ齒科醫師法第一條規定ノ資格並住所氏名ヲ記載シタル申請書ニ戸籍謄本ヲ添ヘ住所地方長官ヲ經由シ內務大臣ニ提出スヘシ

內務大臣ハ免許ヲ與フルトキハ齒科醫籍ニ登録シ齒科醫師免許證ヲ下付ス

第二條 齒科醫籍ニ登録スヘキ事項左ノ如シ

一 登録番號及登録年月日

二 族籍(外國人ナルトキハ其ノ國籍) 氏名 生年月日及女子ナルトキハ其ノ旨

三 齒科醫師法第一條規定ノ資格及資格ヲ取得シタル年月

四 免許ノ取消 齒科醫業ノ停止 其ノ事由 期間及年月日

五 免許證ノ再下付 其ノ事由及年月日

六 抹消ノ事由及年月日

第三條 齒科醫師前條第二號ノ登録事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ免許證ヲ添ヘ三十日以内ニ住所地方長官ヲ經由シ內務大臣ニ齒科醫籍ノ訂正ヲ申請スヘシ

前條第三號ノ登録事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ免許證ヲ添ヘ住所地方長官ヲ經由シ內務大臣ニ齒科醫籍ノ訂正ヲ申請スルコトヲ得

第四條 齒科醫師免許證ヲ毀損亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ三十日以内ニ住所地方長官ヲ經由シ內務大臣ニ再下付ヲ申請スヘシ

前項免許證ノ再下付ヲ申請スル者ハ手数料金壹圓ヲ納付スヘシ

亡失シタル免許證ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ其ノ地方長官ニ提出スヘシ

第五條 第一條 第三條及第四條ノ申請ヲ爲ス者ハ登録税又ハ手数料ニ相當スル收入印紙ヲ申請書ニ貼用スヘシ

既ニ納付シタル登録税又ハ手数料ハ之ヲ還付セス

第六條 齒科醫師齒科醫籍登録ノ抹消ヲ申請セムトスルトキハ住所地方長官ヲ經由シ免許證



ヲ内務大臣ニ返納スヘシ

齒科醫師失踪ノ宣告ヲ受ケ又ハ死亡シタルトキハ戶籍法ニ依ル届出義務者ヨリ三十日以内ニ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 齒科醫師其ノ住所ヲ變更シタルトキハ十日以内ニ住所地ノ地方長官ニ届出ヘシ其ノ移轉ニ依リ管轄地方廳ヲ異ニシタルトキハ新舊兩地ノ地方長官ニ届出ヘシ

第八條 齒科醫師自己又ハ他人ノ診察所、治療所若ハ其ノ出張所ニ於テ齒科醫業ヲ開始シタルトキハ十日以内ニ所在地ノ地方長官ニ届出ヘシ其ノ之ヲ休止シ廢止シ又ハ診察治療ノ場所ニ異動ヲ生シタルトキ亦同シ但シ其ノ異動ニ依リ管轄地方廳ヲ異ニシタルトキハ新舊兩地ノ地方長官ニ届出ヘシ

官立又ハ公立ノ病院ニ於テ診察治療ニ従事スル場合ハ前項ニ依ルノ限ニ在ラス  
診察所又ハ治療所ト稱スルハ公衆ノ需ニ應ジ診察又ハ治療ヲ爲ス場所ヲ謂フ

第九條 齒科醫師其ノ診察治療スル患者ニ自ラ藥劑ヲ交付スルトキハ容器又ハ包紙ニ其ノ用法忠告ノ氏名及診察所、治療所ノ名稱又ハ自己ノ氏名ヲ明記スヘシ

第十條 地方長官ハ齒科醫師法第十條ノ處分ヲ必要ト認ムルトキハ内務大臣ニ具申スヘシ

第十一條 齒科醫師法第十條ニ依リ免許取消處分ヲ受ケタル者ハ五日以内ニ住所地ノ地方長官ヲ經由シ免許證ヲ内務大臣ニ返納スヘシ

第十二條 齒科醫師法第十條ニ依リ停止處分ヲ受ケタル者ハ五日以内ニ免許證ヲ住所地ノ地方長官ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ地方長官ハ其ノ要旨ヲ免許證ニ裏書シ捺印ノ上領證シ期間滿了ノ後之ヲ還付

スヘシ

第十三條 左ニ掲ケル場合ニ於テ族籍、氏名、事由其ノ他必要ト認ムル事項ヲ官報ニ公告ス

一 齒科醫師ニ登録シ又ハ抹消シタルトキ

一 免許證再下付ノトキ

一 齒科醫師法第十條ノ處分ヲ爲シタルトキ

第十四條 第三條第一項、第四條第一項、第六條第二項、第七條及第八條第一項ニ違背シタル者ハ拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 第九條、第十一條及第十二條第一項ニ違背シタル者ハ貳拾五圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本則ハ明治三十九年法律第四十八號齒科醫師法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○内務省令第二十九號

治安警察法第十八條ニ依リ戎器其ノ他ノ物件攜帶禁止ノ件左ノ通り之ヲ定ム

明治三十九年九月十八日

内務大臣原敬

坑夫、工夫、土方、仲仕及之等ヲ使用スル者竝ニ土木工事請負人ハ左ノ地域内ニ於テ戎器爆發物又ハ戎器ヲ仕込ミタル物件ヲ攜帶スルコトヲ得ス但シ職業ノ爲メ爆發物ヲ攜帶スルハ此ノ限ニ在ラス  
熊本縣玉名郡ノ内長洲町、腹赤村、六榮村、八幡村、府木村、清里村、有明村、平井村、荒尾村

○内務省令第三十號

明治三十九年勅令第二百四十四號第一條第一號ニ依リ左記外國ヲ指定ス

明治三十九年九月二十七日

内務大臣原敬

大不列顛國



○大藏省令第三十八號

大日本帝國政府五分利公債證書ノ舊様式ニ依ル證券(其附ノモ)ヲ所有スル者ハ新様式證券トノ引換ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ國債規則第八條ノ規定ニ準シ鋼製シタル書面ヲ以テ之ヲ取扱店(記名證券ナルト)ニ請求シ追テ取扱店ノ通知ヲ得テ原證券ヲ提出シ之ト引換ニ新證券ヲ受取ルヘシ

前項引換ノ請求ヲ爲シタル後原證券ヲ他人ニ讓渡シ又ハ滅失若ハ紛失シタルトキハ直ニ其旨ヲ取扱店ニ届出ツヘシ

國債規則第十條ノ規定ハ本令ノ規定ニ依ル證券ノ引換ニ之ヲ準用ス

明治三十九年九月十二日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

○大藏省令第三十九號

明治三十四年五月大藏省令第六號有價證券移送保管指定金庫中函館本金庫及札幌本金庫ヲ删除シ名古屋本金庫ノ次位ニ小樽本金庫ヲ廣島本金庫ノ次位ニ函館支金庫ヲ挿入ス

明治三十九年九月十四日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

○大藏省令第四十號

鹽回送賣渡規則左ノ通相定ム

明治三十九年九月十五日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

鹽回送賣渡規則

第一條 鹽務局ハ他ノ鹽務局管内ニ於テ產出スル鹽ノ賣渡ヲ受ケムトスル者ノ請求ニ依リ其ノ指定シタル地ニ鹽產地鹽務局ヨリ鹽ノ回送ヲ受ケテ之ヲ賣渡スヘシ

前項ノ場合ニ於テ鹽ノ回送ニ要スル費用及鹽ノ運搬上通常生スヘキ減耗毀損等ノ損害ハ賣渡請求者ノ負擔トス

第二條 鹽ノ回送賣渡ハ一回四千斤以上トス但シ鹽務局ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ其ノ制限ニ據ラサルコトヲ得

第三條 鹽ノ回送賣渡ヲ受ケムトスル者ハ鹽ノ產地、等級、數量及回送先ヲ記載シタル鹽回送賣渡請求書ヲ回送先所轄鹽務局ニ提出スヘシ

第四條 前條ノ請求アリタルトキハ鹽務局ハ鹽ノ回送賣渡請求者ニ鹽代金及回送費納入告知書ヲ交付シ之ヲ納入セシムヘシ

鹽ノ回送賣渡請求者ハ鹽代金及回送費ニ相當スル擔保物ヲ提供シ賣渡請求ノ日ヨリ三箇月以内又ハ回送鹽引取ノ際マテ其ノ延納ヲ請求スルコトヲ得

常時鹽ノ回送賣渡ヲ請求スル者ハ豫メ擔保ヲ提供シ其ノ擔保物ノ價額ニ達スルマテ鹽代金及回送費ノ延納ヲ請求スルコトヲ得

第五條 回送鹽到着シタルトキハ鹽務局ハ引渡スヘキ日時及場所ヲ定メテ之ヲ回送賣渡請求者ニ通知シ鹽ノ引渡ヲ爲スヘシ

第六條 鹽專賣法施行細則第三十六條ハ本令ニ依リ提供スヘキ擔保物ニ之ヲ適用ス

附則

本令ハ明治三十九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

○大藏省令第四十一號

印紙稅法第六條ニ依リ稅印押捺ヲ受ケタル用紙ニシテ證書又ハ帳簿調製完了前損傷又ハ汚染シタ



ルモノアルトキハ一口十枚以上ニ限リ代用紙ヲ提出シテ更ニ税印ノ押捺ヲ請求スルコトヲ得但シ損傷又ハ汚染用紙ノ税印ノ抹消ヲ受クヘシ

明治三十九年九月二十日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

○大藏省令第四十二號

國債規則中左ノ通改正ス

明治三十九年九月二十日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

國債規則第十條ヲ左ノ如ク改ム

第十條 汚染又ハ毀損シタル國債證券ノ引換ヲ請求スル場合ニ於テ原證券ノ附屬利札中未タ利子仕拂期ノ開始セサルモノ一枚又ハ二枚以上欠缺セルトキハ其ノ欠缺利札ニ於ケル利子金額ニ相當スル現金ヲ取扱店ニ納付スヘシ

〔參照〕

大藏省令第二十三號國債規則(明治三十九年五月二十九日)抄録

第十條 汚染又ハ毀損シタル國債證券ト引換ノ爲交付スル代證券ノ附屬利札ハ現ニ存在スル原證券ノ附屬利札ニ從ヒ之ヲ

○大藏省令第四十三號

明治三十三年大藏省令第十五號中左ノ通改正シ明治三十九年十月一日ヨリ施行ス

明治三十九年九月二十二日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

第二條中〔附屬輸入税表第二百十五號乃至第二百二十四號及第二百四十號乃至第二百五十九號〕ヲ輸入税表第三百六十七號乃至第三百七十二號、第三百七十七號、第三百八十號、第三百八十一號、第三百八十八號乃至第三百九十號、第三百九十四號及第三百九十五號ニ改ム

○大藏省令第四十四號

關稅定率法第七條第十六號ニ依リ輸入税ヲ免除セラレヘキ輸出貨物ノ容器左ノ通指定ス  
本令ハ明治三十九年十月一日ヨリ施行ス

明治三十九年九月二十六日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

一 礮水壘

二 麥酒樽及麥酒壘

三 硫酸壘及硫酸罐

○大藏省令第四十五號

明治三十五年大藏省令第十七號中左ノ通改正シ明治三十九年十月一日ヨリ施行ス

明治三十九年九月二十七日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

〔稅關及稅關支署構外検査特許手数料〕ヲ〔稅關ニ於テ定メタル場所以外ニ於ケル検査特許手数料〕ニ改ム

○陸軍省令第十號

陸軍召募規則中左ノ通改正ス

明治三十九年九月一日

陸軍大臣寺内正毅

第八十三條中〔送付スヘシ〕ヲ〔送付シ師團獸醫部長ハ之ヲ審査シ成ルヘク速ニ陸軍省軍務局長ニ差出スヘシ〕ニ改ム

第八十八條第八十九條第九十一條及第九十四條中〔大學總長〕ノ下ニ〔又ハ當該學校長〕ヲ加フ



第九十條中「帝國大學」ノ下ニ「又ハ當該學校」ヲ加フ

〔參照〕

陸軍省令第三十四號陸軍召集規則(明治三十二年十一月十五日)抄録  
 第八十三條 一年志願兵中歐醫生ニシテ見習歐醫官ヲ志願スル者ハ第八條ニ定ムル願書其ノ他ノ書類ニ歐醫免狀寫ツ添ヘ六月十日迄ニ隊長ニ提出シ隊長ハ之ヲ調査シ六月十五日迄ニ師團歐醫部長ニ送付スヘシ  
 第八十八條 歐醫部依託學生 同依託生徒ノ要員ハ陸軍省軍務局長之ヲ帝國大學總長ニ通牒シ志願者ヲ召募スルモノトス  
 第八十九條 志願者ハ第八條ニ定ムル願書其ノ他ノ書類ヲ帝國大學總長ヲ經テ陸軍省軍務局長ニ提出シ軍務局長ハ本人ノ學力品行等ヲ審査シ且陸軍部附屬軍隊ノ身體検査ヲ受ケシメ其ノ成績ニ依リ採用スヘキ者ト否トヲ定メ帝國大學總長ヲ經テ之ヲ本人ニ通知シ其ノ採用スヘキ者ニハ依託學生若クハ依託生徒ヲ命スヘシ  
 前項ノ身體検査ハ軍務局長ヨリ豫メ該部隊長ニ照會シ之ヲ行ハシムヘシ  
 第九十條 依託學生及依託生徒ハ帝國大學ノ規程ニ從ヒ修學セシム  
 第九十一條 依託學生及依託生徒修學中ハ情願ヲ以テ依託學生又ハ依託生徒ヲ辭スルヲ許サス其ノ成業ノ目途ナキ者及品行不正業業懈怠者クハ規則違犯等ノ故ヲ以テ帝國大學總長ニ於テ退學ノ處分ヲ爲スヘキ者又ハ傷疾疾病ノ爲メ休學六箇月以上ニ至リ仍ホ治療ノ見込ナキ者アルトキハ陸軍省軍務局長ハ帝國大學總長ノ通知ヲ受ケ依託學生若クハ依託生徒ヲ免スヘシ  
 第九十四條 依託學生及依託生徒其ノ課程ヲ卒ヘ卒業試験ヲ終リタルトキハ陸軍省軍務局長ハ帝國大學總長ヨリ其ノ試験成績ニ關スル通知ヲ受ケ之ニ見習歐醫官ヲ命スヘシ

○海軍省令第六號 旅順港規則左ノ通定ム

明治三十九年九月二十九日

海軍大臣齋藤實

旅順港規則

第一條 旅順港ノ水域ハ之ヲ三區ニ分チ別圖點一線以內ヲ第一區ト稱シ第一區以外點一線以內ヲ第二區ト稱シ第一區第二區以外ヲ總テ第三區トス

第二條 旅順港ニ入ラントスル艦船ハ旅順港水域外約三海里ノ所ヨリ投錨若ハ繫止スル地點迄萬國船舶信號ニ依リ各自ノ艦船名ヲ表示スヘシ但シ鎮守府司令長官其ノ必要ナシト認メ共ノ旨豫メ通知シタルモノハ此ノ限ニアラス

第三條 旅順港水域及其ノ以外約三海里以內ノ水面ニ繫泊シ若ハ運航スル艦船ハ特別ノ規定アルモノノ外其ノ國籍ヲ表明スル旗章ヲ掲揚スヘシ

第四條 旅順港水域及其ノ以外約三海里以內ノ水面ニ繫泊シ若ハ運航スル艦船ハ日没ヨリ日出マテ海上衝突豫防ニ關スル法令ニ規定シタル各種ノ船燈ヲ掲クヘシ

第五條 内外各地ヨリ入港スル艦船ニシテ海港檢疫法第四條第一項ノ各號ニ該當スル場合ニ於テ檢疫又ハ消毒ヲ終ラサルモノハ鎮守府司令長官ノ許可ヲ得ルニアラサレハ第一區第二區ニ入ルコトヲ許サス又第一區第二區ニ於テ傳染病患者ヲ發シタル艦船ハ檢疫信號ヲ掲ケテ鎮守府司令長官ノ指揮ヲ待ツヘシ

第六條 第三區ニ於テハ航路ノ妨トナラサル限ハ艦船自由ニ碇泊スルコトヲ得但シ爆發物若ハ燃焼シ易キ物件ヲ積載スル艦船ハ港務部長特ニ其ノ碇地ヲ指示スルコトアルヘシ

第七條 第一區第二區ニハ海軍所屬艦船ノ外ハ鎮守府司令長官ノ許可ナクシテ入ルコトヲ許サス排水噸數十五噸以上ノ海軍所屬艦船第一區ニ入ラントスルトキハ鎮守府司令長官ノ許可ヲ受クヘシ

第八條 第一區第二區ニ於テハ艦船ノ進退ハ排水噸數十五噸以下ノ船舟ヲ除クノ外總テ港務部長ノ指示ニ從フヘシ但シ天災其ノ他不時ノ事故ニ依リ其ノ指示ヲ待ツ能ハサル場合ニハ此ノ限ニ



アラス

第九條 外國ノ艦船ハ特別ノ事由アルニアラサレハ夜中旅順港水域ニ入ルコトヲ許サス

第十條 鎮守府司令長官ハ必要ナル場合ニハ在港艦船ニ錨地ノ變換若ハ退去ヲ命スルコトヲ得

第十一條 鎮守府司令長官ハ第一區ニ入り又ハ入ラントスル艦船ノ積載物中危險ト認ムルモノアルトキハ之ヲ卸サシムルコトヲ得

第十二條 凡テ艦船ハ鎮守府司令長官ノ特許アルモノノ外火藥庫ヲ距ル百三十間以内ニ入ルコトヲ禁ス汽罐熱火中ノ小蒸汽船其ノ他火氣ヲ有スル一切ノ船舟亦同シ

第十三條 旅順港水域内ニ於テハ禮砲號砲及鎮守府司令長官ノ許可ヲ得タルモノノ外火器若ハ爆發物ノ發射發火ヲ禁ス但シ公私ノ家屋建造物ヲ距ルコト七十五間以内ニ於テハ禮砲號砲ト雖特ニ鎮守府司令長官ノ許可ヲ得ルニアラサレハ一切發射發火ヲ爲スコトヲ許サス

第十四條 第一區第二區及別圖點三線以内ノ第三區海面ニ於テハ鎮守府司令長官ノ特許ヲ得スシテ漁獵採藻ヲナスヘカラス

第十五條 第一區第二區及其ノ海岸並ニ注入スル水流ニハ鎮守府司令長官ノ許可ヲ得ルニアラサレハ一切ノ物件ヲ委棄スルコトヲ禁ス

鎮守府司令長官ハ必要アリト認ムルトキハ第三區及其ノ海岸ニ物件ノ委棄ヲ禁シ臨時委棄ノ場所ヲ指示スルコトヲ得

艦船若シ其ノ委棄スヘキモノヲ自ラ處分スルコト能ハサルトキハ港務部ニ其ノ處分ヲ請求スヘ

第十六條 鎮守府司令長官ハ旅順港水域内ニ於ケル有害ナル難破物委棄物若ハ其ノ他ノ物件ハ原因ノ如何ニ關セス其ノ義務者ヲシテ之ヲ指定ノ期限内ニ除去セシムルコトヲ得其ノ義務者之ヲ除去セサルトキ若ハ指定ノ期限内ニ終了スル見込ナキトキハ鎮守府司令長官ハ自ラ之ヲ除去若ハ破壊シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ除去若ハ破壊セシメ其ノ費用ヲ義務者ヨリ徴收スルコトヲ得

其ノ義務者不明ナルトキハ鎮守府司令長官ハ之ヲ除去若ハ破壊スルコトヲ得

第十七條 旅順港水域内ノ山林原野ニ於テハ濫リニ焚火スヘカラス

第十八條 旅順港水域内ニ於テ左ニ掲グル諸項ノ新營若ハ變更ヲナサントスルモノアルトキハ民政長官ハ鎮守府司令長官ニ協議シテ之ヲ處理スヘシ

一 棧橋ノ架設、埠頭ノ築造

二 河床ノ變更、河川海面ノ埋立浚渫、海岸ノ掘鑿、海岸ニ於ケル石垣ノ築造

三 道路、河溝、渠、隧道ノ開通、橋梁、鐵道ノ架設

四 山岡地盤ノ掘鑿

五 森林ノ伐採

六 旅順港ノ水域内ニ發著スヘキ海運ノ營業

七 浮標立標其ノ他航路標識ノ設置

八 第一區第二區ノ沿岸ニシテ水面若ハ海軍用地ヲ距ル七百五十間以内ニ於ケル家屋倉庫及諸



般ノ築造物ノ新築

第十九條 鎮守府司令長官ノ許可ヲ得スシテ旅順港境域内水陸ノ形状ヲ測量、撮影、模寫、録取シ又ハ地理案内等ノ圖書ヲ發行スルヲ禁ス但シ艦船運航ノ際行船ニ必要ナル錐測ハ此ノ限ニアラス

第二十條 前條ノ禁制ハ海軍用地及水域外ニ於テ陸軍官憲ノ施行スルモノニ適用セス

第二十一條 鎮守府司令長官ハ旅順港境域内ニ於テ兵備ノ狀況其ノ他地形等ヲ視察スル者ト認メタルトキハ之ニ旅順港境域外ニ退去ヲ命スルコトヲ得

第二十二條 民政長官ハ旅順港境域内衛生ノ事ニ關シテハ鎮守府司令長官ニ協議スヘシ

第二十三條 鎮守府司令長官ハ海軍用地ニ接近スル一般公路ニ於テ取締上必要ト認ムルトキハ民政長官ニ協議シ一般人民ノ通行ニ制限ヲ置クコトヲ得

鎮守府司令長官ハ海軍用地ノ内取締上差支ナント認ムル區域ニ限リ一般人民ニ通行ヲ許スコトヲ得

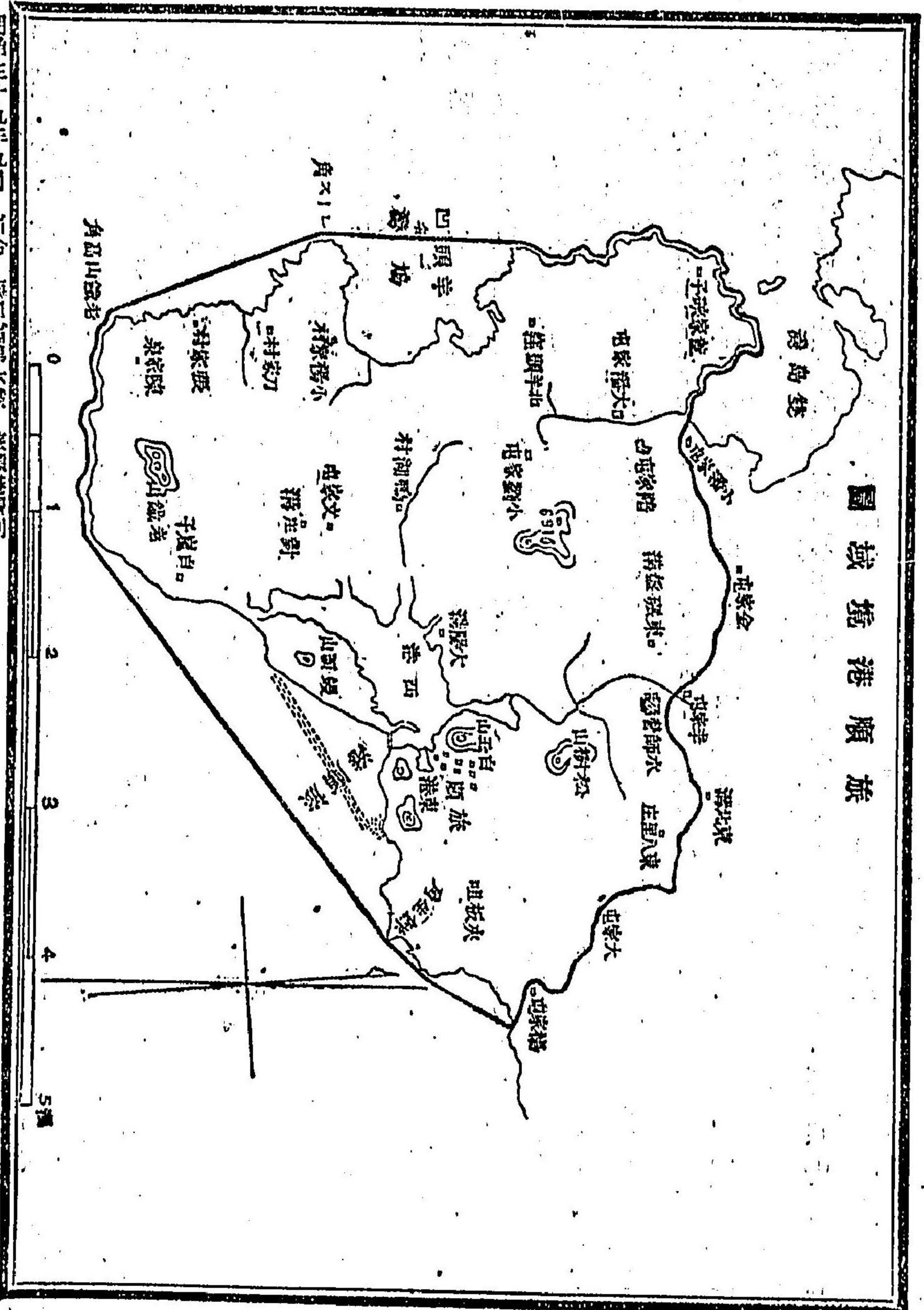
第二十四條 旅順港ノ境域並其ノ區劃等ヲ表示スル標石、標木、標札ノ類若ハ其ノ水域内ニ設クル浮標等ヲ移轉シ又ハ之ヲ毀壞スルコトヲ禁ス

第二十五條 旅順港ノ取締ニ關スル細則ハ鎮守府司令長官之ヲ定ム

附則

本則ハ明治三十九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(別圖)



明治三十九年九月

省令 海軍省第六號

旅順港規則

七一六



○文部省令第十五號

明治三十六年文部省令第二十七號大阪高等工業學校規程第一條第一項中「染色科」ヲ削リ又同條第二項中染色科ニ關スル部分ハ之ヲ削除ス

明治三十九年九月十三日

文部大臣牧野伸顯

〔參照〕

文部省令第二十七號大阪高等工業學校規程(明治三十六年六月二十四日)抄錄  
第一條 大阪高等工業學校ノ學科ヲ分チテ機械科、應用化學科、染色科、窯業科、鑛冶科、探礦冶金科、造船科及船用機關科トス  
各學科目及其ノ程度左ノ如シ

○農商務省令第二十五號

國有林野ノ貸付、使用及國有林野產物ノ賣拂ニ關シ願書、指令ヲ省略シ得ルノ件左ノ通定ム

明治三十九年九月十三日

農商務大臣松岡康毅

第一條 隨意契約ニ依リ國有林野ヲ貸付シ若ハ使用セシメ又ハ隨意契約ニ依リ國有林野產物ヲ賣拂フ場合ニ於テ即時ニ契約ヲ締結スルトキハ願書ノ徵收又ハ指令書ノ交付ヲ省略スルコトヲ得但シ林區署ニ於テ重要ト認ムル事件ニ付テハ此ノ限ニ在ラス  
前項ニ依リ願書ノ徵收ヲ省略シタル場合ト雖モ願書ニ添附スヘキ書類又ハ圖面ハ契約締結前之ヲ徵收スヘシ

第二條 前條ニ依リ願書ノ徵收又ハ指令書ノ交付ヲ省略シタル場合ニ於テ特定ノ目的ノ爲貸付シ、使用セシメ若ハ賣拂フモノニ係ルトキハ其ノ目的ヲ契約書中ニ記載スヘシ

○農商務省令第二十六號

明治三十二年農商務省令第二十九號特許代理業者試驗規則中左ノ通改正ス

明治三十九年九月十七日

農商務大臣松岡康毅

第六條 特許代理業者試驗ハ左ノ科目ニ付キ之ヲ行フ  
一、特許實用新案、意匠及商標ニ關スル法令  
二、民法、刑法、民事訴訟法及刑事訴訟法  
三、數學、物理學及化學  
特許代理業者試驗委員ハ前項第一號及第二號ノ科目又ハ第一號及第三號ノ科目ニ限り試験ヲ行フコトアルヘシ此場合ニ於テハ第二條ノ公告中ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ  
第一項第二號及第三號ノ科目ハ前項ノ場合ヲ除クノ外試験ヲ受ケントスル者ニ於テ其ノ一ヲ選擇スルコトヲ得  
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

農商務省令第二十九號特許代理業者試驗規則(明治三十二年十一月四日官報)抄錄  
第六條 特許代理業者試驗ハ左ノ科目ニ付キ之ヲ行フ

- 一、特許意匠及商標ニ關スル法令
- 二、民法、刑法、民事訴訟法及刑事訴訟法
- 三、數學、物理學及化學

前項第二號及第三號ニ掲ケタル科目ハ試験ヲ受ケントスル者ニ於テ其ノ一ヲ選擇スルコトヲ得

○農商務省令第二十七號

國有林野臺帳規程左ノ通相定ム

明治三十九年九月二十一日

農商務大臣松岡康毅



國有林野登記規程

- 第一條 大林區署ハ國有林野ニ關シ左ノ登記ヲ備ヘ之ヲ保存整理スヘシ
- 一 國有林野地籍登記 國有林野ノ地籍ニ關スル事項ヲ登錄スルモノトス
  - 二 部分林登記 國カ分收權利ヲ有スル部分林ニ關スル事項ヲ登錄スルモノトス
  - 三 國有保安林登記 國有林野ノ保安林及國有地ニ於ケル部分林ノ保安林ニ關スル事項ヲ登錄スルモノトス
  - 四 保管林登記 國有林野法第十七條又ハ社寺上地官林委託規則ニ依リ保管セシメタル國有林ニ關スル事項ヲ登錄スルモノトス
  - 五 委託林野登記 國有林野法第十八條ニ依リ保護ヲ委託シタル國有林野ニ關スル事項ヲ登錄スルモノトス
  - 六 官地民木林登記 見繼山共ノ他慣行ニ因リ人民カ國有林野ノ上ニ所有スル木竹ニ關スル事項ヲ登錄スルモノトス
  - 七 國有林野年租貸付登記 國有林野ニ設定セル地上權又ハ年租貸付ニ關スル事項ヲ登錄スルモノトス
  - 八 國有林野年租使用許可登記 國有林野ノ年租使用ニ關スル事項ヲ登錄スルモノトス
  - 九 國有林野豫約開墾拂下登記 開墾成效ノ條件ニ依ル國有林野ノ豫約拂下ニ關スル事項ヲ登錄スルモノトス
- 第二條 國有林野地籍登記、部分林登記及國有保安林登記ハ各郡市毎ニ之ヲ調製シ各町村毎ニ順次之ニ登錄スヘシ

前項以外ノ登記ハ小林區署ノ管轄區域毎ニ之ヲ調製スヘシ

登記ニ登錄スヘキ林野若ハ事件ノ數僅少ナル場合共ノ他已ムヲ得サル事由アル場合ニ於テハ前二項ノ例ニ依ラザルコトヲ得

第三條 登記ニ付本規程ニ様式ノ定アルモノハ共ノ様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第四條 國有林野地籍登記ハ森林、原野及森林附屬地ニ分チ各別ニ之ヲ調製シ左ノ事項ヲ記載ス

一 記入番號

二 林野ノ所在、字、地番

三 林野ノ面積

第五條 部分林登記ハ國有地、公有地、社寺有地及私有地ニ分チ各別ニ之ヲ調製シ左ノ事項ヲ記載ス

一 記入番號

二 部分林ノ所在、字

三 部分林ノ面積

四 造林者ノ氏名又ハ名稱及住所

五 部分林設定ノ年月日

六 存續期間

七 伐期

八 收益分收ノ割合



- 九 樹木ノ種類及數
- 十 造林者ノ權利ノ處分及其ノ事由
- 第六條 國有保安林登記帳ハ國有林國有地ノ部分林ニ分チ各別ニ之ヲ編製シ左ノ事項ヲ記載スヘシ
  - 一 記入番號
  - 二 保安林ノ所在ノ字、地番
  - 三 地目
  - 四 種類
  - 五 普通禁伐ノ別
  - 六 國有林野地籍登記帳面積
  - 七 保安林面積(原面積)
  - 八 地勢
  - 九 地質
  - 十 林況
  - 十一 利害區域
  - 十二 申請者
  - 十三 編入年月日
  - 十四 禁伐者ハ制限ノ決定年月日
- 第七條 保管林登記帳ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
  - 一 記入番號

- 二 保管林ノ所在ノ字
  - 三 林別
  - 四 國有林野地籍登記帳面積
  - 五 保管林面積
  - 六 期間
  - 七 保管區域内生立木竹ノ種類及數
  - 八 看守者ノ數
  - 九 保管者ノ名稱、住所
  - 十 許可ノ年月日
  - 十一 指令番號
- 社寺上地官林委託規則ニ依ル委託林ニ付テハ前項ニ掲ル事項ノ外尙其ノ旨ヲ明記スヘシ
- 第八條 委託林野登記帳ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 記入番號
  - 二 委託林野ノ所在ノ字
  - 三 林別
  - 四 國有林野地籍登記帳面積
  - 五 委託面積
  - 六 期間
  - 七 讓與スヘキ產物ノ種類及數量



- 八 看守者ノ數
- 九 受託者ノ氏名又ハ名稱及住所
- 十 許可ノ年月日
- 十一 指令番號

第九條 官地民木林臺帳ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 記入番號
- 二 官地民木林ノ所在、字、地番
- 三 林別
- 四 國有林野地籍臺帳面積
- 五 貸渡又ハ地上權設定區域ノ面積
- 六 期間
- 七 樹木ノ種類及數
- 八 成立ノ原因
- 九 貸渡又ハ地代ヲ徵收スルモノハ其ノ年額
- 十 樹木所有者ノ氏名又ハ名稱及住所
- 十一 成立ノ年月日
- 十二 指令番號

第十條 國有林野年期貸付臺帳ハ有料無料ニ分チテ口座ヲ設ケ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 記入番號

- 二 貸渡又ハ地上權設定林野ノ所在、字
- 三 林別
- 四 國有林野地籍臺帳面積
- 五 貸渡又ハ地上權設定面積
- 六 用途
- 七 一町步當リ及一箇年料金
- 八 期間
- 九 使用收益ニ對スル特殊ノ條件又ハ制限
- 十 借地人ノ氏名又ハ名稱及住所
- 十一 許可ノ年月日
- 十二 指令番號

第十一條 國有林野年期使用許可臺帳ハ有料無料ニ分チテ口座ヲ設ケ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 記入番號
- 二 使用林野ノ所在、字
- 三 林別
- 四 國有林野地籍臺帳面積
- 五 使用面積
- 六 使用目的
- 七 料金一箇年分總額及算出ノ標準



- 八 期間
  - 九 使用ニ對スル特殊ノ條件又ハ制限
  - 十 使用者ノ氏名又ハ名稱及住所
  - 十一 許可ノ年月日
  - 十二 指令番號
- 第十二條 國有林野豫約開墾拂下登記帳ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 記入番號
  - 二 拂下豫約地ノ所在、字、地番
  - 三 地目
  - 四 事業ノ目的
  - 五 國有林野地籍登記面積
  - 六 豫約地面積(目的地及附屬地ニ區分ス)
  - 七 一段歩當リ及總額代金
  - 八 期間
  - 九 豫約者ノ氏名又ハ名稱及住所
  - 十 豫約許可ノ年月日及指令番號
  - 十一 拂下許否處分年月日及指令番號
  - 十二 拂下面積及返地面積

- 第十三條 登記帳ニハ參考又ハ摘要ノ欄ヲ設ケ前數條ニ定ムルモノヲ除クノ外參考上必要ナル事項ヲ記載スヘシ
- 第十四條 登記帳ニ記載スル事項ハ左ノ例ニ依リ之ヲ記載スヘシ
- 一 林別ノ欄ニハ供用林、保安林又ハ原野ノ別ヲ記載スヘシ
  - 二 登録又ハ記載スヘキ林野カ國有林野地籍登記帳ニ登録シタル林野ノ一部ナルトキハ其ノ旨ヲ記載スヘシ
  - 三 期間ハ其ノ始期及終期ヲ記載スヘシ
  - 四 登録又ハ記載スヘキ林野ノ面積カ實測面積ニシテ國有林野地籍登記帳面積ト異ナル場合ニ於テハ之ヲ併記スヘシ
  - 五 記載スヘキ當事者若ハ關係人ノ數多クシテ當該箇所ニ悉ク記入シ能ハサルトキハ何ノ某外何人ト記載シ其ノ總代ノ定アルトキハ其ノ氏名ヲ併記スヘシ此ノ場合ニ於テハ別ニ共同人名簿ヲ編製シ其ノ記入番號及總人員ヲ記載スヘシ
  - 六 國有林野地籍登記帳中數筆ノ國有林野ヲ合シテ其ノ面積ヲ記載シタルモノニシテ各筆ノ面積ヲ記載スルノ必要アルモノハ事故摘要欄内ニ之ヲ記載スヘシ
  - 七 國有林野地籍登記帳中舊簿面記事欄ニハ舊藩以來ノ沿革慣行等ノ如キ舊簿面ニ記載セル事項ニシテ特ニ記載シ置クノ必要ヲ認ムルモノヲ掲クヘシ
  - 八 新ニ國有林野ニ編入シタルモノヲ國有林野地籍登記帳ニ登録スル場合ニ於テ民有地ノ買受若ハ交換等ニ因ルモノナルトキハ其ノ登記ノ年月日、地種組替ニ因ルモノナルトキハ其ノ實地



受領ノ年月日國有林野ノ離權ヲ登錄スル場合ニ於テ地租組替ニ因ルモノナルトキハ引渡ノ年月日其ノ他ノ原因ニ因ルモノナルトキハ其ノ指令ノ年月日番號ヲ事故摘要欄内ニ記載スヘシ

九 國有林野地籍臺帳ニ登錄シタル林野ヲ合併シタルトキハ其ノ初位ニ在ル林野ノ記入番號ノ左側ニ其ノ合併シタル林野ノ記入番號並ニ合併ノ旨ヲ記載シ其ノ面積ヲ訂正シ其ノ合併シタル林野ノ面積ハ之ヲ削除シ其ノ事由ヲ其ノ各林野ノ臺帳事故摘要欄内ニ記載スヘシ

十 貸地ノ用途ハ大林區署統計報告様式ノ規定ニ準據シ之ヲ分類スヘシ

十一 本規程ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外臺帳ニ事由ヲ記載スル場合ニ於テハ其ノ原因ノ名稱(指令、決議又ハ契約等)及其ノ年月日ヲ記載スヘシ

第十五條 新ニ林野又ハ事件ヲ臺帳ニ登錄スルトキハ其ノ登錄ノ順序ニ從ヒ記入番號ヲ記載スヘシ

第十六條 臺帳ニ登錄又ハ記載シタル事項ノ變更、消滅アリタルトキ又ハ其ノ誤記ヲ發見シタルトキハ其ノ都度之ヲ訂正若ハ削除スヘシ

第十七條 新ニ林野若ハ事件ヲ臺帳ニ登錄シ又ハ之ヲ訂正若ハ削除シタルトキハ其ノ年月日及事由ヲ記載シ其ノ官廳ノ通知ニ因ルモノハ尙其ノ通知年月日及番號ヲ適宜ノ箇所ニ記載シ主任官吏之ニ捺印スヘシ

前項ニ依リ臺帳ノ登錄ヲ削除若ハ訂正スルトキハ全部削除ノ場合ニ在リテハ欄外其ノ他適宜ノ場所ニ「削除」ノ印ヲ捺捺シ一部ノ削除又ハ訂正ノ場合ニ在リテハ原記載ヲ明瞭ニ存シ其ノ上ニ

朱ノ二線ヲ劃スヘシ

第十八條 臺帳中該當欄ニ登錄又ハ記載ノ餘白ナキニ至リタルトキハ其ノ用紙記入番號ノ左側ニ

第一ト記シ別帳新用紙ニ前用紙ノ記入番號ヲ轉寫シ其ノ左側ニ第二ト記シ之ニ順次登錄又ハ記載ヲ爲スヘシ前用紙中尙餘白アルモノニ在リテハ仍之ニ登錄又ハ記載ヲ爲スヘシ

前項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス但シ其ノ繼續用紙アル帳簿中記載シ得ヘキ餘紙アルトキハ其ノ帳簿ニ之ヲ記載スヘシ

第十九條 臺帳ハ一冊毎ニ其ノ末尾ニ面積ノ合計ヲ附スヘシ

前項面積ニ異動ヲ生シタルトキハ每會計年度末之ヲ修正スヘシ

第二十條 臺帳ニシテ登錄箇所數多キモノハ冊首其ノ他適宜ノ場所ニ索引ヲ設クヘシ但シ已ムヲ得サル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條 大林區署ニ於テ新ニ臺帳ニ登錄シ又ハ之ヲ訂正若ハ削除シタルトキハ遲滞ナク之ヲ

小林區署ニ通知スヘシ

第二十二條 小林區署ニハ大林區署ニ備フル臺帳ノ其ノ管轄區域内ニ於ケル林野ニ係ル部分ノ帳本ヲ備ヘ前各條ノ規定ヲ準用シ之ヲ保存整理スヘシ

附則

第二十三條 明治三十年農商務省訓令第三十三號保安林簿規程明治三十五年農商務省訓令第十三號國有林野地籍臺帳規程ハ之ヲ廢止ス

第二十四條 從來備ヘアル臺帳ハ當分ノ内之ヲ本規程ニ定ムル臺帳ニ代用スルコトヲ得但シ其ノ記載事項ハ本規程ノ定ムル所ニ依ルヘシ



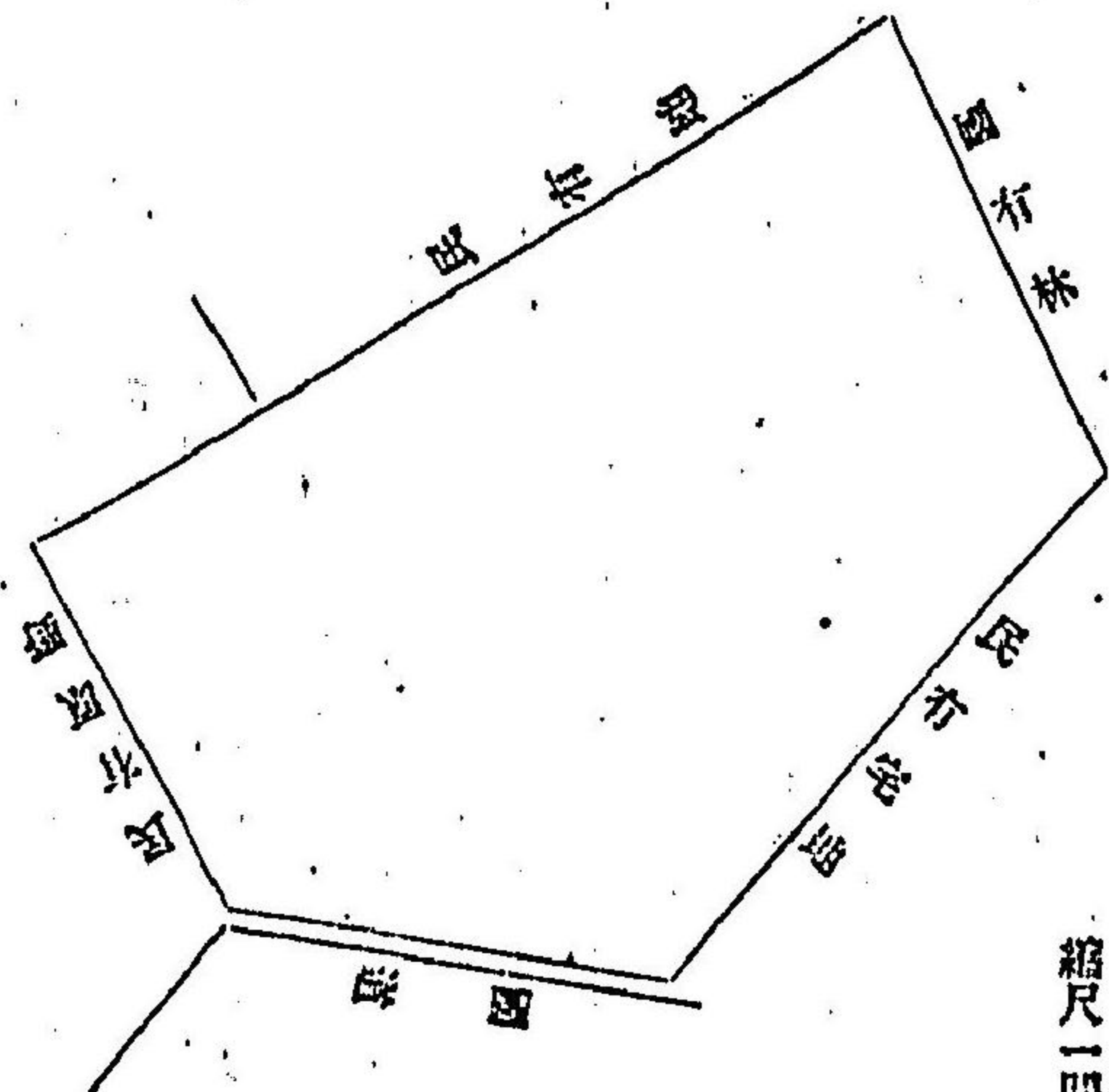




(國有保安林臺帳樣式)

林安保(通普)伐禁							號第	
數丁	利害區域	林況	地質	地勢	面積		種類	
					林安保			全面積
					訂正面積	原面積		
考備		日 月 年 定 決			申 請 者		編入年月日	
		制 限	額 伐					

注意 用紙西ノ内紙

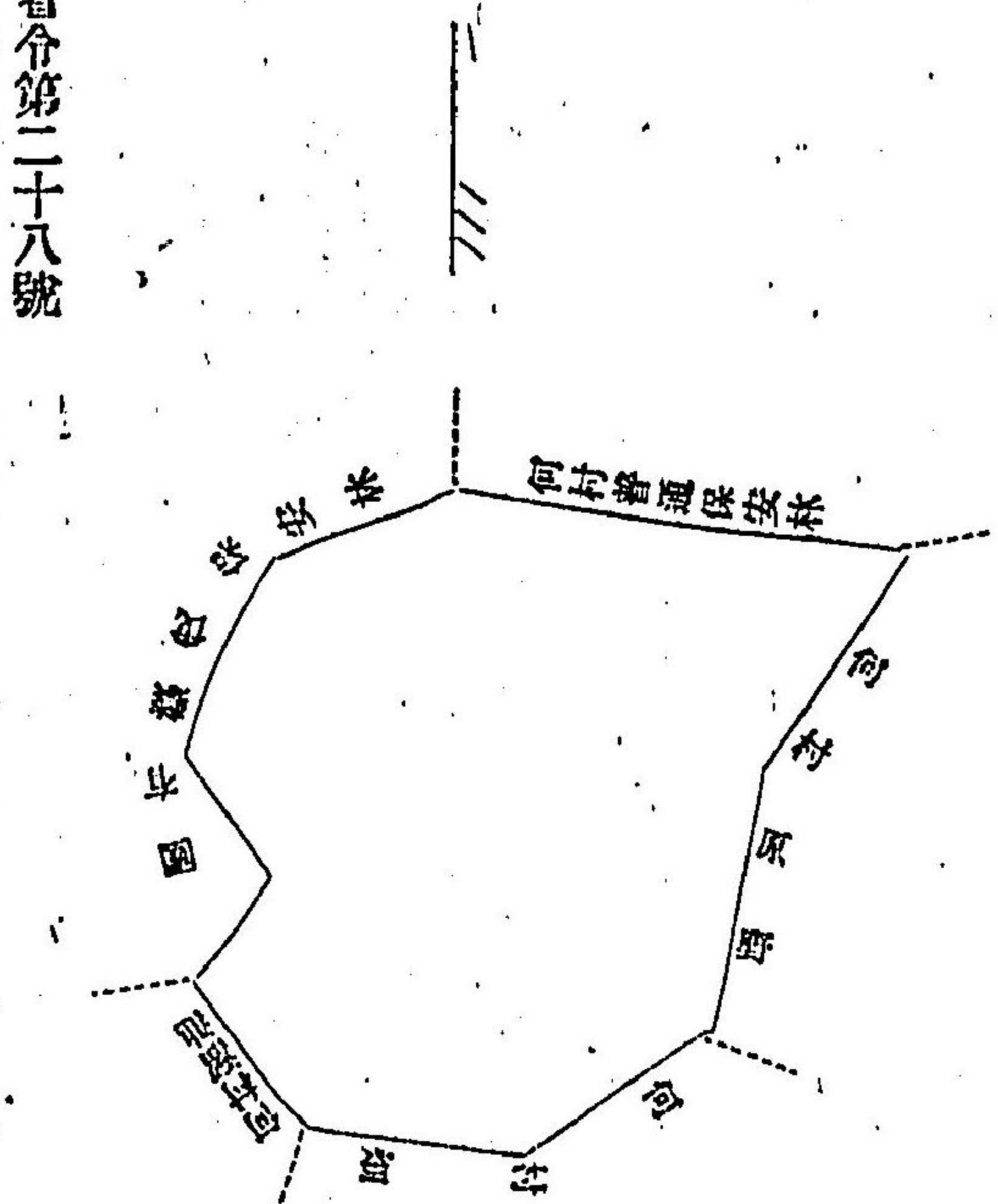


縮尺一割(何分)



用紙製水引美濃紙

縮尺一間(何)分



○農商務省令第二十八號

明治三十八年農商務省令第三十號國有林野地籍登記帳及圖面際本抄本下付規程中左ノ通改正ス

明治三十九年九月二十一日

農商務大臣松岡康毅

表題中「地籍」ノ二字ヲ削ル

第一條中「國有森林地籍登記帳、國有原野地籍登記帳」ヲ「國有林野登記帳」ニ改ム

第二條第一號ヲ左ノ如ク改ム

一 國有林野登記帳ノ謄本又ハ抄本ハ登記帳一記入番號ニ付金十錢  
同條第二號中「地籍」ノ二字ヲ削ル

○逓信省令第四十五號

明治三十年六月逓信省令第十八號外國新聞電報規則中左ノ通改正ス

明治三十九年九月一日

逓信大臣山縣伊三郎

第一條中「本邦ト韓國及其ノ他ノ諸國トノ間若ハ韓國ト本邦以外ノ諸國トアルヲ」本邦ト韓國、清國、

滿洲(本邦局所在)及其ノ他ノ諸國トノ間、韓國ト本邦及其ノ他ノ諸國(清國、滿洲)トノ間若ハ清國、滿

洲(本邦局所在)ト本邦及其ノ他ノ諸國(韓國ヲ)ト改ム

第四條第一項及但書ヲ左ノ通改ム

第四條 新聞電報ハ普通ノ英語佛語若ハ獨語ヲ以テ記載シタルモノニ限ル

但シ左記各號ニ依ルモノハ此ノ限ニ在ラス

同條第二號中「韓國」トアルヲ「韓國又ハ清國、滿洲(本邦局所在)ト改ム

第六條但書中「本邦ヨリ韓國」トアルヲ「本邦ヨリ韓國又ハ清國、滿洲(本邦局所在)ト及又ハ韓國其ノ

他ノ諸國」トアルヲ「若ハ韓國、清國、滿洲(本邦局所在)又ハ其ノ他ノ諸國」ト改ム

【參照】

逓信省令第十八號外國新聞電報規則(明治三十年六月二十六日)抄録

第一條 新聞社通信社又ハ新聞通信員ヨリ新聞社又ハ通信社ニ宛テ新聞紙ニ發送スル目的ヲ以テ本邦ト韓國及其ノ他ノ諸

國トノ間若ハ韓國ト本邦以外ノ諸國トノ間ニ發送スルモノハ之ヲ新聞電報ト爲スコトヲ得

第四條 新聞電報ハ左ノ場合ヲ除クノ外普通ノ英語佛語若ハ獨語ヲ以テ記載シタルモノニ限ル

但數字又ハ文字ヲ以テ示シタル商標若ハ商號ハ普通語ト見做ス



第二號

本邦ト韓國トノ間ニ送受スルモノハ普通ノ日本語ヲ羅馬文字若ハ片假名ヲ以テ記載スルコトヲ得ト雖モ羅馬文字ト片假名トヲ混用スルヲ得ス

第六條 新聞電報ハ至急送信料前額照校受宿報知及同文電報トナシ又ハ傳送配路上特殊ノ指定ヲ附スルコトヲ得ス但本邦ヨリ韓國ニ宛テ發送スルモノ又ハ韓國及其ノ他ノ諸國ヨリ本邦ニ著スルモノハ之ヲ同文電報トナスコトヲ得

○逓信省令第四十六號

常分ノ内本邦發滿洲(牛莊ヲ除ク以下單)宛滿洲發樺太宛若ハ滿洲内發著ノ小包郵便物ニ付テハ明治三十三年九月逓信省令第五十六號滿洲小包郵便規則第四條ノ規定ヲ適用セシ

○逓信省令第四十七號

逓信大臣山縣伊三郎

鐵道國有法第十二條第三項清算人ノ職務ニ關スル會社ノ費用支辨方左ノ通定ム

明治三十九年九月二十七日

逓信大臣山縣伊三郎

第一條 鐵道國有法第十二條第三項清算人ノ職務ニ關スル會社ノ費用ハ會社所屬鐵道買收ノ日ヨリ買收代價トシテ公債證書ノ交付ヲ受クル迄毎年左ノ割合ニ依リ之ヲ支辨ス但一年ニ滿メサルモノハ月數ヲ以テ之ヲ計算ス

拂込金額

百萬圓迄

四千圓

百萬圓ヲ超過スルトキハ

百萬圓迄ヲ加フル毎ニ

千圓

千圓ヲ超過スルトキハ

二百萬圓迄ヲ加フル毎ニ

千圓

第二條 前條ノ費用ハ清算人ノ申請ニ依リ之ヲ支拂フ

第三條 株金拂込額ハ買收ノ日ニ於ケル登記金額ニ依リテ之ヲ計算ス

第四條 本令ハ鐵道國有法ニ依リ所屬鐵道ヲ買收セラルル由解散ヲ爲ササル會社ニハ之ヲ適用セシ

○陸軍省令第十一號

陸軍一年志願兵條例施行細則中左ノ通改正ス

明治三十九年十月十五日

陸軍大臣寺內正毅

第四條第一項中「本籍地ノ市町村長以下ヲ」學術試驗ヲ要スル者ニ在リテハ六月十日迄其ノ他ノ者ニ在リテハ七月十日迄ニ本籍地ノ市町村長ニ差出スヘシ」ニ改ム

同條第三項中「添付スヘシ」ヲ「添付シ學術試驗ヲ要スル者ニ在リテハ七月十日迄其ノ他ノ者ニ在リテハ八月五日迄ニ師團長ニ到着スル如ク島司郡長聯隊區司令官ヲ經テ之ヲ差出スヘシ」ニ改ム

第五條中「二月三十一日迄」ヲ削ル

第六條中「二月二十日迄」ヲ「八月一日迄」ニ「三月一日迄」ヲ「八月二十日迄」ニ改ム

第十條 一年志願兵出願者ノ検査場ハ師團司令部所在ノ衛戍地トシ共ノ學術試驗期日ハ九月五日トス

第十一條中「三月一日迄」ニ「原検査場」ヲ「八月十日迄」ニ本籍ニ改ム

第十二條 師團長前條ノ願ヲ許可シタル場合ニ於テ第六條ノ他師管内受檢者ノ通知ニ變更ヲ要スルトキハ八月二十日迄ニ關係師團長ニ通知スヘシ

第十三條中「五月十日迄」ヲ「十月一日迄」ニ改ム

第十七條 一年志願兵ヲ各師管各軍隊ニ配賦スルニハ左ノ各號ヲ參酌スルモノトス但シ主計生

タラムコトヲ希望スル者ハ師團司令部所在地ノ歩兵隊ニ配賦スルモノトス

一 軍事上ノ必要

二 志願者ノ希望







一年志願兵ヲ出願スル者ハ其ノ願書ヲ添へ本籍地ノ市町村長、島田、部長、聯隊司令官ヲ  
 經テ一月三十一日迄ニ師團長ニ送付スヘシ  
 市町村長ハ志願者ノ身元資産及犯罪ノ有無等ヲ調査シ證明書ヲ添へ又他師管ニ全戸寄附ノ若シテハ其ノ師管  
 名及寄附ノ年月日ヲ付記シ願書ニ添付スヘシ  
 第五條 前條ノ志願者ニシテ一月三十一日迄ニ徵兵令第十三條ノ學校ヲ卒業セサル者ハ其ノ年十月三十一日迄ニ卒業スヘ  
 キ者ニ限リ學校長ノ證明書ヲ以テ卒業證明書ニ代フルコトヲ得但シ卒業ノ上ハ直ニ學校長ノ卒業證明書ヲ添へ師團長ニ  
 届出ツヘシ  
 第六條 師團長ハ志願者中學術試驗ヲ要スル者ノ人員ヲ検査ヲ爲スヘキ師管ニ区分シ之ヲ二月二十日迄ニ陸軍將校生徒試  
 驗當區委員長ニ通知シ他ノ師管ニ於テ検査ヲ受ケムトスル者ノ人名及必要ノ事項ヲ當該師管ノ師團長ニ三月一日迄ニ通  
 知スヘシ  
 第十條 一年志願兵出願者ノ検査場及學術試驗期日ハ陸軍召集規則第二十一條及第二十二條ニ同シ  
 第十一條 學術試驗ヲ要セサル者ハ検査場ノ變更ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ三月一日迄ニ原検査場所在師管ノ師團  
 長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ  
 第十二條 師團長前條ノ願ヲ許可シタル場合ニ於テ其ノ検査場他ノ師管内ナルトキハ三月二十日迄ニ當該師團長ニ通知ス  
 ヘシ  
 第十三條 師團長ハ検査ヲ終リタルトキハ五月十日迄ニ合格人員表ヲ添へテ師管長ニ報告スヘシ但シ他ノ師管在  
 籍者ノ成績ハ同日迄ニ受檢者本籍所在師管ノ師團長ニモ通知スヘシ  
 第十七條 師團長ハ其ノ師管内ニ於テ服役スヘキ者ノ除隊ヲ定ムルニハ志願者ノ寫及乘機並軍事上ノ必要ヲ斟酌シ師管  
 内ノ各兵科毎ニ各隊成ルヘク平等ニ配賦スヘシ但シ主計生タラムコトヲ冀望スル者ハ師團司令官所在地ノ歩兵隊ニ配賦  
 スルモノトス

○海軍省令第七號

本年海軍省令第三號中左ノ通改正ス

本令ハ明治三十九年十一月十六日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年十月二十日

海軍大臣齋藤實

第三項ノ次ニ左ノ各項ヲ加フ

准士官以上、候補生及文官關東州、樺太島北緯五十度以南ノ地及在韓國海軍ノ部隊官衙所在地ニ

赴任スル場合ニ於テハ其ノ際支度料トシテ年俸ノ者ニ在リテハ年俸十二分ノ一、月給ノ者ニ在  
 リテハ月給一箇月分ニ相當スル額ヲ支給ス但シ關東州、樺太島北緯五十度以南ノ地及在韓國海  
 軍ノ部隊官衙所在地ニ在リテ任用セラレタル者ニハ支給ノ限ニ在ラス  
 准士官以上、候補生及文官關東州、樺太島北緯五十度以南ノ地及在韓國海軍ノ部隊官衙所在地ニ  
 出張スル場合ニ於テ特ニ支度料ノ支給ヲ必要トスルトキハ海軍大臣ノ認許ヲ受ケ前項ノ半額ヲ  
 支給スルコトヲ得

内地ニ於テ採用ノ雇員傭人關東州、樺太島北緯五十度以南ノ地及在韓國海軍ノ部隊官衙所在地  
 ニ赴ク場合ニ於テ特ニ支度料ノ支給ヲ必要トスルトキハ海軍大臣ノ認許ヲ受ケ月給ノ者ニ在リ  
 テハ月給一箇月分、日給ノ者ニ在リテハ日給三十日分ニ相當スル額ヲ支給スルコトヲ得  
 支度料ヲ受ケタル者又ハ受クヘキ者赴任若ハ出張ノ前ニ於テ死亡シ又ハ官ノ都合ニ依リ赴任若  
 ハ出張ヲ止メラレタルトキハ既ニ受ケ又ハ受クヘキ額ノ半額ヲ支給ス  
 支度料ヲ受ケタル者一箇年以内ニ於テ一回以上關東州、樺太島北緯五十度以南ノ地及在韓國海  
 軍ノ部隊官衙所在地ニ赴任若ハ出張シ又ハ其ノ各地間ヲ赴任若ハ出張スルモ支度料ヲ支給セズ  
 但シ第五項ノ支度料ヲ受ケタル者更ニ赴任シ又ハ第七項ノ支度料ヲ受ケタル者更ニ赴任若ハ出  
 張スル場合ニ限リ其差額ヲ支給スルコトヲ得  
 本令中支度料ニ關スル規定ハ艦船ニ乗組ヲ命セラレ赴任スルモノニ之ヲ適用セス但シ關東州及  
 韓國ニ在ル海軍ノ部隊官衙所屬艦船ニ乗組ヲ命セラレ赴任スル者ハ此ノ限ニ在ラス

○司法省令第十八號

明治三十九年十月 省令 海軍省第七號 司法省第十八號



横濱地方裁判所管内横濱區裁判所管轄武藏國横濱市星野町ヲ同區裁判所神奈川出張所ノ管轄ニ屬  
セシメ明治二十六年司法省令第十號登記管轄區域表中同出張所ノ管轄欄内「山内町一丁目」ノ次  
ニ「星野町」ヲ加フ

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年十月二十三日

司法大臣松田正久

○司法省令第十九號

横濱地方裁判所管内横濱區裁判所神奈川出張所管轄武藏國横濱市星野町ニ屬スル商業登記ノ事務  
ハ横濱區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ  
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年十月二十三日

司法大臣松田正久

○文部省令第十六號

明治三十八年文部省令第十二號私立醫學專門學校指定規則中左ノ通改正ス

明治三十九年十月三十日

文部大臣牧野伸顯

第六條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第六條ノ二 指定學校ハ本科ノ卒業試験合格者ノ族籍、氏名、生年月及各學科目點數ヲ具シ試験後  
遲滞ナク文部大臣ニ開申スヘシ

○文部省令第十七號

公立私立齒科醫學校指定規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

明治三十九年十月三十日

文部大臣牧野伸顯

公立私立齒科醫學校指定規則

第一條 公立私立齒科醫學校ニシテ齒科醫師法第一條第一號ニ依リ文部大臣ノ指定ヲ受ケントス  
ルトキハ其ノ管理者又ハ設立者ニ於テ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ但シ特別ノ規定ニヨリ既ニ文  
部大臣ニ開申シタル事項ハ之ヲ省略スルコトヲ得

一 學校ノ沿革

二 位置

三 學則

四 教員ノ氏名、資格、學業經歷、擔當學科目及專任兼任ノ區別

五 生徒定員、現在生徒學年及學級別員數

六 卒業者ノ員數及卒業後ノ情況

七 校地校舍ノ圖面並其ノ所有ノ區別

八 經費及維持ノ方法

九 教授用並實習用ノ器具、器械、標本及模型目錄

十 最近一箇年間各月ニ於ケル實習用患者日々平均人員

第二條 指定ヲ爲スヘキ學校ハ左ノ各號ニ該當シ文部大臣ニ於テ其ノ管理及維持ノ方法確實ニシ  
テ其ノ成績佳良ト認ムルモノニ限ル

一 生徒ノ定員ニ對シ相當ナル教室、圖書室、標本室、藥品室、器械室、實習室其ノ他ノ設備アルコ  
ト

二 本科生徒ノ入學資格ハ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ專



門學校入學者檢定期程ニ依リ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムルコト

三 必修學科目トシテ少クトモ(一)解剖學(二)生理學(三)病理學總論、診斷學大意(四)藥物學(五)細菌學(六)外科學總論(七)齒科學ヲ教授シ修業年限三箇年以上ナルコト

四 齒科學ノ課目ハ少クトモ(一)齒科病理學(二)口腔外科學(三)齒科治療學(四)齒科技術學(五)矯正齒科學ヲ備フルコト

五 第三號ノ各學科目ニ對シ公立私立專門學校規程第七條第一項ノ資格ヲ有スル教員齒科學ニ少クトモ三人其ノ他ノ各學科目毎ニ少クトモ一人ヲ採用セルコト

六 開校以後二箇年以上ヲ經過シタルコト

七 實習用患者ノ數ハ每學年ノ平均生徒數(本科生別)五十人以上ノ學校ニ於テハ外來患者二十人以上トシ以上生徒十人ヲ増ス毎ニ外來患者四人ヲ増スコト

第三條 指定學校ニ於テ名稱、位置、學則、生徒定員、校地、校舍ヲ變更セントスルトキハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

經費及維持ノ方法ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク文部大臣ニ開申スヘシ

第四條 公立私立專門學校規程第六條、第十二條及第十三條並私立醫學專門學校指定規則第三條乃至第六條及第八條ノ規定ハ指定ヲ受ケタル齒科醫學校ニ關シテ之ヲ準用ス

第五條 指定學校ハ本科ノ卒業試驗合格者ノ族籍、氏名、生年月及各學科目點數ヲ具シ試驗後遲滞ナク文部大臣ニ開申スヘシ

第六條 指定學校ハ毎年六月三十日ノ調査ニ依リ翌月中ニ第一條第四號、第九號第十號並左ニ掲クル事項ヲ具シ文部大臣ニ開申スヘシ但シ特別ノ規定ニ依リ文部大臣ニ開申スヘキ事項ハ之ヲ省略スルコトヲ得

- 一 現在生徒學年及學級別員數
- 二 當該學年ニ於ケル入學生徒數
- 三 當該年度經費豫算ノ細目

前項第一號及第二號ニ規定セル事項ハ指定ノ效力ヲ享クルモノト享ケサルモノトニ區別シテ記載スヘシ

第七條 此ノ規則ニ依リ文部大臣ニ提出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スルコトヲ要ス

地方長官ニ於テ前項ノ書類ヲ受理シタルトキハ其ノ書類及實況ヲ精査シ意見ヲ附シテ進達スヘシ

○農商務省令第二十九號

明治三十七年農商務省令第三號第二條第三號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ  
明治三十九年十月二十四日 農商務大臣松岡康毅

一 粗製樟腦樟腦油專賣法ニ依リ許可ヲ受ケタル粗製樟腦樟腦油製造業者

(參照) 明治三十七年(二月)農商務省令第三號ハ國有林野產物ヲ隨意契約ニ依リ拂受クルコトヲ得ル重要製産品ノ製造業者及木材業者ノ資格ノ件ナリ



○内務省令第三十一號

明治三十五年<sup>四</sup>内務省令第十二號神部署職員俸給支給規則中二號表ヲ左ノ通改正ス

明治三十九年十一月十三日

内務大臣原敬

二號表

職名	一級俸	二級俸	三級俸	四級俸	五級俸	六級俸	七級俸	八級俸	九級俸
神部補	三百五十圓	三百三十圓	三百圓	二百八十圓	二百六十圓	二百四十圓	二百三十圓	二百圓	百八十圓

○内務省令第三十二號

明治三十五年内務省令第二十二號第一條中「ニ限ル」ヲ「若ハ現ニ其ノ工場ノ建築ニ著手シ北海道廳長官ニ於テ一箇年以内ニ製造開始ノ見込アリト認ムルモノニ限ル」ニ改ム

明治三十九年十一月十六日

内務大臣原敬

〔参照〕

内務省令第二十三號(明治三十五年十月十三日)抄録

第一條 隨地契約ニ依リ北海道固有森林ヲ借受ケ又ハ固有森林原野ノ主副産物ヲ買受クルコトヲ得ル工業者ハ北海道ニ於テ五馬力以上ノ動力アル機械ヲ備フル工場ヲ有スルモノニ限ル

○内務省令第三十三號

醫師會規則左ノ通定ム

明治三十九年十一月十七日

内務大臣原敬

醫師會規則

第一條 醫師會ハ郡市區醫師會及道府縣醫師會トス

明治三十九年十一月 省令 内務省令第三十一號 第三十二號 第三十三號 醫師會規則



本令ニ依リテ設立シタル醫師會ニ非サレハ前項ノ名稱ヲ附スルコトヲ得ス

第二條 郡市醫師會ヲ設立セムトスルトキハ其ノ會員ト爲ルヘキ者十人以上發起人ト爲リ會則案ヲ作り其ノ會員ト爲ルヘキ者ノ總會議ニ付スヘシ

前項ノ總會議ハ會員ト爲ルヘキ者ノ全員三分ノ二以上出席シ出席員三分ノ二以上ノ多數ヲ得ルニ非サレハ議決ヲ爲スコトヲ得ス

會員ト爲ルヘキ者百人以上ニ及フトキハ總會議ニ出席スル者ニ委任シテ表決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ委任者ヲ出席員ノ數ニ加算ス

第三條 郡市醫師會設立ノ議決ヲ經タルトキハ發起人ハ會則ヲ添ヘ地方長官ノ認可ヲ請フヘシ

地方長官ニ於テ認可ヲ爲シタルトキハ郡市醫師會設立ノ旨ヲ告示スヘシ

第四條 道府縣内三分ノ二以上ノ郡市ニ於テ郡市醫師會設立ニ至リタルトキハ道府縣醫師會ヲ設立スルコトヲ得

第五條 道府縣醫師會ヲ設立セムトスルトキハ郡市醫師會協議シ其ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ會則ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ請フヘシ

前項ノ場合ニ於ケル郡市醫師會ノ同意ハ各其ノ總會ニ於テ會員又ハ議員ノ總數三分ノ二以上ノ多數決ナルコトヲ要ス

地方長官ニ於テ本條ノ認可ヲ爲シタルトキハ道府縣醫師會設立ノ旨ヲ告示スヘシ

第六條 郡市醫師會總會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會員中ヨリ選舉シタル議員ヲ以テ組織スルコトヲ得

道府縣醫師會總會ハ郡市醫師會ニ於テ選舉シタル議員ヲ以テ組織ス

前二項ノ場合ニ於テ地方長官ハ必要ト認ムルトキハ醫事衛生ニ關シ學識又ハ經驗アル者ニ就キ議員總數五分ノ一以内ノ特別議員ヲ命スルコトヲ得

特別議員ハ總會ニ出席シ議事ニ參與シ議決ニ加ハルモノトス但シ會則ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條 醫師會ハ其ノ總會ノ議決ニ依リ之ヲ解散スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ十日以内ニ地方長官ニ届出ヘシ

前項ノ議決ハ會員又ハ議員ノ總數三分ノ二以上ノ多數決ナルコトヲ要ス

第八條 官立若ハ公立ノ病院ヲ除ク外自己又ハ他人ノ診療所、治療所若ハ其ノ出張所ニ於テ醫業ニ従事スル醫師ハ總テ其ノ所在地ノ郡市醫師會ノ會員トス

前項以外ノ醫師ト雖モ會則ノ定ムル所ニ依リ醫師會會員ト爲ルコトヲ得

地方長官ハ必要ト認ムルトキハ前二項以外ノ醫師ニ對シ醫師會加入ヲ命スルコトヲ得

第九條 道府縣醫師會ハ其ノ道府縣内ニ在ル郡市醫師會ノ全部ヲ以テ組織ス

第十條 郡市醫師會ハ會員中醫師法第二條第三號ニ該當シ又ハ業務ニ關シ不正ノ行爲アリテ免許取消又ハ醫業停止處分ヲ必要ト認ムルトキハ其ノ意見ヲ地方長官ニ具申スルコトヲ得

郡市醫師會ハ會員中免許取消又ハ醫業停止處分ヲ受ケムトスル者アル場合ニ於テ辨疏ヲ必要ト認ムルトキハ其ノ事實ヲ内務大臣ニ具申スルコトヲ得醫師法第十條第三號ニ該當スル者アリト認ムルトキ亦同シ

第十一條 郡市醫師會會則ニハ會則ニ違背シタル會員ニ對シ百圓以下ノ過怠金ヲ徴收スルノ規定ヲ設クルコトヲ得



第十二條 行政廳ハ醫事衛生ニ關スル報告又ハ調査ヲ醫師會ニ命スルコトヲ得  
第十三條 醫師會ノ費用ハ郡市醫師會ニ在リテハ會員ノ負擔トシ道府縣醫師會ニ在リテハ郡市醫師會ノ負擔トス

第十四條 醫師會會則ノ變更ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ外醫師會ノ議決ニシテ届出又ハ認可ヲ要スルモノハ地方長官之ヲ定ム

第十五條 醫師會ノ議決ニシテ法令、會則ニ違背シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ地方長官ハ其ノ議決ヲ取消シ又ハ内務大臣ノ認可ヲ經テ職員ノ改選若ハ醫師會ノ解散ヲ命スルコトヲ得  
役員ノ行爲ニシテ法令、會則ニ違背シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ地方長官ハ内務大臣ノ認可ヲ經テ解散ヲ命スルコトヲ得

前項ニ依リ解散セラレタル者ハ三箇年間に役員ト爲ルコトヲ得ス

第十六條 北海道、沖繩縣及島嶼ニ關シ別段ノ規定ヲ要スルモノハ地方長官之ヲ定ム

附則

第十七條 土地ノ狀況ニ依リ二以上ノ郡市ニ於ケル醫師共同シ醫師會ヲ設立スルコトヲ得

土地ノ狀況ニ依リ第二條及第三條ノ手續ニ準シ道府縣醫師會ヲ設立スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ郡市醫師會ハ解散スルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ道府縣醫師會ノ支部ヲ置クコトヲ得

本令中郡市醫師會ニ關スル規定ハ本條第一項ヲ除ク外之ヲ本條第二項ノ醫師會ニ適用ス

第十八條 東京市、京都市、大阪市ニ於テハ區醫師會ヲ設立シ區醫師會協議シ第四條及第五條ノ規定ニ準シ市醫師會ヲ設立スルコトヲ得

第二條及第三條ノ手續ニ依リ市醫師會設立ニ至リタルトキハ前項ノ區醫師會及市醫師會ハ解散スルモノトス此ノ場合ニ於テハ市醫師會ノ支部ヲ置クコトヲ得

本令中郡市醫師會ニ關スル規定ハ第四條及第五條ヲ除ク外之ヲ區醫師會ニ準用シ道府縣醫師會ニ關スル規定ハ之ヲ本條第一項ノ市醫師會ニ準用ス

○内務省令第三十四號

齒科醫師會ニ醫師會規則ヲ適用スル件左ノ通定ム

明治三十九年十一月十七日

内務大臣原敬

齒科醫師會ニ關シテハ明治三十九年十一月十一日内務省令第三十三號醫師會規則ヲ適用ス

○内務省令第三十五號

明治三十年十一月二十八號中ニ左ノ種目ヲ追加ス

明治三十九年十一月十七日

内務大臣原敬

一 沖繩縣及東京府下伊豆七島、小笠原島ニ於ケル屠畜検査手数料

〔參照〕

明治三十年十一月十一日内務省令第二十八號ハ收入印紙ヲ以テ納ムヘキ手数料等種目ノ件ナリ

○大藏省令第四十六號

煙草專賣法第六條ニ依リ出水葉煙草收納所及鹿兒島葉煙草收納所管内ニ於ケル明治四十年煙草耕作段別左ノ通之ヲ定ム

明治三十九年十一月五日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎







○大藏省令第四十七號

明治三十八年三月三十一日大藏省令第十八號鹽務局出張所名稱、位置及管轄區域中左ノ通改正ス

明治三十九年十一月十六日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

横濱ノ榎藤澤出張所見付出張所ヲ削ル

同榎藤原出張所ノ欄ヲ左ノ如ク改ム

靜岡 靜岡縣靜岡市 同縣靜岡市 庵原郡 安倍郡

同榎濱松出張所管轄區域同縣ノ次へ磐田郡ヲ加フ

神戸ノ榎洲木出張所ヲ削ル

長崎ノ榎武生水出張所ヲ削ル

宇都宮ノ榎太田出張所前橋出張所高崎出張所ヲ削ル

同榎松原出張所管轄區域同縣ノ次ニ久慈郡ヲ加フ

名古屋ノ榎津出張所ヲ削ル

秋田ノ榎木莊出張所ヲ削ル

松江ノ榎今市出張所ヲ削ル

三田尻ノ榎平生出張所管轄區域熊毛郡ノ下伊保庄村以下全部ヲ削ル

同榎室積出張所ヲ削ル

○大藏省令第四十八號

煙草專賣局分工場煙草收納所出張所及煙草製造所分工場名稱位置左ノ通り之ヲ定メ明治三十九年十二月一日ヨリ施行ス

明治三十九年十一月二十八日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

煙草專賣局分工場名稱位置

煙草專賣局	伏見分工場	京都府紀伊郡深草村	區
名	稱	位	區

煙草收納所出張所名稱位置

煙草收納所名	名	稱	位	區
東京煙草收納所	野田出張所	千葉縣東葛飾郡野田町		
	秋元出張所	千葉縣津田郡秋元村		
	北條出張所	千葉縣安房郡北條町		
	岩井出張所	茨城縣猿島郡岩井村		
	境出張所	茨城縣猿島郡境町		
	大宮出張所	埼玉縣秩父郡大宮町		
	小倉出張所	埼玉縣秩父郡小倉町		
	沼田出張所	群馬縣多野郡沼田町		
	沼田出張所	群馬縣利根郡沼田町		
	山梨出張所	山梨縣中巨摩郡飯野村		
	横濱出張所	神奈川縣横濱市花咲町		
	長井出張所	神奈川縣三浦郡長井村		
水戸煙草收納所	太田出張所	茨城縣久慈郡太田町		
	大子出張所	茨城縣久慈郡大子町		
	大宮出張所	茨城縣那珂郡大宮町		
	長倉出張所	茨城縣那珂郡長倉村		
	石塚出張所	茨城縣東茨城郡石塚村		
	助川出張所	茨城縣多賀郡高輪村		



茂木煙草收納所	三春煙草收納所	小田煙草收納所
眞岡出張所 鳥山出張所 馬頭出張所 喜連川出張所 大田原出張所 東那須野出張所	石川出張所 若松出張所 阪下出張所 豐成出張所 小野新町出張所 小野原出張所 千鹿出張所 大迫出張所 三戸出張所 東根出張所 増田出張所 鶴岡出張所 米澤出張所	松田出張所 伊勢原出張所 富士出張所 見付出張所 渡松出張所 蒲郡出張所 小牧出張所 清内路出張所 山田出張所 山田出張所 鶴岡出張所 勝山出張所 大久保出張所 愛木出張所
栃木縣芳賀郡眞岡町 栃木縣那須郡鳥山町 栃木縣那須郡馬頭町 栃木縣鹽谷郡喜連川町 栃木縣那須郡大田原町 栃木縣那須郡東那須野村	福島縣石川郡石川町 福島縣若松市榮町 福島縣河沼郡阪下町 福島縣南會津郡檜原村 福島縣田村郡小野新町 宮城縣登米郡米川村 巖手縣東磐井郡千鹿村 巖手縣神宮郡大迫町 青森縣三戸郡三戸町 山形縣北村山郡東根町 秋田縣平鹿郡増田町 山形縣西田川郡鶴岡町 山形縣米澤市南畑端町	神奈川縣足柄上郡松田村 神奈川縣中郡伊勢原村 静岡縣富士郡大宮町 静岡縣熱田郡見付町 静岡縣袋井郡渡松村 愛知縣豊田郡蒲郡町 愛知縣東春日井郡小牧町 長野縣下伊那郡清内路村 三重縣度會郡山田町 三川縣石川郡鶴岡町 福井縣大野郡勝山町 福井縣上野川郡大久保村 富山縣下新川郡愛木村

大阪煙草收納所	名古屋煙草收納所	泰野煙草收納所
加茂出張所 久世出張所 中福田出張所 成松出張所 三日月出張所 神戶出張所 上野出張所 世木出張所 中洲出張所 八日市出張所 高田出張所 松山出張所 大湊出張所 妙寺出張所 福田出張所	大府出張所 和歌山出張所 奈良縣宇陀郡松山町 奈良縣北葛城郡高田町 滋賀縣神崎郡八日市町 滋賀縣野洲郡中洲村 京都府船井郡世木村 京都府船井郡上野村 兵庫縣神戶市東尾道村 兵庫縣佐用郡三日月村 兵庫縣水上郡成松村	伊勢原出張所 見付出張所 渡松出張所 蒲郡出張所 小牧出張所 清内路出張所 山田出張所 山田出張所 鶴岡出張所 勝山出張所 大久保出張所 愛木出張所
大阪府東淀川郡東園寺村 和歌山縣伊都郡妙寺村 奈良縣宇陀郡松山町 奈良縣北葛城郡高田町 滋賀縣神崎郡八日市町 滋賀縣野洲郡中洲村 京都府船井郡世木村 京都府船井郡上野村 兵庫縣神戶市東尾道村 兵庫縣佐用郡三日月村 兵庫縣水上郡成松村	神奈川縣足柄上郡松田村 神奈川縣中郡伊勢原村 静岡縣富士郡大宮町 静岡縣熱田郡見付町 静岡縣袋井郡渡松村 愛知縣豊田郡蒲郡町 愛知縣東春日井郡小牧町 長野縣下伊那郡清内路村 三重縣度會郡山田町 三川縣石川郡鶴岡町 福井縣大野郡勝山町 福井縣上野川郡大久保村 富山縣下新川郡愛木村	神奈川縣足柄上郡松田村 神奈川縣中郡伊勢原村 静岡縣富士郡大宮町 静岡縣熱田郡見付町 静岡縣袋井郡渡松村 愛知縣豊田郡蒲郡町 愛知縣東春日井郡小牧町 長野縣下伊那郡清内路村 三重縣度會郡山田町 三川縣石川郡鶴岡町 福井縣大野郡勝山町 福井縣上野川郡大久保村 富山縣下新川郡愛木村